

次代を担う子どもの文化芸術体験事業
(巡回公演事業) 検証事業
委託業務成果報告書

平成 26 年 3 月



三菱UFJリサーチ&コンサルティング

【目次】

I. 検証事業の実施概要	1
1. 検証事業の趣旨	1
2. 対象事業の概要	3
3. 検証プロセス	7
II. 巡回公演事業に関する経費分析	9
1. 経費構造の把握と各経費の特徴	9
2. 各経費の分析	11
III. 団体へのアンケート調査・分析	39
1. 調査概要	39
2. 質問構成	39
3. 回答者属性	40
4. 調査結果	41
IV. まとめ：「次代を担う子どもの文化芸術体験事業（巡回公演事業）」 調査結果	99
1. 「次代を担う子どもの文化芸術体験事業（巡回公演事業）」の現状整理	99
2. 「次代を担う子どもの文化芸術体験事業（巡回公演事業）」の課題	104
3. 「次代を担う子どもの文化芸術体験事業（巡回公演事業）」への提案	109

＜参考資料＞

1. 団体へのアンケート調査票

I. 検証事業の実施概要

1. 検証事業の趣旨

平成 24 年度において「次代を担う子供の文化芸術体験事業（巡回公演）」（以下、「本事業」とする）は、約 45 億円の予算に基づいて、全国の 1,992 校の小・中学校等で本公演を実施した。ただし、この実績は、全国の小・中学校のわずか 5.4%にしかすぎない。

一方、「文化芸術立国中期プラン（案）」においては、「鑑賞・体験機会：義務教育期間中毎年 1 回は、文化芸術の鑑賞・体験ができる環境を整える」との構想が掲げられている。仮に、本事業（巡回公演）だけで上記の構想を実現しようとする、現在の倍以上の学校での実施が必要となる。

こうしたことから、本事業の予算については、よりいっそう拡充することが望ましいが、その一方で、本事業の経費をより有効に活用することができれば、さらに多くの学校が本事業を経験することができるため、経費の“健全な”削減は望ましい措置と考えられ、そのためには現状の経費に関する分析も必要になる。

なお、本事業はたとえ小規模校であっても、また、離島であっても、児童・生徒に身近な体育館で本格的な舞台装置と上演体制で本公演を実施することが大きな意義となっている。それらに掛かる費用について、経費を抑えるために、地域によって演目制限をしたり、内容を著しく変更させたり、文化ホールで合同開催する等によって、そもそも本事業の趣旨に反することになる。

そこで、本検証においては、3つの観点から予算の用途について検証を行う。3つの観点とは「A. 透明性・妥当性の観点」「B. 健全な経費削減の観点」「C. 団体間の公平性の確保の観点」である。

「A. 透明性・妥当性の観点」について、透明性の観点からは“誰が見ても費用支出額が分かるかどうか（領収証等によって支出額を確認できるか）”を検証する。妥当性の観点からは、“費用支出に関する論拠が適切であるかどうか”という観点にて検証を行う。また、本来は事業の実施に必要な経費であるにもかかわらず、現状では申請が認められていない経費（の処理があいまいとなっている実態）についても妥当性の観点より検証を行う。

「B. 健全な経費削減の観点」については、事業の運営を著しく妨げない範囲において何らかの工夫を行えば削減できる経費についての検証を行う。たとえば、移動交通費に関しては公共交通機関だけではなく、経済合理性がある場合には、団体所有の車での移動についても経費（領収書が無くても支弁されるような、いわゆる「みなし経費」を含む）を認める等のより柔軟な対応が今後は必要だと考えられる。なお、実態に即しない不健全な経費削減については、将来において不正な経費処理を誘発する遠因ともなりかねないため、提案の対象外とする。

「C. 団体間の公平性の確保の観点」については、各種費目の支払い方について公平さの観点より検証を行う。団体間の不公平の具体例として、自団体車輛を利用している場合と

レンタカーを利用している場合について、自団体車輛利用については利用料を支払わない一方で、レンタカー利用については利用料を全額支払うという事例があげられる。そこで、団体間の公平性という観点から現状の不公平等について検証を行う。

2. 対象事業の概要

本検証事業の対象となる「巡回公演事業」の概要を以下に整理する。

(1) 事業の目的

小学校・中学校等において、一流の文化芸術団体による巡回公演を行い、優れた舞台芸術を鑑賞する機会を提供することにより、次代の文化の担い手となる子どもたちの発想力やコミュニケーション能力の育成を図り、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的とした事業である。

(2) 事業の特徴

文化芸術団体の公演種目は、大分類では「①音楽」「②演劇」「③伝統芸能」「④舞踊」の4種類に大別され、小分類では14の種目に分けられている(図表1参照)。

文化芸術団体は、ワークショップと本公演の計2回、学校を訪問する。舞台鑑賞だけでなく、事前にワークショップを行い、公演当日に公演団体と子どもたちが共演することが、本事業の大きな特徴である。このワークショップでは、鑑賞指導や実技指導が行われる。

鑑賞場所である学校の体育館は、公演団体により、本格的な劇場へと変貌することとなるため、児童・生徒たちは普段授業等で使用している場所で優れた舞台芸術を体感することができる。

また、公演団体と学校側の調整がつけば、座談会、質問コーナー、交流給食、舞台裏見学、会場準備のお手伝い等のプログラムも実施可能である。

なお、本公演への参加者は、実施校の児童・生徒の全員参加を原則としている。また、児童・生徒、教職員に加えて、保護者等(地域住民等)の参加も認めている。

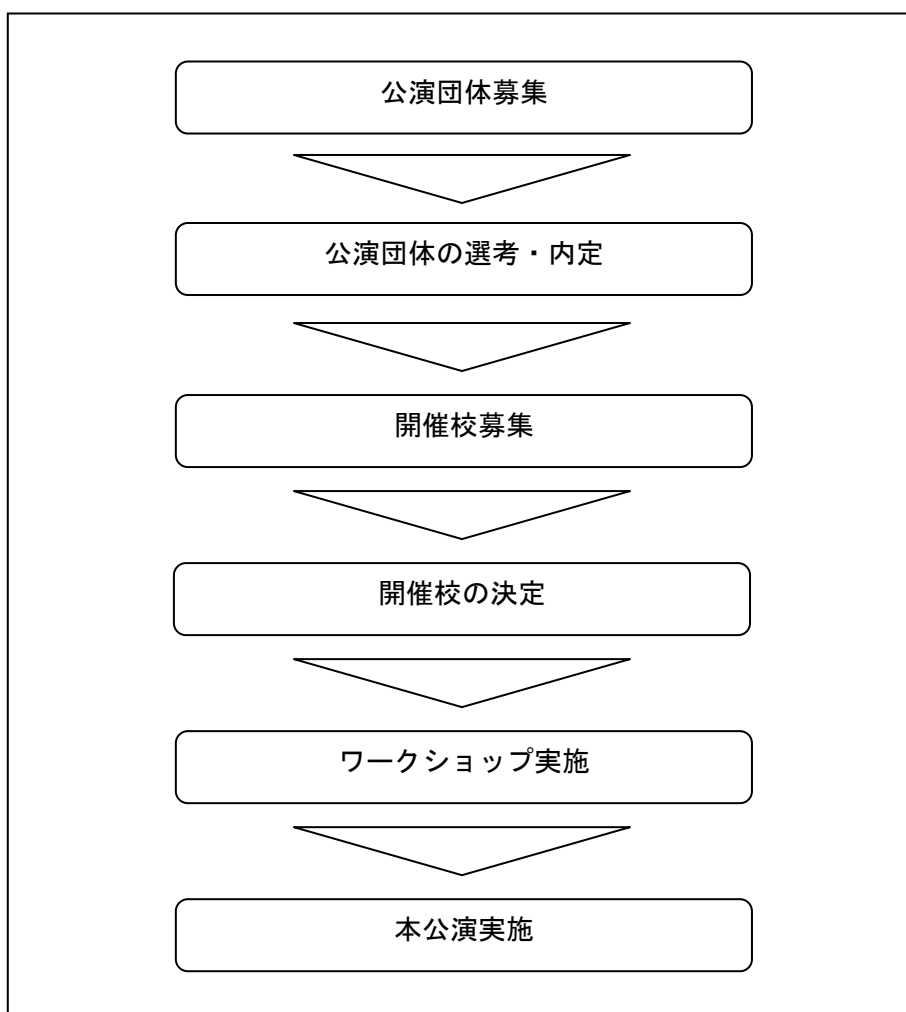
図表 1 文化芸術団体の公演種目

大分類	小分類
音楽	合唱、オーケストラ、音楽劇
演劇	演劇、児童劇、ミュージカル
伝統芸能	歌舞伎、演芸、能楽、邦楽、邦舞、人形浄瑠璃
舞踊	バレエ、現代舞踊

(3) 事業実施までの流れ

事業実施までの流れは次の通りである(図表 2 参照)。対象となる学校は全国の小学校・中学校(特別支援学校を含む)約 3 万校である。学校の所在地に応じて、A~J の 10 のブロックに振り分けられており(図表 3 参照)、各ブロックに割り当てられた約 10 の文化芸術団体の中から学校等は希望する団体を選択し、教育委員会等を通じて、文化庁に申請する。団体側が提示する実施条件に合致した学校等の中から、募集定数内で採択校が選定され、事業実施に至る。

図表 2 事業実施までの流れ



図表 3 全国の小学校・中学校等の割り当てブロック

ブロック	所在地（都道府県及び政令指定都市）
A	北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県 札幌市、仙台市
B	山形県、福島県、栃木県、群馬県、埼玉県 さいたま市
C	茨城県、千葉県、東京都、山梨県 千葉市
D	神奈川県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県 横浜市、川崎市、相模原市、静岡市、浜松市、名古屋市
E	新潟県、富山県、石川県、福井県、京都府 新潟市、京都市
F	三重県、滋賀県、大阪府、奈良県、和歌山県 大阪市、堺市
G	鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県 広島市、岡山市
H	兵庫県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県 神戸市
I	福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県 北九州市、福岡市、熊本市
J	大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

(4) B区分団体について

- ・ 本事業の公演団体のうち、3年間継続して同じブロックで公演を行う団体を「B区分団体」（図表4参照）としている。この区分は平成23年度から導入されており、初年度は12団体が選定された（平成24年度に1団体が追加されて現在は13団体）。約100ある団体の中から各分野（音楽・演劇・伝統芸能・舞踊）2、3団体を目安に選定されている。
- ・ B区分団体には、継続して同じブロックで公演してもらうことで、教育委員会や学校等とのネットワークの構築、本事業の認知度の向上や地域性に応じた対応、過年度実施校へのフォローアップ等を通じて、本事業の効果のよりいっそうの広がりが期待されている。

図表 4 全国の小学校・中学校等の割り当てブロックとB区分団体一覧(H24 年度)

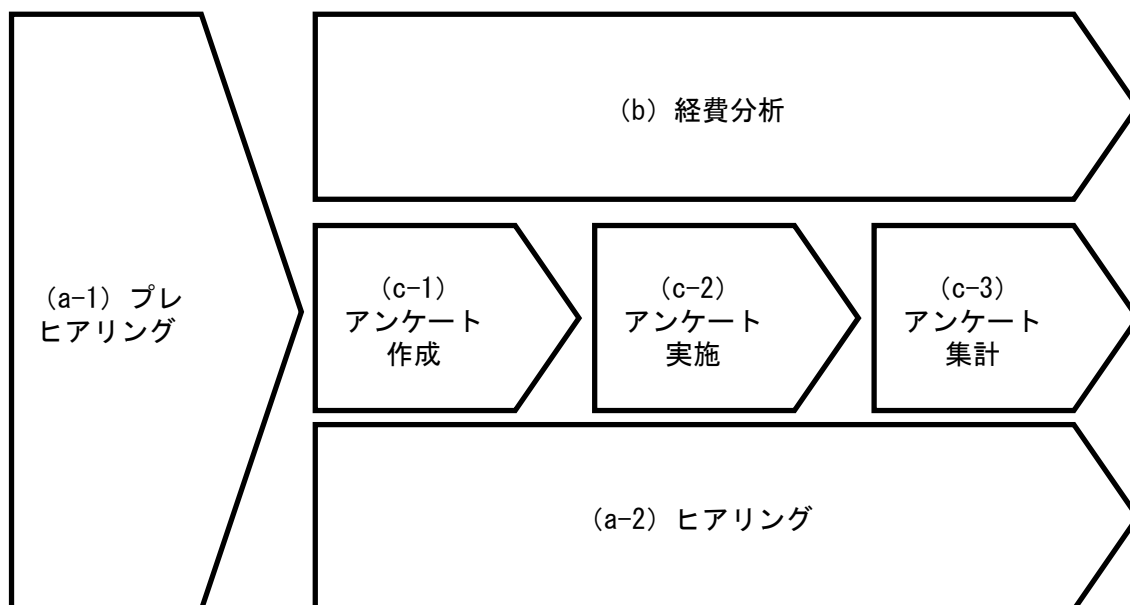
	所在地 (都道府県及び政令指定都市)	B区分団体名
A	北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、札幌市、仙台市	・公益社団法人落語芸術協会 【伝統芸能（演芸）】
B	山形県、福島県、栃木県、群馬県、埼玉県、さいたま市	・劇団えるむ 【演劇（演劇）】
C	茨城県、千葉県、東京都、山梨県、千葉市	・オペラシアターこんにゃく座 【演劇（ミュージカル）】
D	神奈川県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、横浜市、川崎市、相模原市、静岡市、浜松市、名古屋市	・劇団ひまわり 【演劇（児童劇）】
E	新潟県、富山県、石川県、福井県、京都府、新潟市、京都市	・特定非営利活動法人関西フィルハーモニー管弦楽団 【音楽（オーケストラ）】
F	三重県、滋賀県、大阪府、奈良県、和歌山県、大阪市、堺市	・神奈川フィルハーモニー管弦楽団 【音楽（オーケストラ）】
G	鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、広島市、岡山市	・有限会社アーツ・カンパニー 【音楽（音楽劇）】 ・東京演劇集団風 【演劇（ミュージカル）】
H	兵庫県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、神戸市	・スターダンサーズ・バレエ団 【舞踊（バレエ）】
I	福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、北九州市、福岡市、熊本市	・東京混声合唱団 【音楽（合唱）】 ・東京シティ・バレエ団 【舞踊（バレエ）】
J	大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県	・有限会社劇団ドリームカンパニー 【演劇（ミュージカル）】 ・公益財団法人片山家能楽・京舞保存財団 【伝統芸能（演芸）】

(5) 留意点等

- ・ より多くの児童・生徒が優れた舞台芸術に触れられるよう、複数校による合同開催についても実施を認めている。実施会場は、原則として小学校・中学校等の施設としているが、複数の学校が合同で実施する場合や全校児童・生徒を収容できる施設がない場合等には、文化施設等、適切な施設で実施することを認めている。
- ・ 公演開催にかかる経費については、次の4項目を除いて、文化庁がすべて負担する。「①学校の施設設備の使用にかかる経費」（光熱水料、灯油代、暖房機レンタル等）、「②体育館の条件整備にかかる経費」（ピアノ移動・調律費、暗幕設置費、電気容量が不足する場合の電気工事等経費等）、「③文化施設を利用する場合の会場借上料」（付帯設備等を含む）、「④その他」（諸雑費）。

3. 検証プロセス

本事業の趣旨を踏まえ、「プレヒアリング」「経費分析」「アンケート」「ヒアリング」について、以下のようなプロセスで巡回公演事業の検証を行った。



(a-1) プレヒアリング

団体を絞り込んだ上で早期にヒアリングを実施。プレヒアリングを実施することによって、当初の仮説の予備的検証を実施する。また、仮説では出なかった論点を出すことが可能となる。プレヒアリングについては文化庁担当者との協議の上、3団体（音楽、演劇、伝統芸能）を選定。

(b) 経費分析

各団体が文化庁に提出した本事業の平成24年度「文化庁委託公演に関する実演芸術団体との委託契約書類及び決算報告書（様式8）」のべ147団体分を用いて、「公演費」（出演費・音楽費・文芸費・舞台費・ワークショップ費・運搬費）、「派遣費」（実施前後の調査旅費・ワークショップ旅費・本公演旅費）、「プログラム作成費」、「一般管理費」について、分野やブロック別等で分析を行った。様式8の他に必要に応じて様式4（旅費算定基礎表）、5（車両行程表）を用いることもあるが、他のデータソースは原則として用いていない。

(c) アンケート

平成24年度および平成25年度双方の巡回公演実施団体（全70団体）について、費用実態等についてのWEBアンケートを実施。アンケートは移動に関する項目を詳細に質問しつつ、出演費や舞台費についての実態把握も実施。主な調査項目は以下の通りである。

- * 本公演・ワークショップ時の出演者・スタッフ等の移動方法
- * 本公演・ワークショップ時の物品の運搬方法
- * 出演者の土日の過ごし方
- * 見積の実施状況
- * 人件費単価表の整備状況
- * 実際には人件費が発生しているが計上できていないこと
- * 費用拠出の根拠が用意できないため計上できないもの
- * 自団体車両の保有状況
- * 自団体所有物の使用状況 / 等

(a-2) ヒアリング

委託経費の合理的な算定方法を検討するにあたって、団体所有物の利用状況や人件費等についての詳細を把握するためのヒアリング調査を10団体に実施した。対象団体については、分野および地域等の条件を総合的に勘案して決定。ヒアリングでは、基本的な業務フローや移動、出演費、舞台費、その他運営上の要望等について質問した。主な調査項目は以下の通りである。

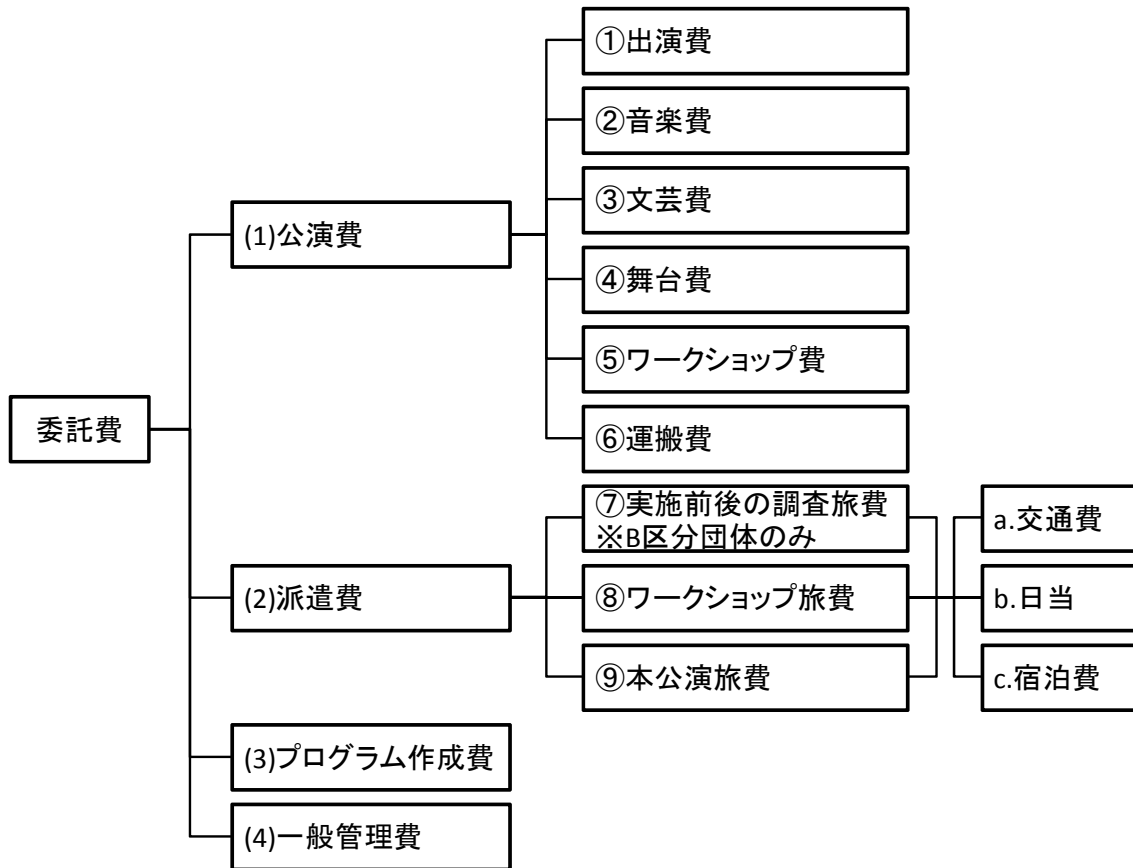
- * 本事業実施のために必要な人員、備品・設備
- * 事業開始から終了までの流れ
- * ワークショップ及び本公演の移動方法
- * 出演費の算定根拠
- * 積算根拠の提示が困難な費目
- * 文化庁に申請していないが実際に発生している費用
- * 「年度当初における企画時点での概算」と「実際の決算」との差異
- * その他、運営上困っていること / 等

Ⅱ. 巡回公演事業に関する経費分析

1. 経費構造の把握と各経費の特徴

当該事業の経費構造について、まず、公演経費を「公演費」「派遣費」「プログラム作成費」「一般管理費」に分けた上で特徴を記載。

経費構造を体系的に整理したものは以下の通り。



(1) 公演費

公演費は、公演を行うための費用で、「①出演費」「②音楽費」「③文芸費」「④舞台費」「⑤ワークショップ費」「⑥運搬費」に分かれる。各々の費目の説明は以下の通り。

① 出演費

出演に関する経費であり、出演費や演奏料、指揮料、司会料等が含まれる。

②音楽費

音楽に関する経費であり、作曲料、編曲料、音楽著作権料等が含まれる。

③文芸費

文芸に関する費用であり、演出料、脚本料、音響・照明・衣装プラン料等が含まれる。

④舞台費

舞台を構成する費用であり、大道具費、小道具費、装束損料、かつら費、メイク費、舞台スタッフ費等が含まれる。

⑤ワークショップ費

ワークショップ開催に関する費用であり、主指導者（1回につき1名のみ）と補助者（1回につき最大5名）に対して費用が支給される。主指導者は1回あたり35,000円であり、補助者は1時間あたり4,700円で1回あたりの上限額は14,100円である。

⑥運搬費

公演に必要な機材等の運搬に関する費用。出演者の移動については(2)派遣費にて計上。

(2)派遣費

派遣費は、出演者が移動、宿泊等を行う際の費用であり、「⑦実施前後の調査旅費」「⑧ワークショップ旅費」「⑨本公演旅費」と派遣目的によってに分かれる。各々の旅費は「a. 交通費」「b. 日当」「c. 宿泊費」に分かれる。「c. 宿泊費」については、9,800円を上限とした実費で精算。

(3)プログラム作成費

プログラム作成費は、当該事業のプログラム（事業名、公演団体名、公演種目、団体紹介、実施日程等）の作成費用。印刷物ではなく、PDFファイルにしたデータの作成に関する費用である。

(4)一般管理費

一般管理費は、上述した(1)～(3)では算定できない費用を便宜的に計上しているもの。具体的には水光熱費や事務費等の経費に相当。一般管理費は「(1)公演費」「(2)派遣費」「(3)プログラム作成費」の合計金額の10%を上限とした金額である。

2. 各経費の分析

【実施概要】

- H24 年度に事業を行った団体は計 87 団体。追加公演を含めてのべ 147 公演分を実施。これらを分析の対象とした
- 「文化庁委託公演に関する実演芸術団体との委託契約書類及び決算報告書（様式 8）」を利用
- 分析は、基本的に当初公演を利用（全体の費用把握部分のみ追加公演を含めた金額を記載）
- %は小数点第一位を四捨五入して表記。合計しても 100%とならない場合がある
- 分析は全体分析を実施した上で、分野別、ブロック別に分けて以下（図表Ⅱ-1）の視点により実施
- 歌舞伎については、H24 年度に事業を行った団体が 1 団体であり個別性が強いと考えられるため、費目の詳細において記載を割愛

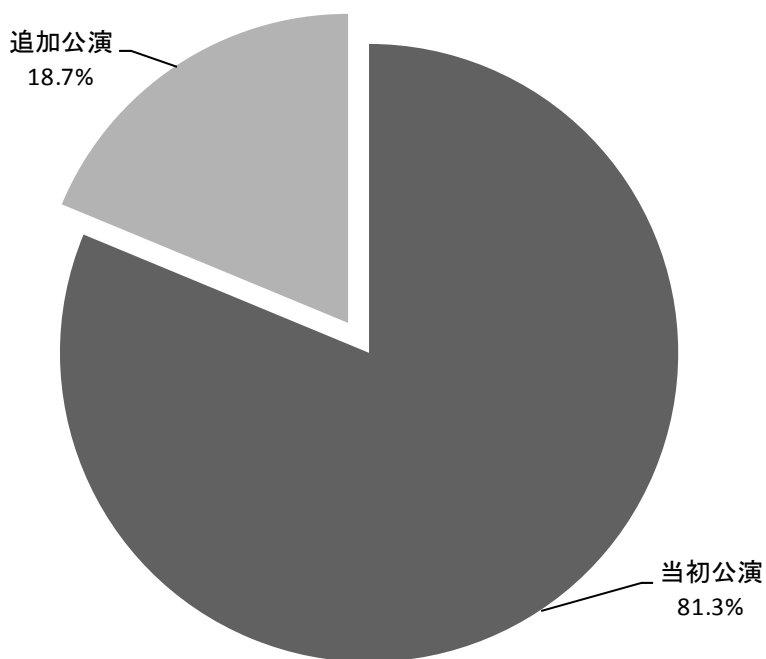
図表Ⅱ-1 分析のための分類

1.全体	(1)全体	①費用全体	i.金額
2.分野別	(2)1団体あたり		
3.ブロック別	(3)1公演あたり	②費用項目別	ii.構成比

【分析結果】

委託費の総額（当初公演＋追加公演）は 3,768,809,881 円であり、内訳として、当初公演が 3,062,215,279 円（81.3%）、追加公演が 706,594,602 円（18.7%）であった。

図表Ⅱ-2 委託費総額 3,768,809,881 円の当初公演と追加公演の金額比率

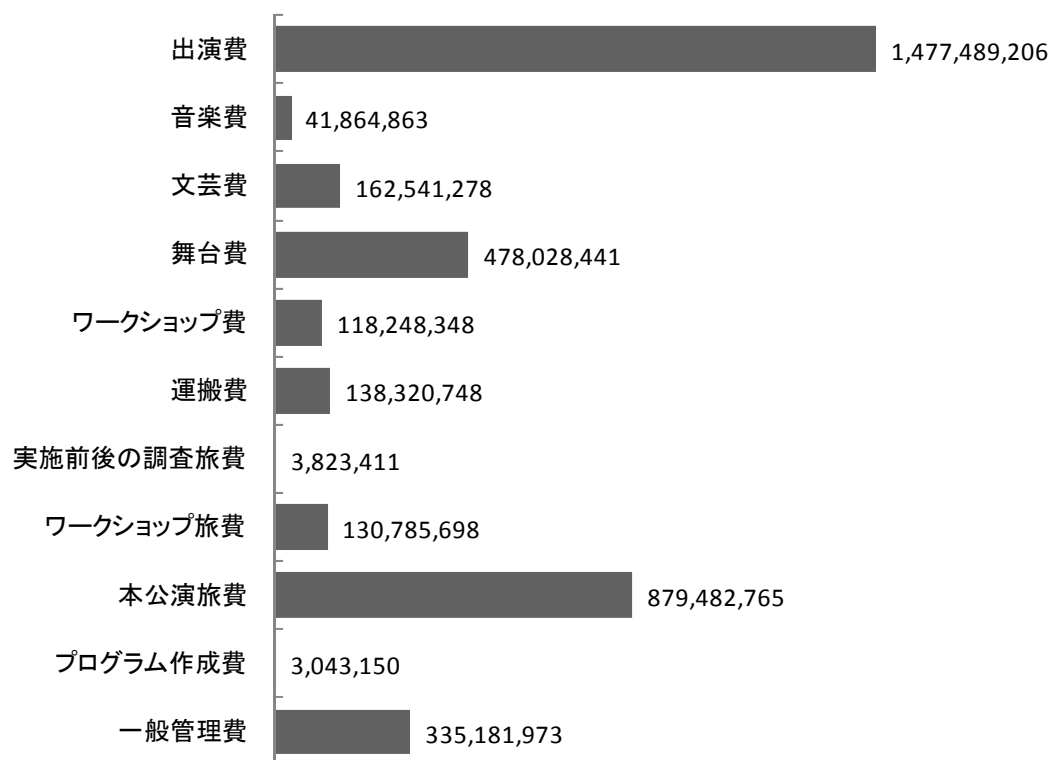


当初公演＋追加公演			
1.全体	(1)全体	①費用全体	i.金額
2.分野別	(2)1団体あたり		
3.ブロック別	(3)1公演あたり	②費用項目別	ii.構成比

◇費用項目別の金額(当初公演+追加公演)

当初公演+追加公演における費用の内訳は、出演費が約 14.8 億円と最も多く、次いで本公演旅費が約 8.8 億円、舞台費が約 4.8 億円の順が多い。

図表Ⅱ-3 委託費総額 3,768,809,881 円の費用項目別の金額

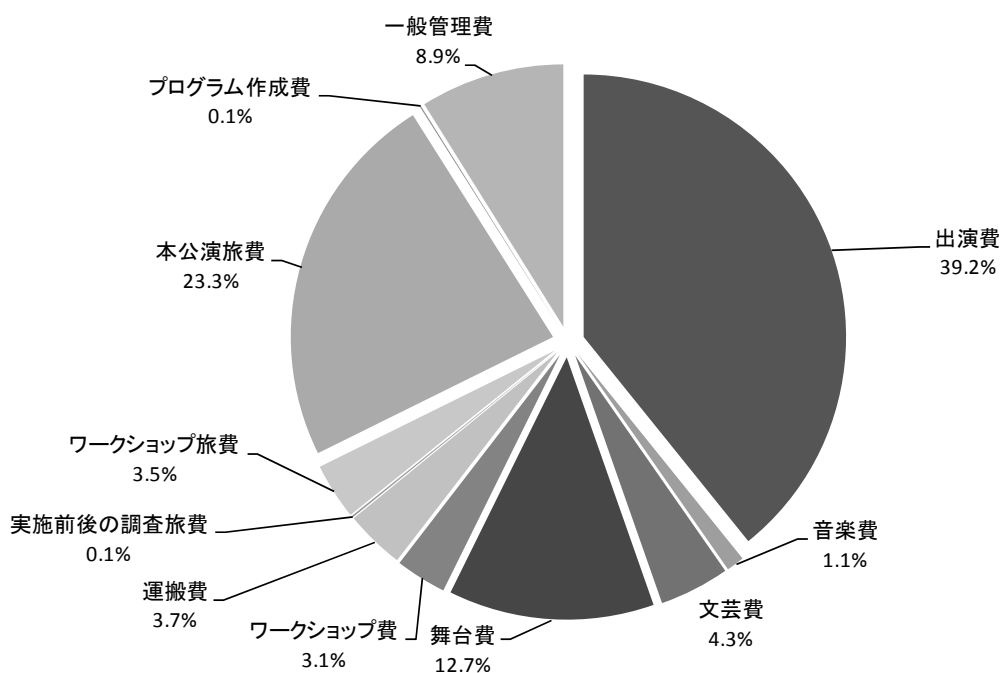


当初公演+追加公演			
1.全体	(1)全体	①費用全体	i.金額
2.分野別	(2)1団体あたり		
3.ブロック別	(3)1公演あたり	②費用項目別	ii.構成比

◇費用項目の内訳(当初公演+追加公演)

当初公演+追加公演における費用の内訳は、出演費が 39.2%と最も多く、次いで本公演旅費が 23.3%、舞台費が 12.7%の順が多い。

図表Ⅱ-4 委託費総額 3,768,809,881 円の費用項目別の構成比

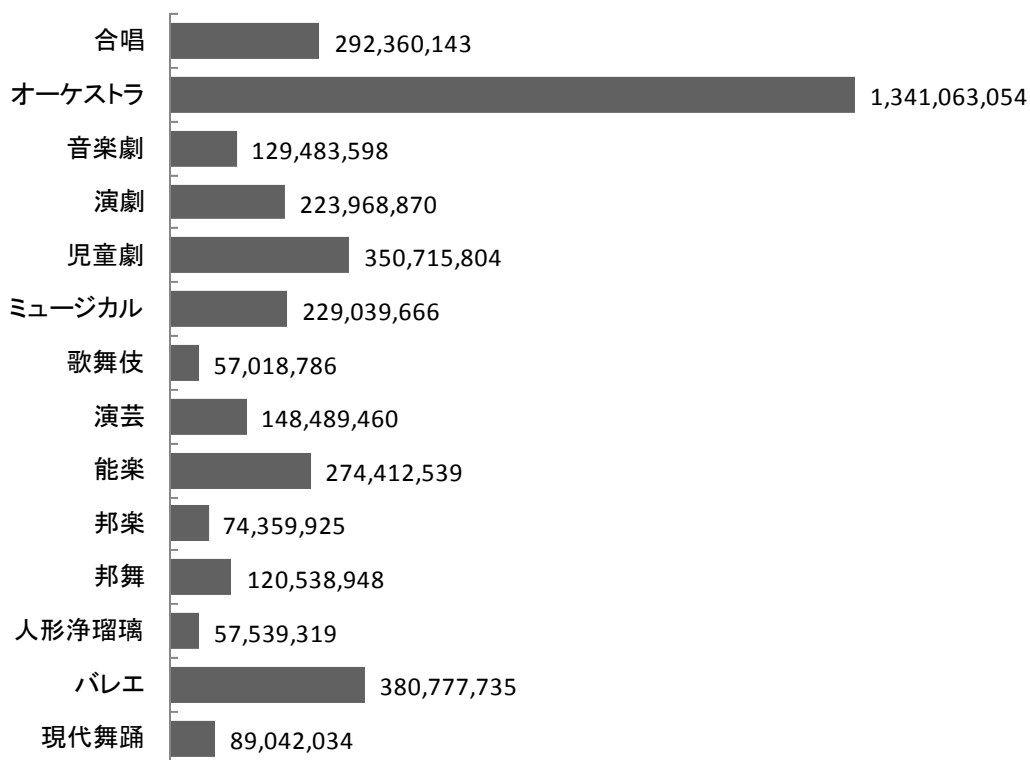


当初公演+追加公演			
1.全体	(1)全体	①費用全体	i.金額
2.分野別	(2)1団体あたり	②費用項目別	ii.構成比
3.ブロック別	(3)1公演あたり		

◇分野別費用の内訳(当初公演+追加公演)

分野別では、オーケストラの金額が約13.4億円と突出して高い。

図表Ⅱ-5 委託費総額 3,768,809,881 円の分野別内訳 単位：円

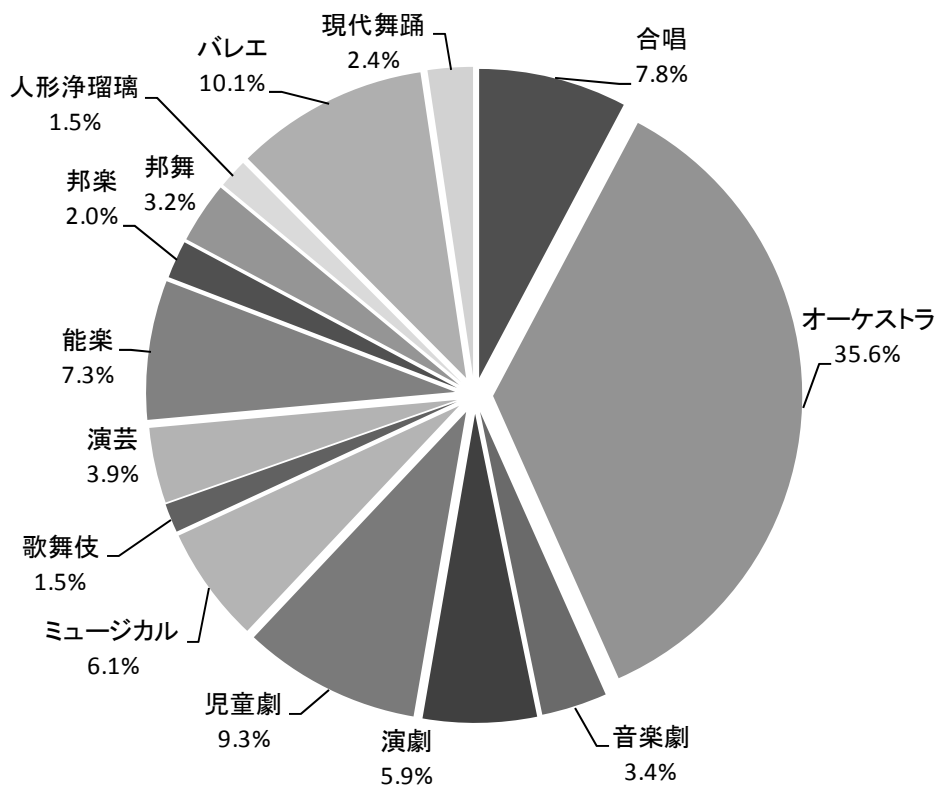


当初公演+追加公演			
1.全体	(1)全体	①費用全体	i.金額
2.分野別	(2)1団体あたり	②費用項目別	ii.構成比
3.ブロック別	(3)1公演あたり		

◇分野別費用の内訳(当初公演+追加公演)

当初公演+追加公演の費用全体におけるオーケストラの構成比は35.6%であり、全体の3分の1以上を占めている。

図表Ⅱ-6 委託費総額 3,768,809,881 円の分野別の構成比

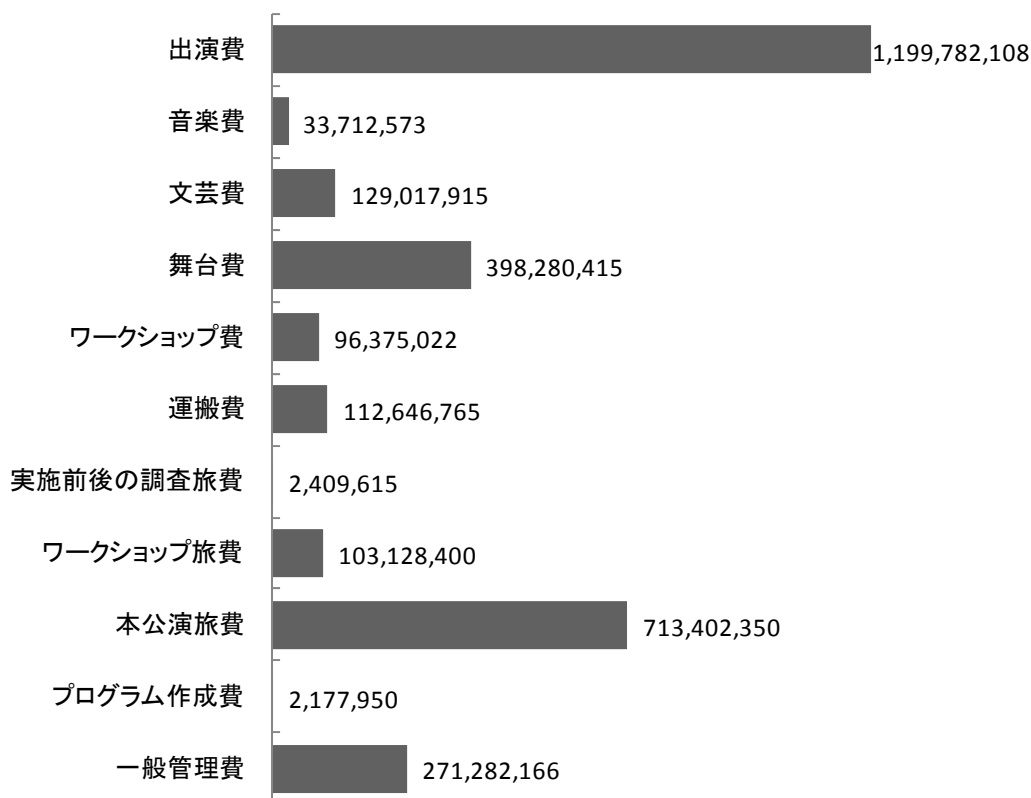


当初公演+追加公演			
1.全体	(1)全体	①費用全体	i.金額
2.分野別	(2)1団体あたり	②費用項目別	ii.構成比
3.ブロック別	(3)1公演あたり		

◇費用項目の金額(当初公演のみ)

当初公演のみの費用は、出演費が約 12.0 億円と最も多く、次いで本公演旅費が約 7.1 億円、舞台費が約 4.0 億円の順が多い。当初公演+追加公演の場合と構成比は概ね同傾向であった。

図表Ⅱ-7 当初公演費用総額 3,062,215,279 円の費目別内訳

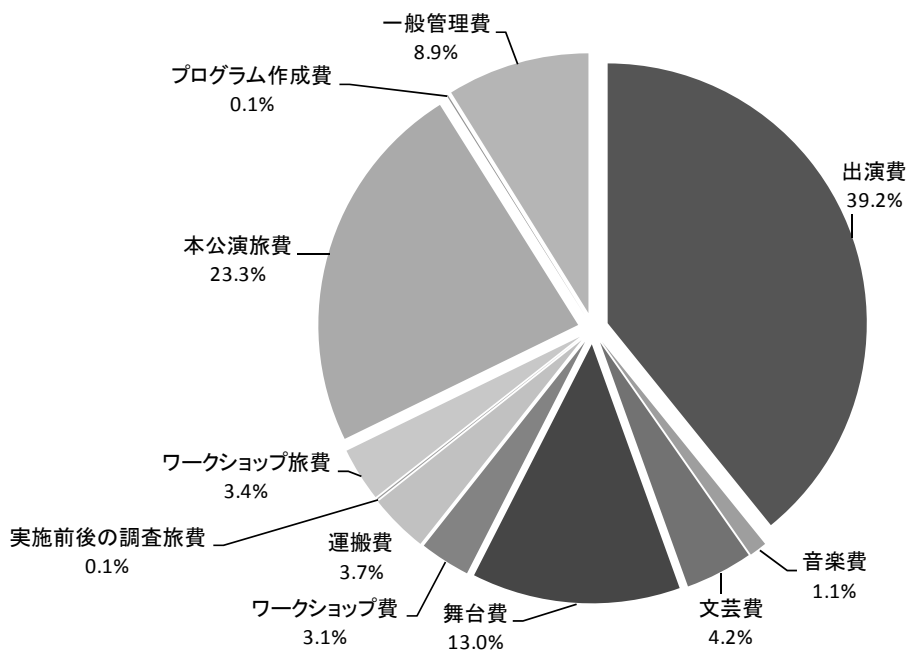


当初公演のみ			
1.全体	(1)全体	①費用全体	i.金額
2.分野別	(2)1団体あたり		
3.ブロック別	(3)1公演あたり	②費用項目別	ii.構成比

◇費用項目の内訳(当初公演のみ)

当初公演のみの費用の内訳は、出演費が 39.2%と最も多く、次いで本公演旅費が 23.3%、舞台費が 13.0%の順で多い。当初公演+追加公演の場合と構成比は概ね同傾向であった。

図表Ⅱ-8 当初公演費用総額 3,062,215,279 円の費用項目別の構成比

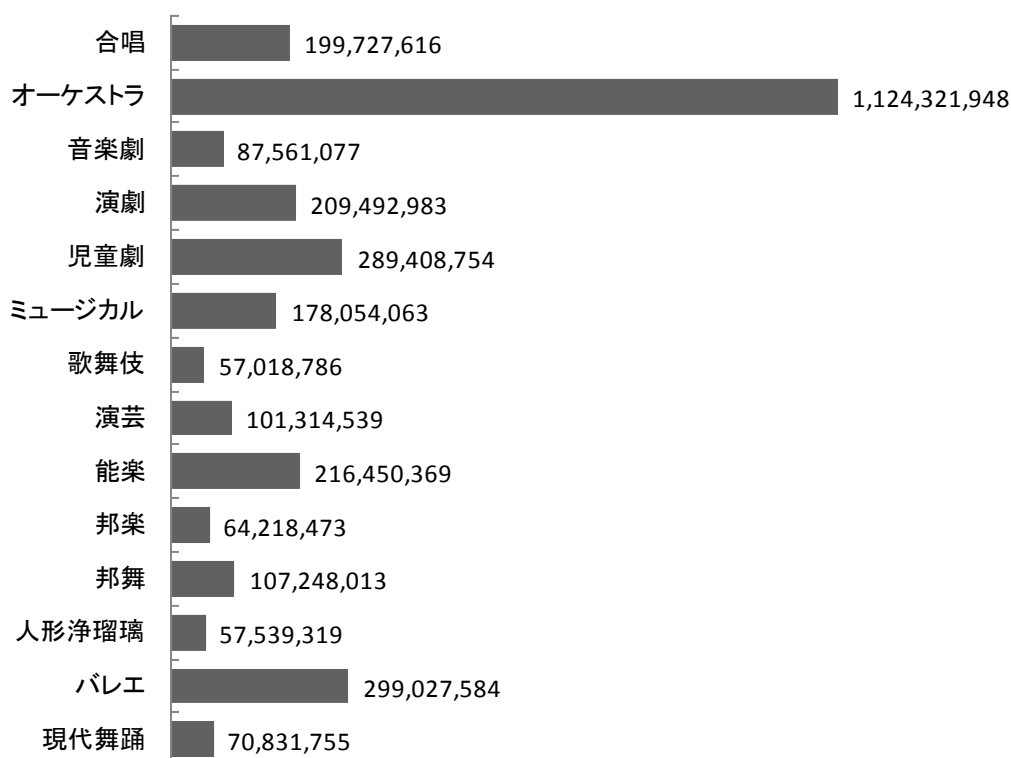


当初公演のみ			
1.全体	(1)全体	①費用全体	i.金額
2.分野別	(2)1団体あたり	②費用項目別	ii.構成比
3.ブロック別	(3)1公演あたり		

◇分野別:当初公演総額

分野別では、オーケストラの金額が突出して高く、全体の3分の1以上を占めている。この理由としては、「公演日数が多い」と「1編成あたりの人数が多い」という点がある。

図表Ⅱ-9 分野別の当初公演総額 単位：円

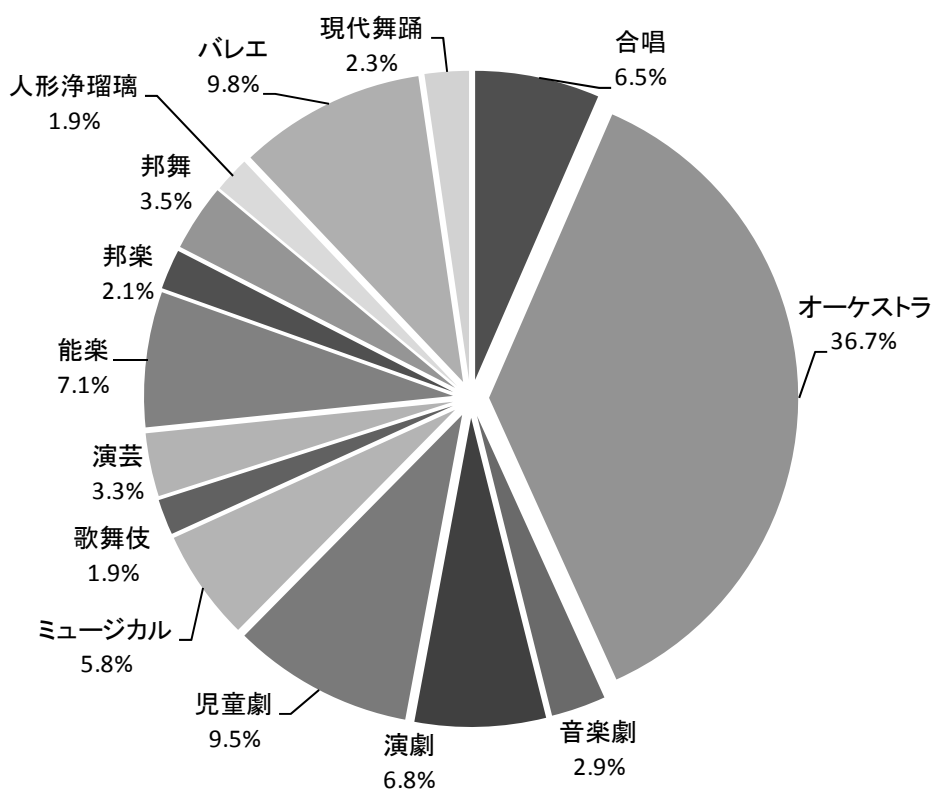


当初公演のみ			
1.全体	(1)全体	①費用全体	i.金額
2.分野別	(2)1団体あたり	②費用項目別	ii.構成比
3.ブロック別	(3)1公演あたり		

◇当初公演総額の分野別構成比

オーケストラの構成比は 36.7%であり、全体の 3分の1以上を占めている。

図表Ⅱ-10 分野別の当初公演総額の構成比

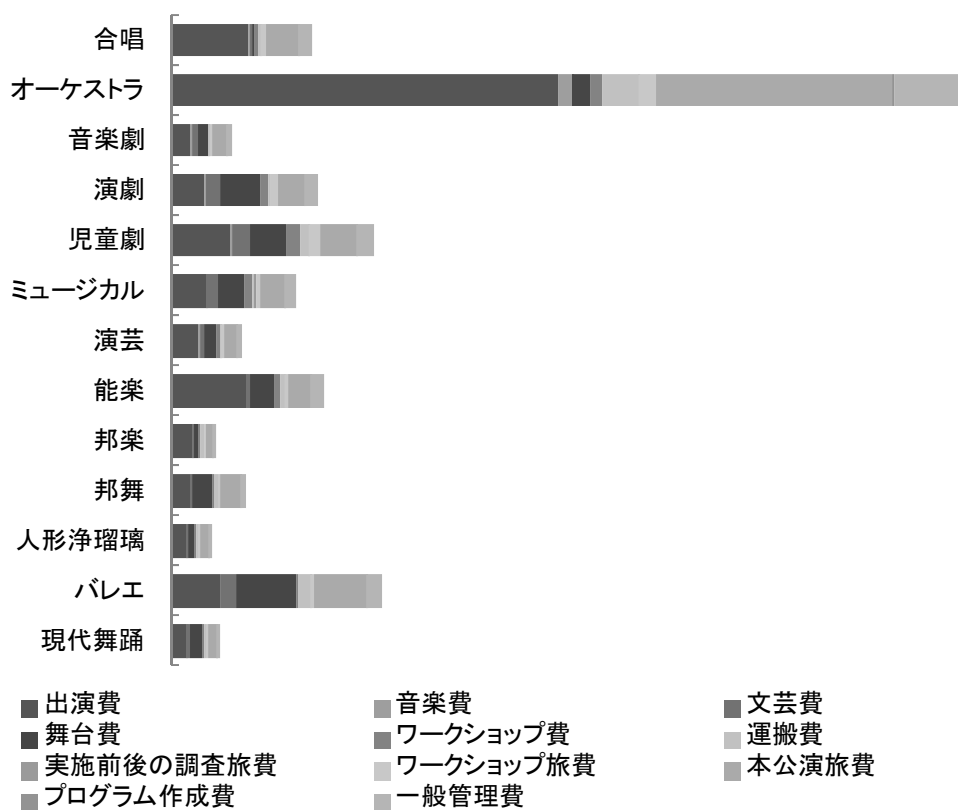


当初公演のみ			
1.全体	(1)全体	①費用全体	i.金額
2.分野別	(2)1団体あたり	②費用項目別	ii.構成比
3.ブロック別	(3)1公演あたり		

◇分野別・費用項目別の総額

分野別・費用項目別の金額は、オーケストラの出演費および本公演旅費が多い。

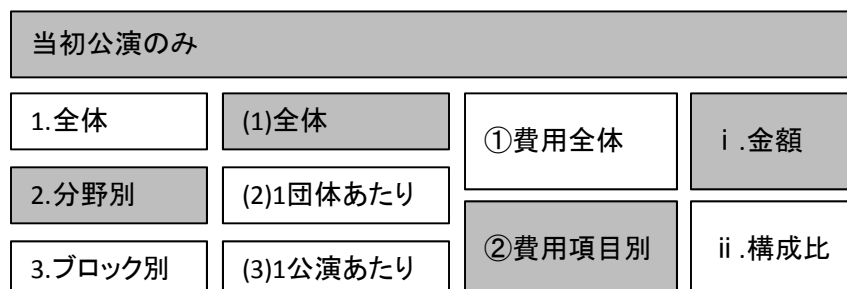
図表Ⅱ-11-1 分野別の費用項目別の総額



図表Ⅱ-11-2 分野別の費用項目別の詳細金額 単位：万円

種目	出演費	音楽費	文芸費	舞台費	ワークショップ費	運搬費
合唱	10,923	245	474	236	569	225
オーケストラ	54,827	2,027	17	2,729	1,657	4,926
音楽劇	2,806	144	874	1,408	154	210
演劇	4,797	114	2,230	5,572	1,095	354
児童劇	8,431	409	2,521	5,089	2,022	1,084
ミュージカル	4,897	176	1,767	3,555	1,047	497
演芸	3,984	66	600	1,675	614	204
能楽	10,590	58	602	3,436	728	538
邦楽	3,102	70	173	481	437	438
邦舞	2,818	29	289	2,757	295	438
人形浄瑠璃	2,065	12	338	894	294	231
バレエ	6,961	0	2,199	8,554	393	1,527
現代舞踊	2,054	11	558	1,921	186	298
合計	118,254	3,360	12,641	38,306	9,492	10,968

種目	実施前後の調査旅費	ワークショップ旅費	本公演旅費	プログラム作成費	一般管理費
合唱	2	778	4,689	15	1,816
オーケストラ	45	2,548	33,620	48	9,988
音楽劇	0	277	2,083	5	796
演劇	0	1,089	3,775	20	1,904
児童劇	13	1,637	5,088	27	2,619
ミュージカル	50	777	3,408	14	1,618
演芸	4	413	1,634	17	921
能楽	29	676	2,994	28	1,968
邦楽	0	333	800	16	573
邦舞	0	519	2,656	3	921
人形浄瑠璃	0	332	1,057	8	523
バレエ	98	581	7,260	10	2,321
現代舞踊	0	182	1,225	4	643
合計	241	10,142	70,290	215	26,610

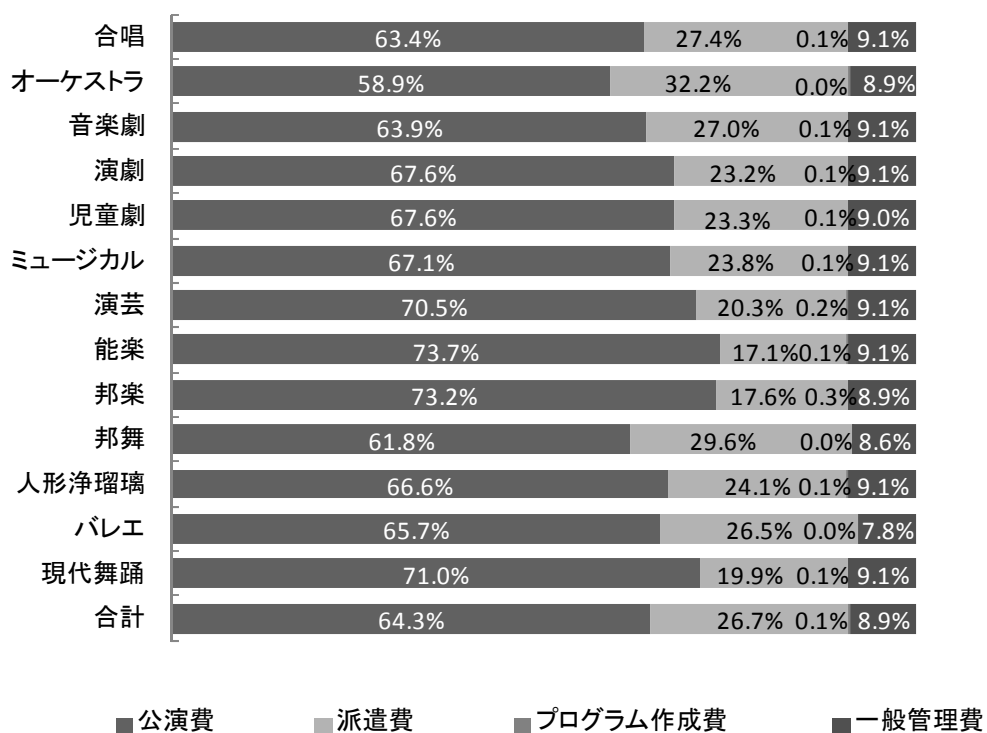


◇分野別・費用項目別の構成比

分野別・費用項目の構成比をみると、各分野の特徴が理解できる。

- ・合唱とオーケストラについては、出演費の割合が多く、舞台費の割合が少ない
- ・また、オーケストラは本公演旅費の割合が多い
- ・広義の演劇分野（音楽劇、演劇、児童劇、ミュージカル）は、文芸費の割合が多い

図表Ⅱ-12-1 分野別の費目構成比



図表Ⅱ-12-2 分野別の費目構成比の詳細

種目	出演費	音楽費	文芸費	舞台費	ワークショップ費	運搬費
合唱	54.7%	1.2%	2.4%	1.2%	2.9%	1.1%
オーケストラ	48.8%	1.8%	0.0%	2.4%	1.5%	4.4%
音楽劇	32.0%	1.6%	10.0%	16.1%	1.8%	2.4%
演劇	22.9%	0.5%	10.6%	26.6%	5.2%	1.7%
児童劇	29.1%	1.4%	8.7%	17.6%	7.0%	3.7%
ミュージカル	27.5%	1.0%	9.9%	20.0%	5.9%	2.8%
演芸	39.3%	0.6%	5.9%	16.5%	6.1%	2.0%
能楽	48.9%	0.3%	2.8%	15.9%	3.4%	2.5%
邦楽	48.3%	1.1%	2.7%	7.5%	6.8%	6.8%
邦舞	26.3%	0.3%	2.7%	25.7%	2.8%	4.1%
人形浄瑠璃	35.9%	0.2%	5.9%	15.5%	5.1%	4.0%
バレエ	23.3%	0.0%	7.4%	28.6%	1.3%	5.1%
現代舞踊	29.0%	0.2%	7.9%	27.1%	2.6%	4.2%
合計	39.2%	1.1%	4.2%	13.0%	3.1%	3.7%

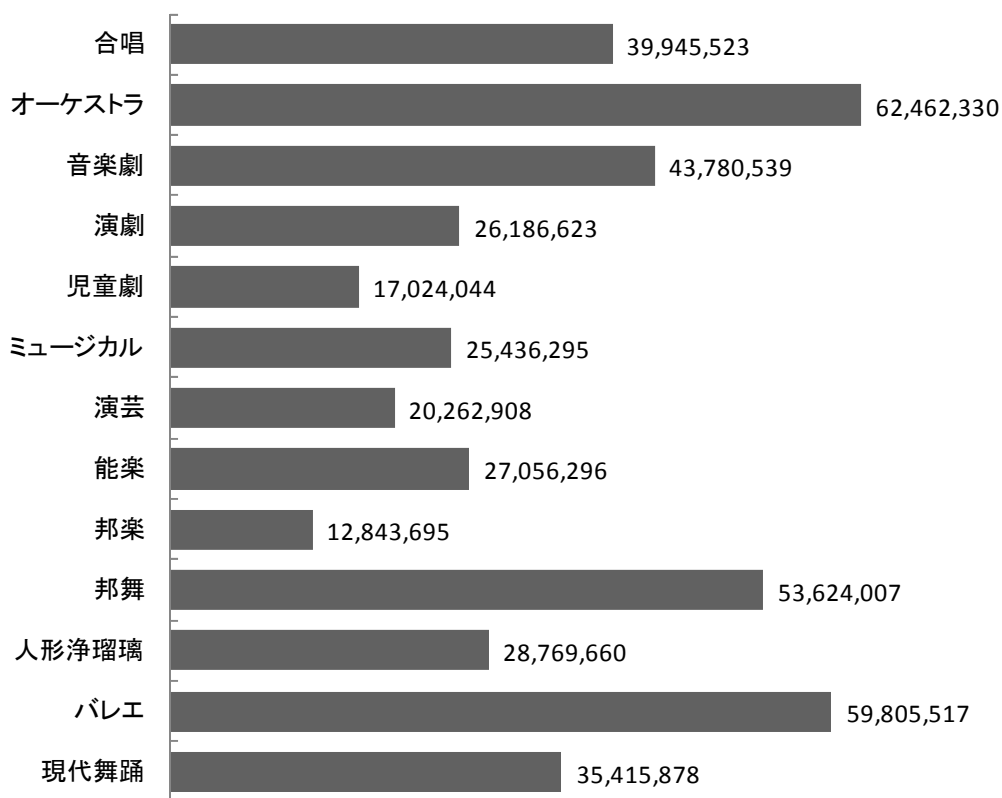
種目	実施前後の調査旅費	ワークショップ旅費	本公演旅費	プログラム作成費	一般管理費
合唱	0.0%	3.9%	23.5%	0.1%	9.1%
オーケストラ	0.0%	2.3%	29.9%	0.0%	8.9%
音楽劇	0.0%	3.2%	23.8%	0.1%	9.1%
演劇	0.0%	5.2%	18.0%	0.1%	9.1%
児童劇	0.0%	5.7%	17.6%	0.1%	9.0%
ミュージカル	0.3%	4.4%	19.1%	0.1%	9.1%
演芸	0.0%	4.1%	16.1%	0.2%	9.1%
能楽	0.1%	3.1%	13.8%	0.1%	9.1%
邦楽	0.0%	5.2%	12.5%	0.3%	8.9%
邦舞	0.0%	4.8%	24.8%	0.0%	8.6%
人形浄瑠璃	0.0%	5.8%	18.4%	0.1%	9.1%
バレエ	0.3%	1.9%	24.3%	0.0%	7.8%
現代舞踊	0.0%	2.6%	17.3%	0.1%	9.1%
合計	0.1%	3.4%	23.3%	0.1%	8.9%

当初公演のみ			
1.全体	(1)全体	①費用全体	i.金額
2.分野別	(2)1団体あたり	②費用項目別	ii.構成比
3.ブロック別	(3)1公演あたり		

◇分野別：1団体あたりの平均委託金額

1団体あたりの平均委託金額は、「オーケストラ」「バレエ」「邦舞」の順で金額が高い。

図表Ⅱ-13 1団体あたり平均委託金額 単位：円

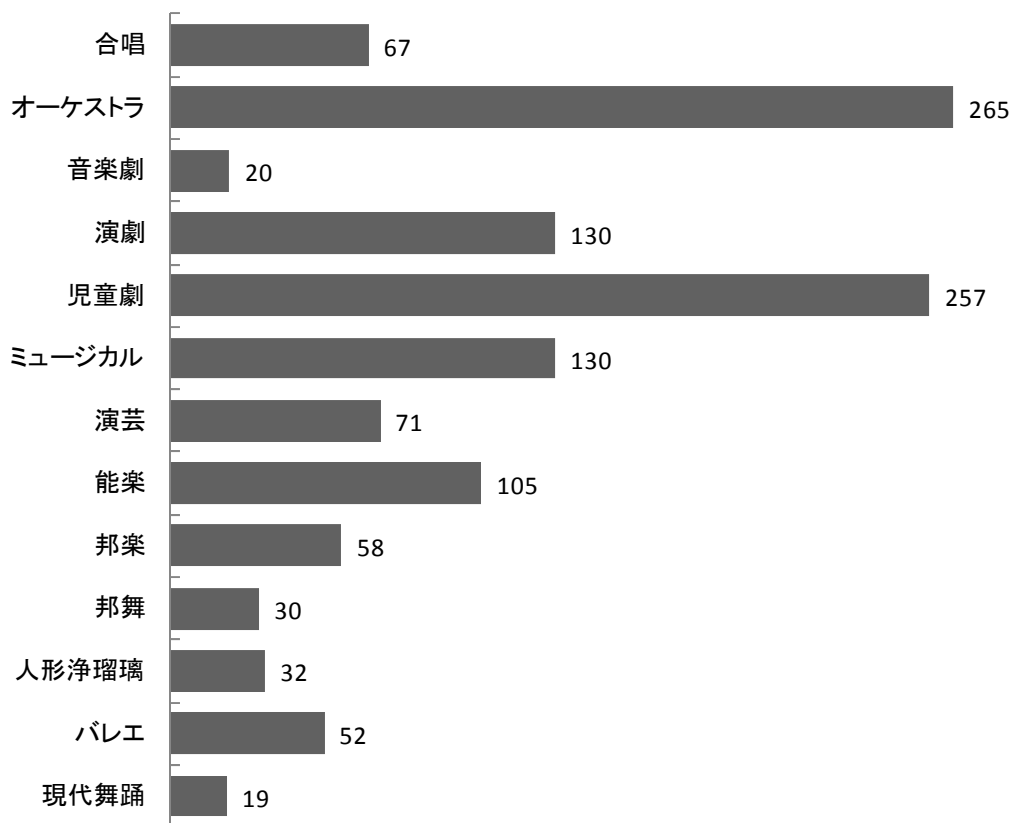


当初公演のみ			
1.全体	(1)全体	①費用全体	i.金額
2.分野別	(2)1団体あたり	②費用項目別	ii.構成比
3.ブロック別	(3)1公演あたり		

◇公演日数

分野別の公演日数は、オーケストラと児童劇が多い。

図表Ⅱ-14 分野別公演日数 単位：日



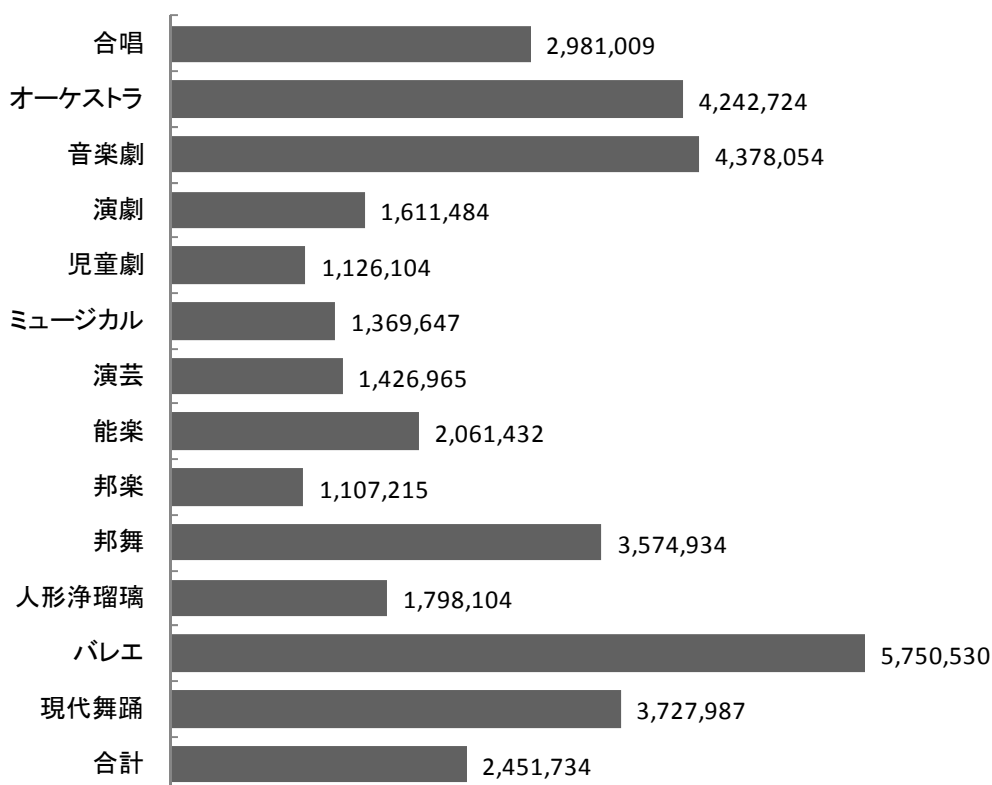
当初公演のみ			
1.全体	(1)全体	①費用全体	i.金額
2.分野別	(2)1団体あたり	②費用項目別	ii.構成比
3.ブロック別	(3)1公演あたり		

◇1公演あたりの金額

1公演あたりの金額は、「バレエ」「音楽劇」「オーケストラ」の順が多い。

オーケストラと児童劇は公演日数が同程度であるが、1公演あたりの金額に4倍近い差があるため、総額も4倍近くの開きとなっている。

図表Ⅱ-15 1公演あたりの金額 単位：円

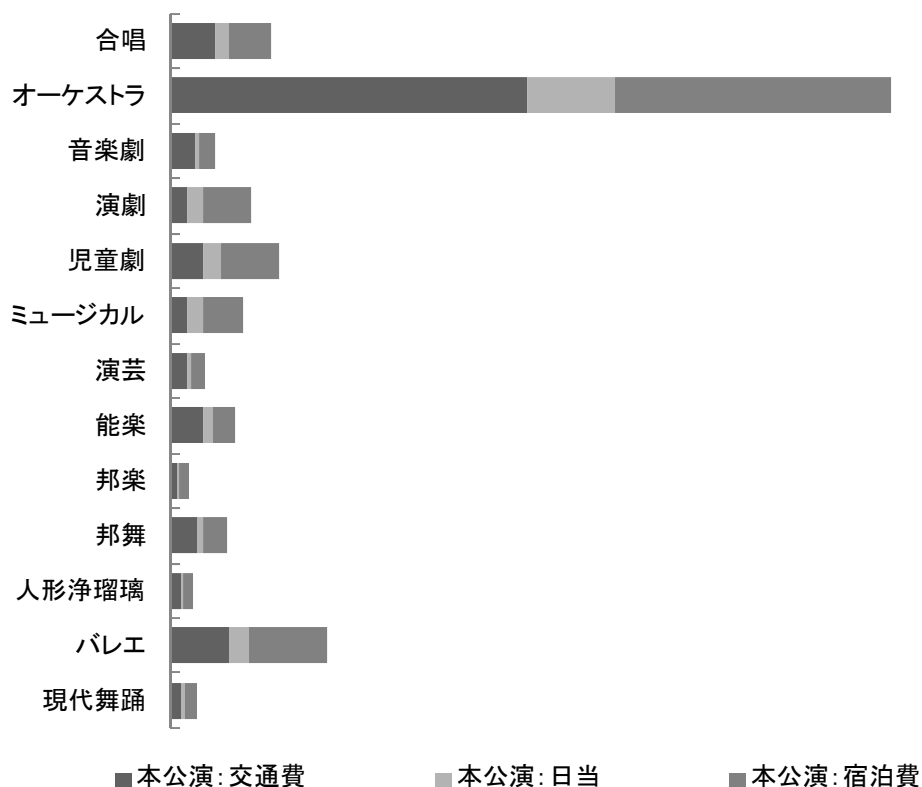


当初公演のみ			
1.全体	(1)全体	①費用全体	i.金額
2.分野別	(2)1団体あたり	②費用項目別	ii.構成比
3.ブロック別	(3)1公演あたり		

◇本公演旅費の分析(総額)

本公演旅費については、経費全体と同様にオーケストラへの委託金額が突出して多い。

図表Ⅱ-16-1 本公演旅費の費目別金額



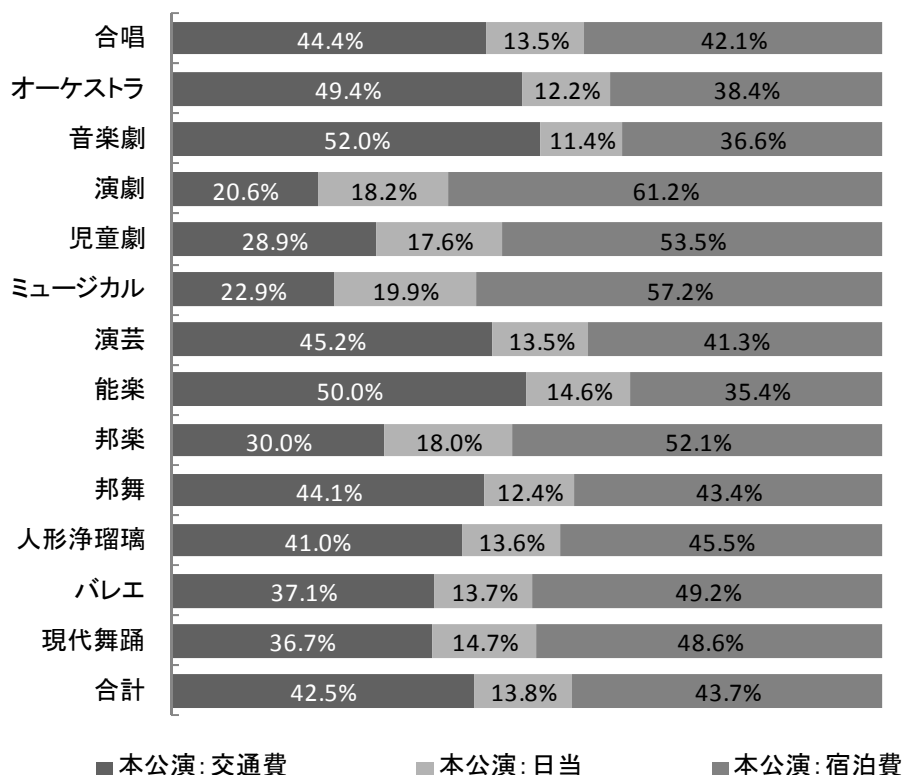
図表Ⅱ-16-2 本公演旅費の費目別金額 単位：万円

種目	本公演:交通費	本公演:日当	本公演:宿泊費
合唱	2,082	634	1,972
オーケストラ	16,623	4,091	12,907
音楽劇	1,083	237	763
演劇	779	687	2,309
児童劇	1,470	895	2,724
ミュージカル	780	678	1,950
演芸	739	221	674
能楽	1,496	437	1,061
邦楽	240	144	416
邦舞	1,172	331	1,154
人形浄瑠璃	433	143	480
バレエ	2,690	996	3,574
現代舞踊	449	181	596
合計	30,035	9,674	30,581

◇本公演旅費の分析(構成比)

本公演旅費を分野別にみると、演劇、児童劇、ミュージカルについては、交通費の割合が低い。これは、集団での移動、自家用車輦の利用等、移動経費の削減に関して、各団体に配慮した結果と推察される。

図表Ⅱ-17 本公演旅費の構成比



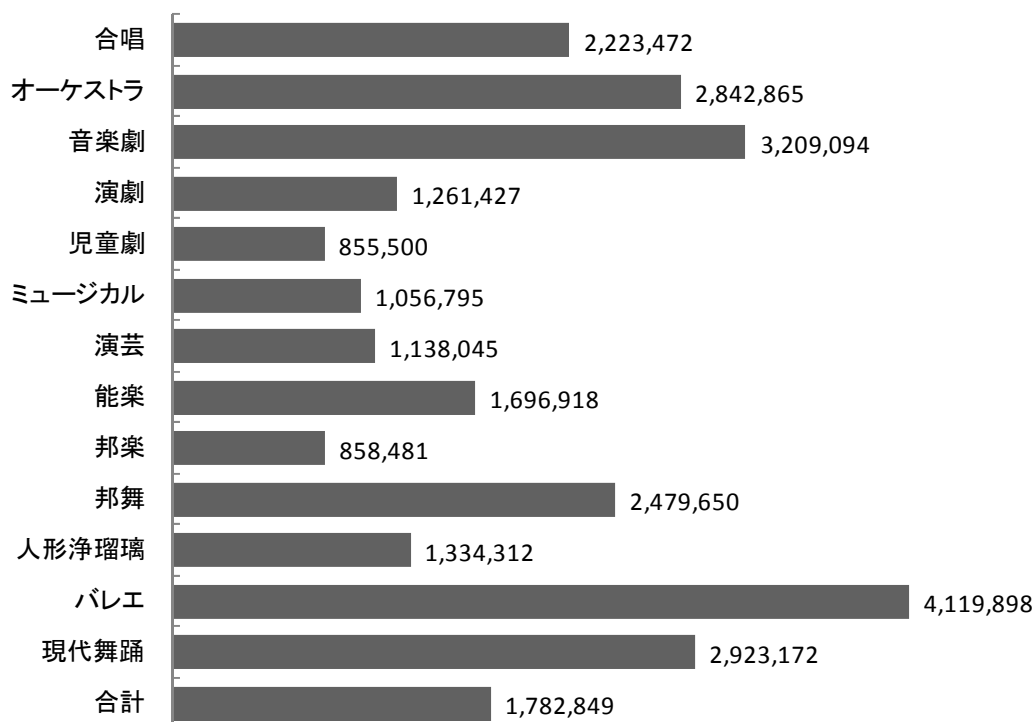
当初公演のみ			
1.全体	(1)全体	①費用全体	i.金額
2.分野別	(2)1団体あたり	②費用項目別 (本公演旅費のみ)	ii.構成比
3.ブロック別	(3)1公演あたり		

◇文化関連経費(※)の1公演あたり金額の分析

※文化関連経費＝公演費－運搬費＋日当＋一般管理費とみなした

実質的に芸能実演家等の収入（売上）になると思われる金額、つまり、委託費総額から移動と宿泊等を除いた場合の1公演あたりの実質的な委託金額は、バレエが約412万円と最も高く、児童劇が約86万円と最も低い。

図表Ⅱ-18 文化関連経費の1公演あたり金額の分析 単位：円



当初公演のみ			
1.全体	(1)全体	①費用全体	i.金額
2.分野別	(2)1団体あたり	②費用項目別 (文化関連経費のみ)	ii.構成比
3.ブロック別	(3)1公演あたり		

【ブロック別の考察】

以下において地域ブロックの比較による経費の差異を見ることとする。ブロック別の考察を行う際の主とした着眼点は「距離・エリア特性による派遣費の違い」であるため、前述の分野別とは異なる切り口での分析を実施する。

図表Ⅱ-19 全国の小学校・中学校等の割り当てブロック

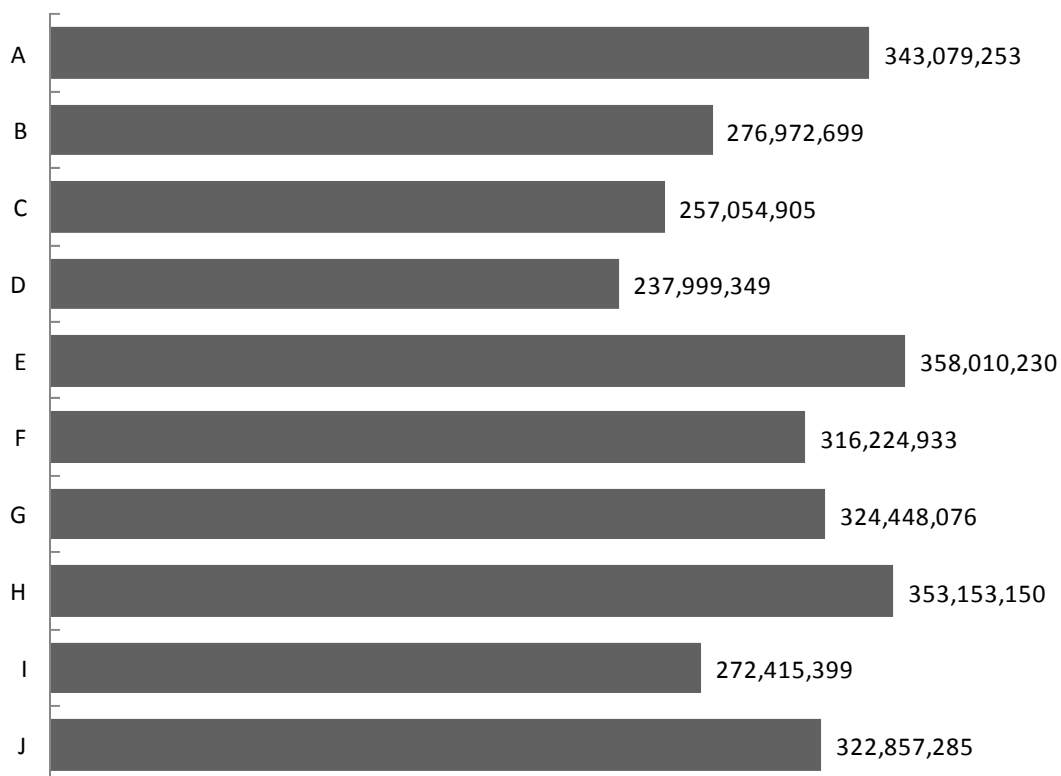
ブロック	所在地（都道府県及び政令指定都市）
A	北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県 札幌市、仙台市
B	山形県、福島県、栃木県、群馬県、埼玉県 さいたま市
C	茨城県、千葉県、東京都、山梨県 千葉市
D	神奈川県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県 横浜市、川崎市、相模原市、静岡市、浜松市、名古屋市
E	新潟県、富山県、石川県、福井県、京都府 新潟市、京都市
F	三重県、滋賀県、大阪府、奈良県、和歌山県 大阪市、堺市
G	鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県 広島市、岡山市
H	兵庫県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県 神戸市
I	福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県 北九州市、福岡市、熊本市
J	大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

当初公演のみ			
1.全体	(1)全体	①費用全体	i.金額
2.分野別	(2)1団体あたり		
3.ブロック別	(3)1公演あたり	②費用項目別	ii.構成比

◇ブロック別の総額

B、C、D、Iブロックの総額が少なく、特にDブロックが少ない。
一方で、E、H、Aブロックの総額が多い。

図表Ⅱ-20 ブロック別の総額 単位：円

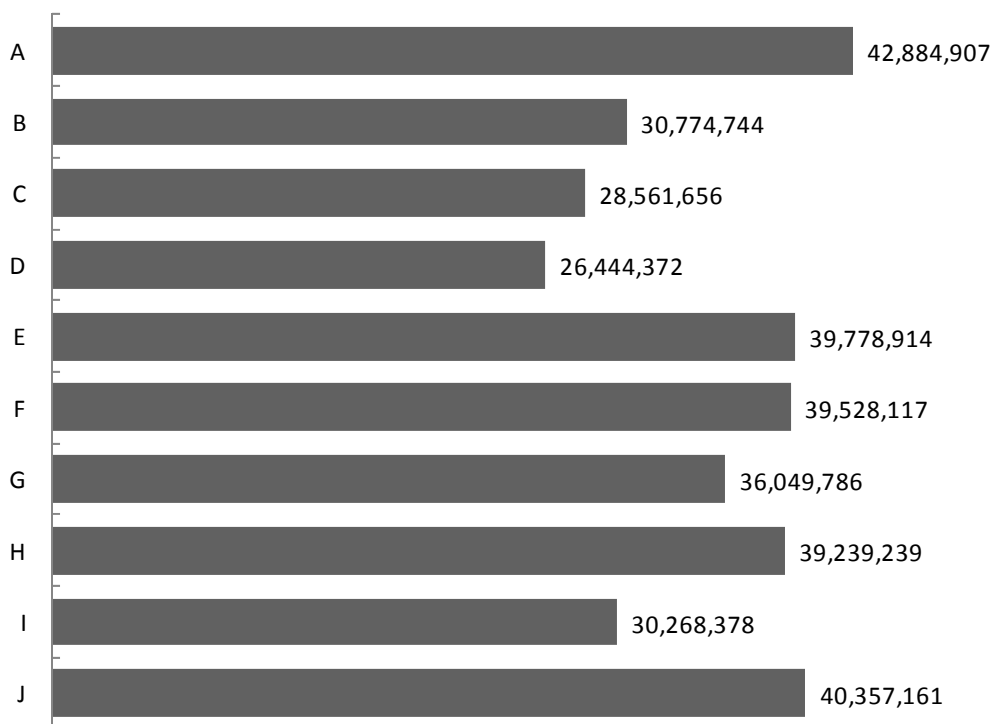


当初公演のみ			
1.全体	(1)全体	①費用全体	i.金額
2.分野別	(2)1団体あたり	②費用項目別	ii.構成比
3.ブロック別	(3)1公演あたり		

◇ブロック別：1団体あたり金額

1 団体あたりの委託金額をブロック別にみると、全体とほぼ同様の傾向となっている。

図表Ⅱ-21 ブロック別の1団体あたり総額 単位：円

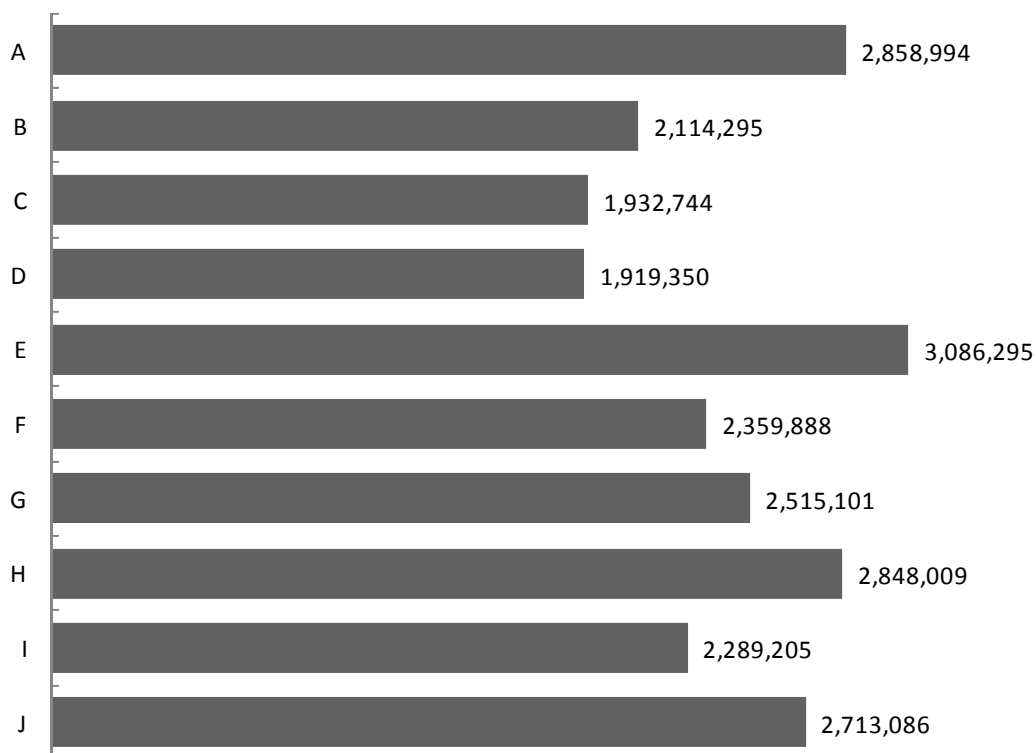


当初公演のみ			
1.全体	(1)全体	①費用全体	i.金額
2.分野別	(2)1団体あたり	②費用項目別	ii.構成比
3.ブロック別	(3)1公演あたり		

◇ブロック別：1公演あたりの金額

1公演あたりの金額は、Eブロックが最も高い。

図表Ⅱ-22 ブロック別の1公演あたり総額 単位：円



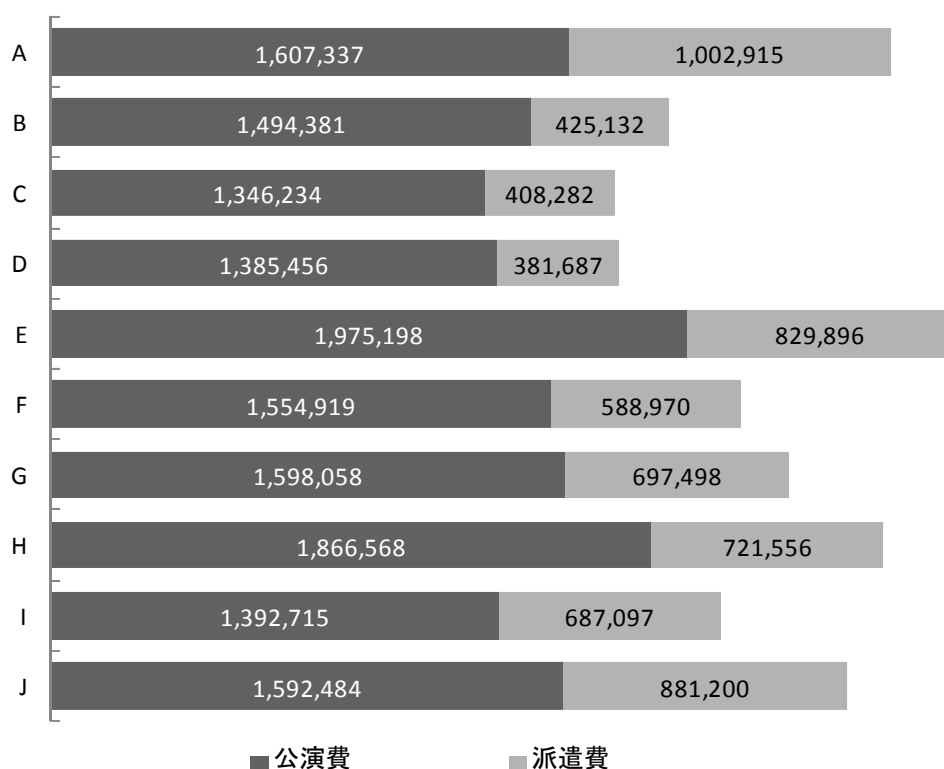
当初公演のみ			
1.全体	(1)全体	①費用全体	i.金額
2.分野別	(2)1団体あたり	②費用項目別	ii.構成比
3.ブロック別	(3)1公演あたり		

◇ブロック別：1公演あたりの金額(公演費と派遣費のみ)

B、C、Dブロックは、東京近郊のブロックであり、他のブロックに比べて派遣費が低い。

A、E、H、Jブロックは、公共交通機関の便が悪いものと推測され、派遣費が他地域に比べて高くなっている。

図表Ⅱ-23 ブロック別の1公演あたり公演費と派遣費総額 単位：円

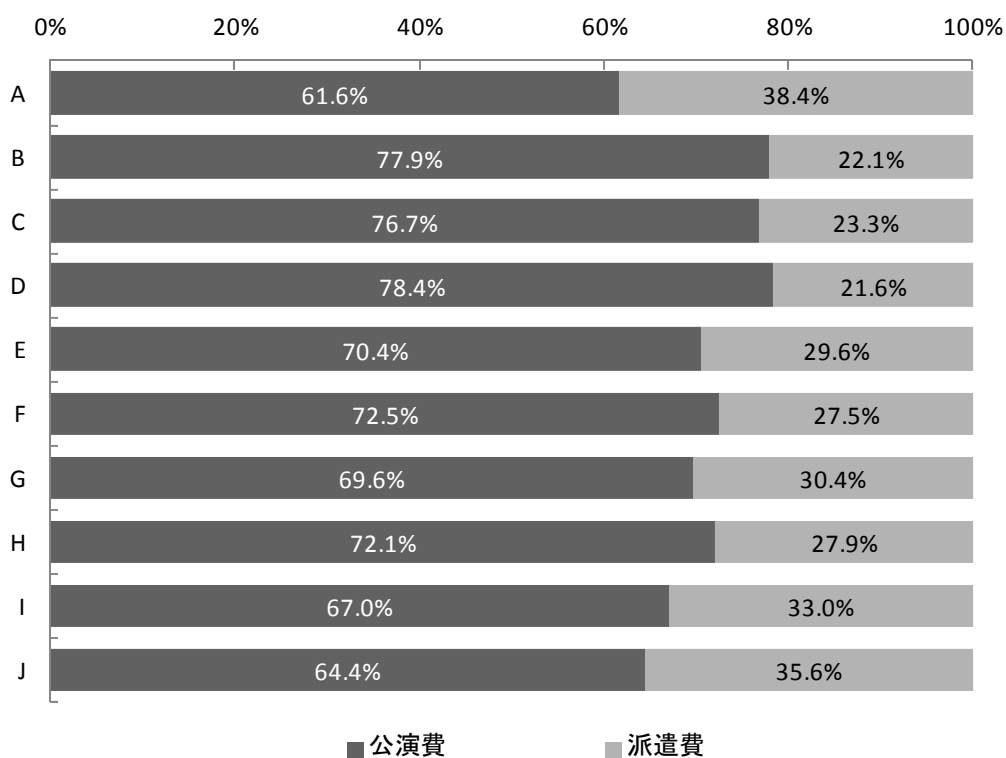


当初公演のみ			
1.全体	(1)全体	①費用全体	i.金額
2.分野別	(2)1団体あたり	②費用項目別 (公演費、派遣費)	ii.構成比
3.ブロック別	(3)1公演あたり		

◇ブロック別：1公演あたりの金額(公演費と派遣費のみ)構成比

Aブロックの1公演あたりの金額の構成比は、派遣費の割合が多い。

図表Ⅱ-24 ブロック別の1公演あたり公演費と派遣費の構成比

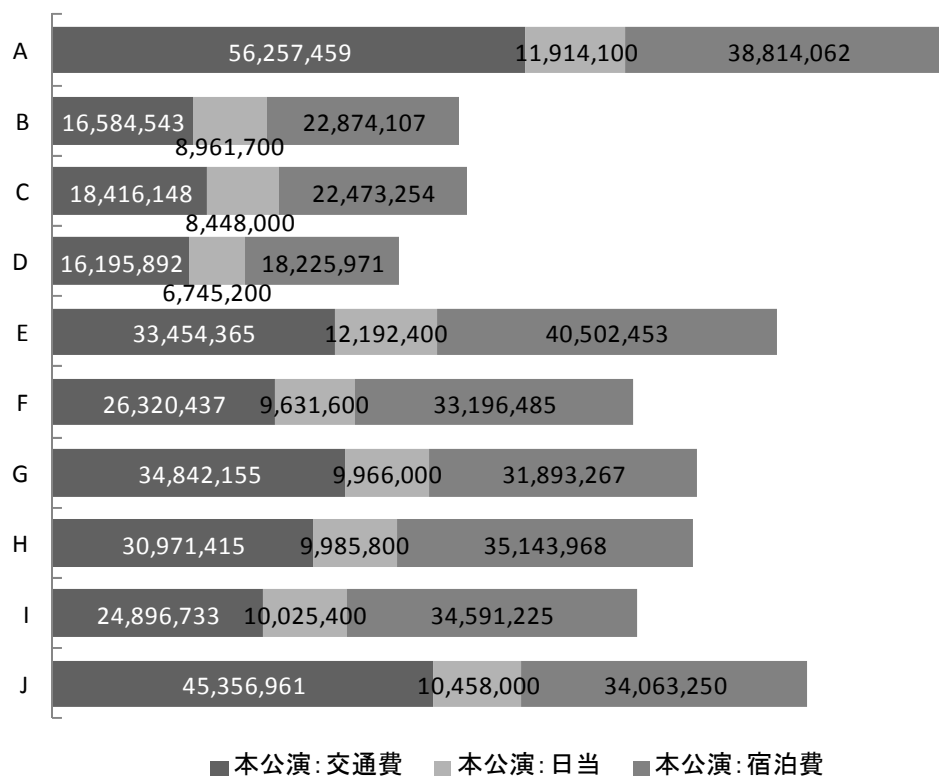


当初公演のみ			
1.全体	(1)全体	①費用全体	i.金額
2.分野別	(2)1団体あたり	②費用項目別 (公演費、派遣費)	ii.構成比
3.ブロック別	(3)1公演あたり		

◇ブロック別：本公演旅費の内訳

本公演旅費については、A（北海道を含むブロック）、J（南九州ブロック）の交通費が多い。これは首都圏等から飛行機を利用した移動が多いためと推察される。

図表Ⅱ-25 ブロック別の本公演旅費の内訳 単位：円

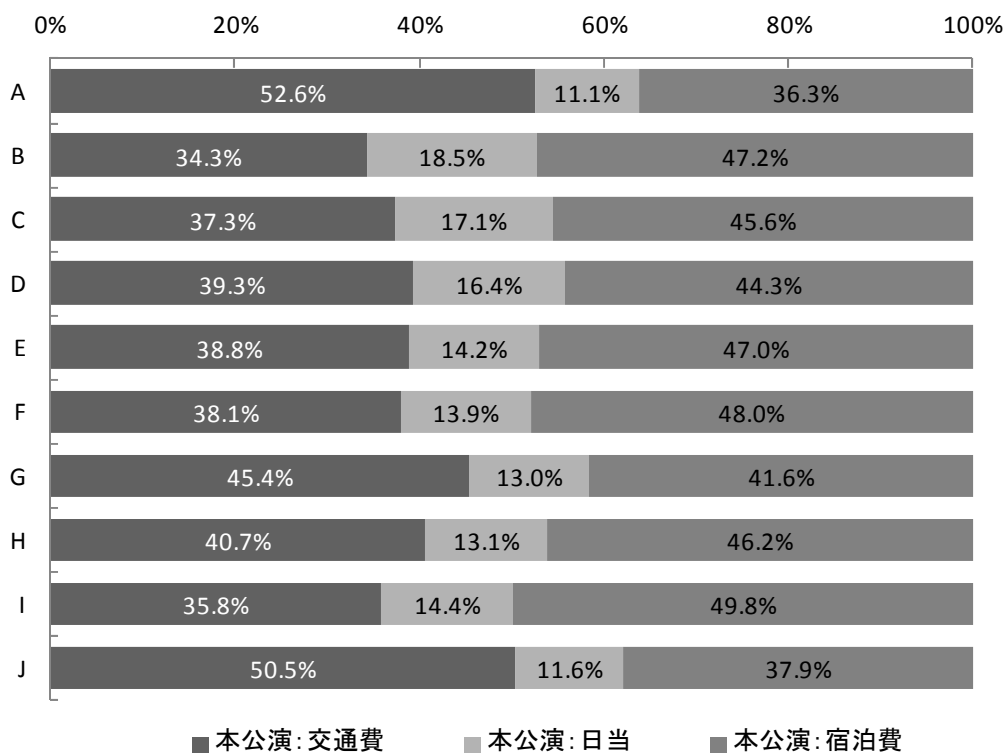


当初公演のみ			
1.全体	(1)全体	①費用全体	i.金額
2.分野別	(2)1団体あたり	②費用項目別 (本公演旅費のみ)	ii.構成比
3.ブロック別	(3)1公演あたり		

◇ブロック別：本公演旅費の内訳構成比

本公演旅費の構成比については、A（北海道を含むブロック）、J（南九州ブロック）の交通費の割合が他地域に比べて高い。

図表Ⅱ-26 ブロック別の本公演旅費の内訳の構成比



当初公演のみ			
1.全体	(1)全体	①費用全体	i.金額
2.分野別	(2)1団体あたり	②費用項目別 (本公演旅費のみ)	ii.構成比
3.ブロック別	(3)1公演あたり		

Ⅲ. 団体へのアンケート調査・分析

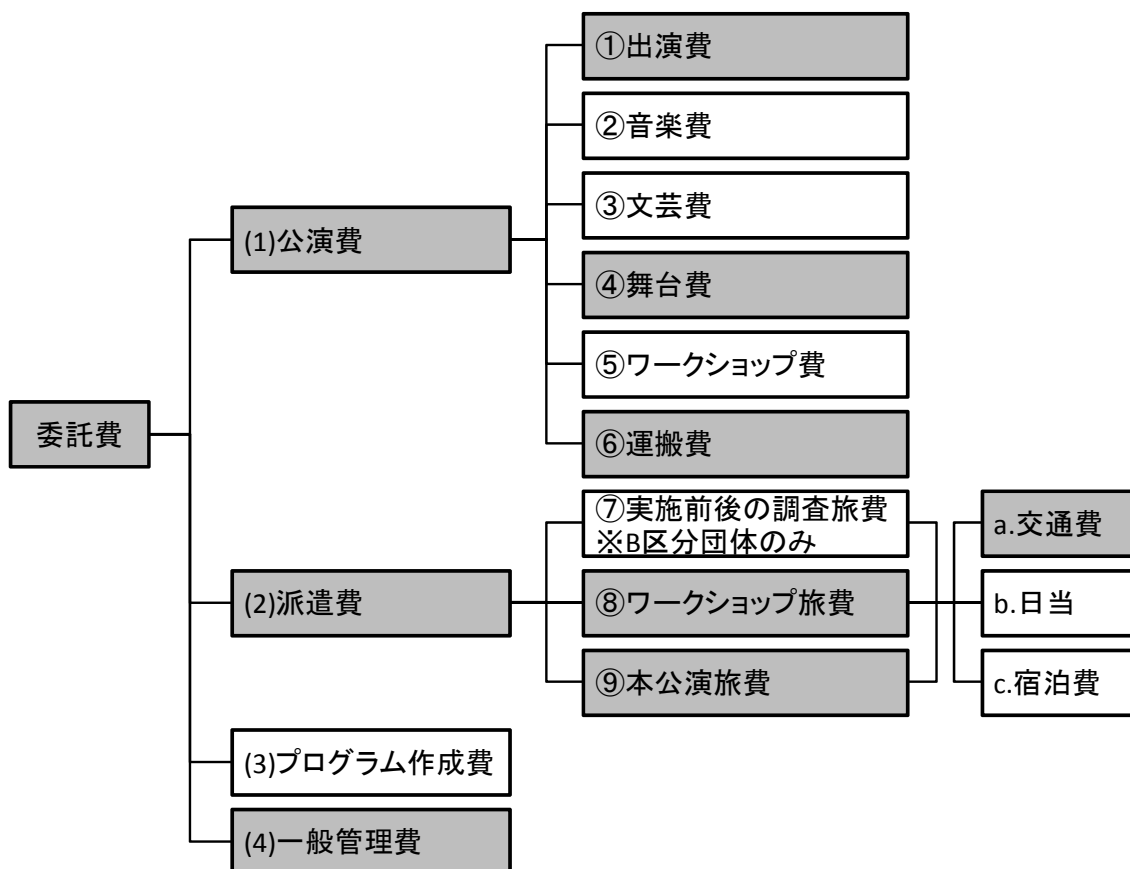
団体の費用に関するアンケートを実施した。

1. 調査概要

- ・ 調査目的：各団体の費用に関する実態を把握するため
- ・ 調査団体：H24年度、H25年度の双方で巡回公演を行った団体。計70団体
- ・ 調査期間：H26年3月3日～H26年3月17日
- ・ 調査方法：WEBアンケート
- ・ 回収率：100%

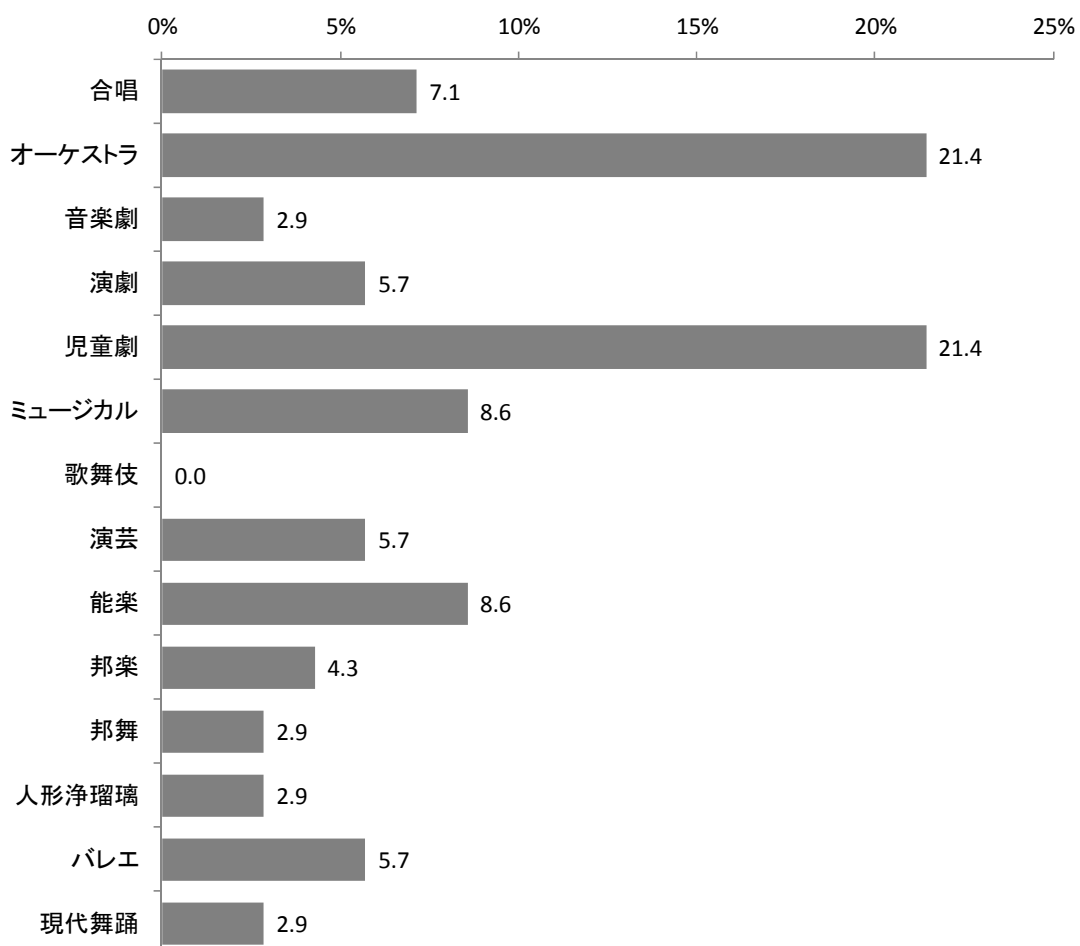
2. 質問構成

委託費全てを調査対象とするのではなく、論点を絞った上で、「出演費」「舞台費」「運搬費」「ワークショップ旅費（うち、交通費）」「本公演旅費（うち、交通費）」について質問した（全体構成のうち、網掛け部分該当）。なお、交通費については「ブロックまでの移動」「ブロック内移動」に分けて質問した。



3. 回答者属性

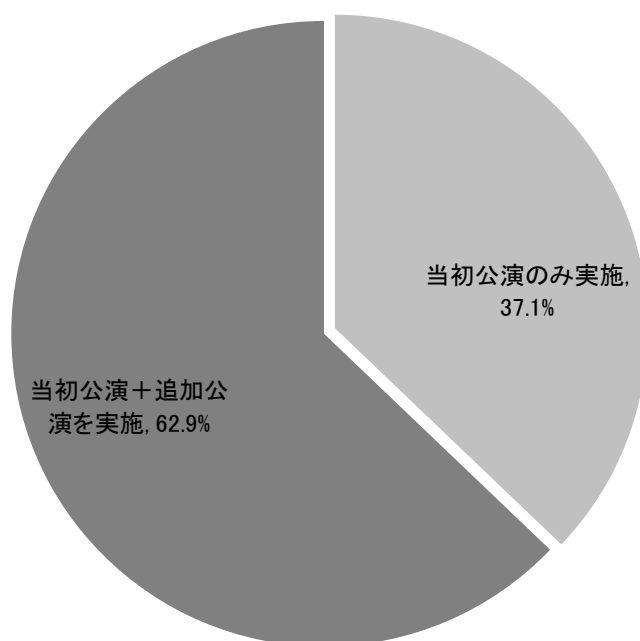
図表Ⅲ-1 平成24年度「次代を担う子どもの文化芸術体験事業」(以下、本事業)の参加分野 (F1 単一回答 N=70)



4. 調査結果

当初公演のみを行っている団体は全体の約 1/3 である。2/3 の団体は追加公演も実施している。

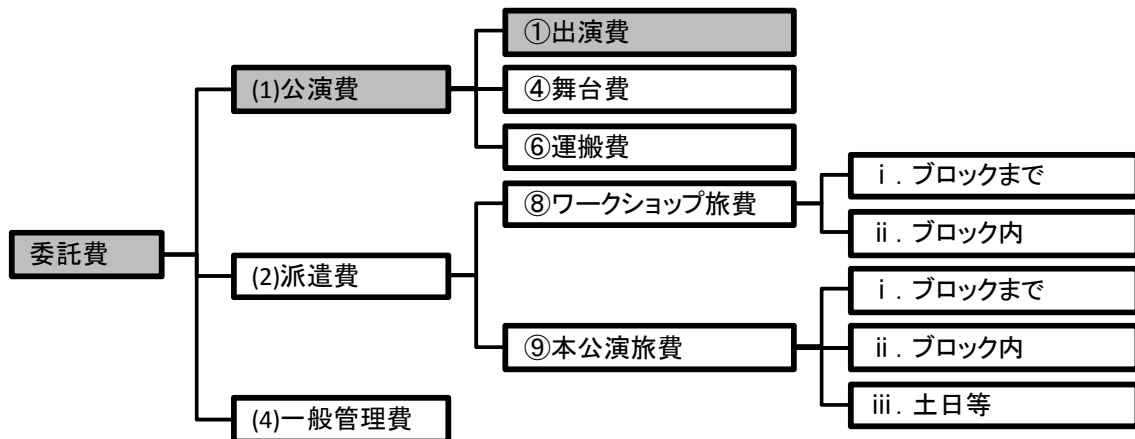
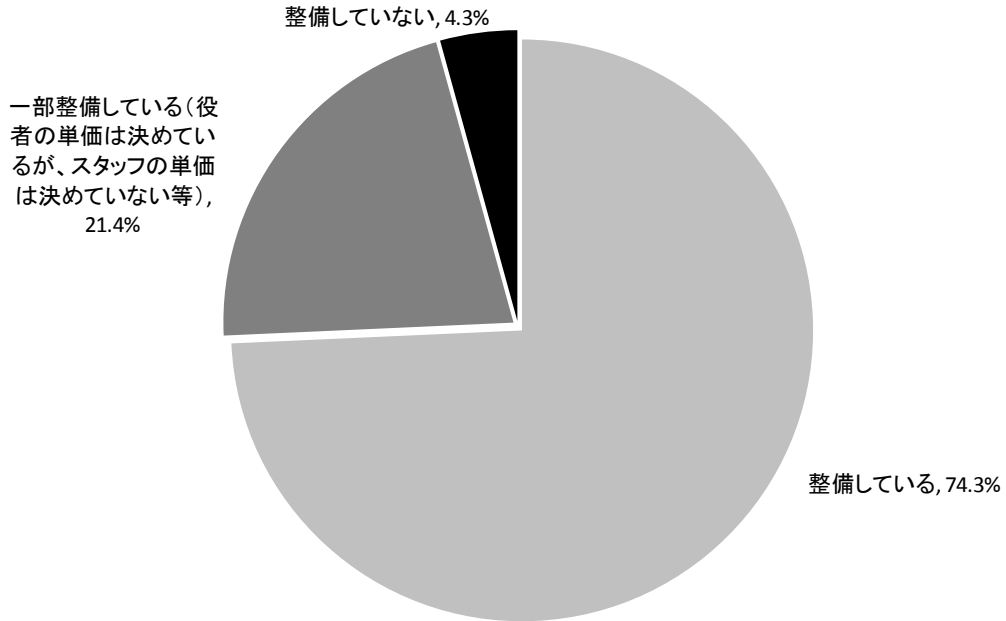
図表Ⅲ-2 公演の実施状況 (Q1 単一回答 N=70)



【出演費：ランクに応じた単価表の整備状況】

ランクに応じた出演料・スタッフ費を整備している団体は74.3%、一部整備している団体は21.4%であり、95.7%の団体が何らかの単価表を整備しているという回答となった。

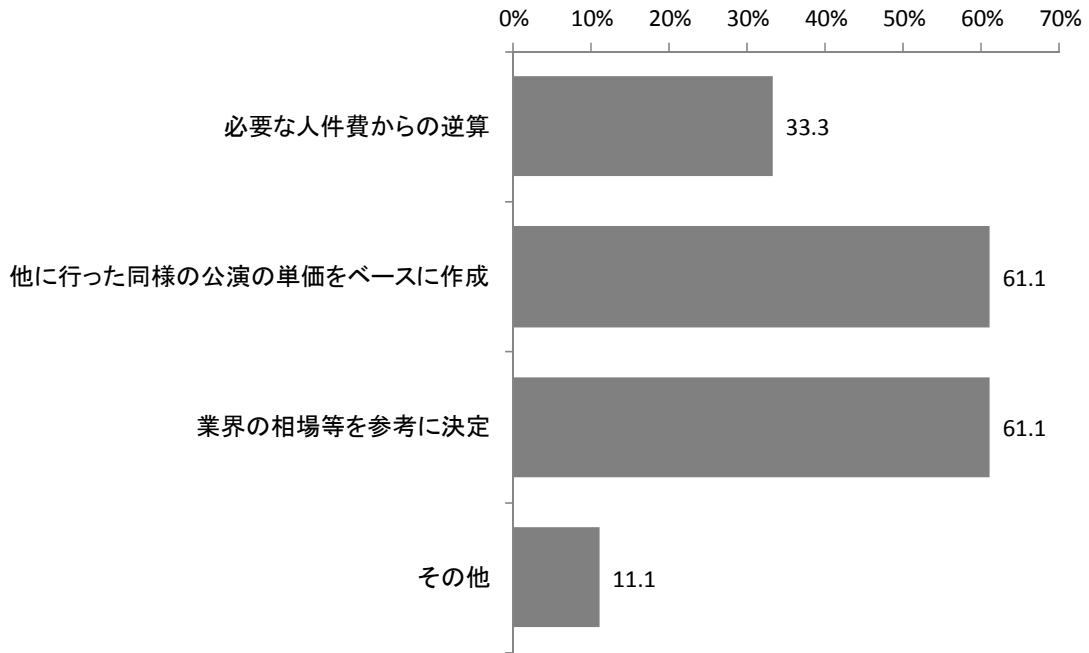
図表Ⅲ-3 ランクに応じた出演料・スタッフ費の単価整備状況 (Q7_1_1 単一回答 N=70)



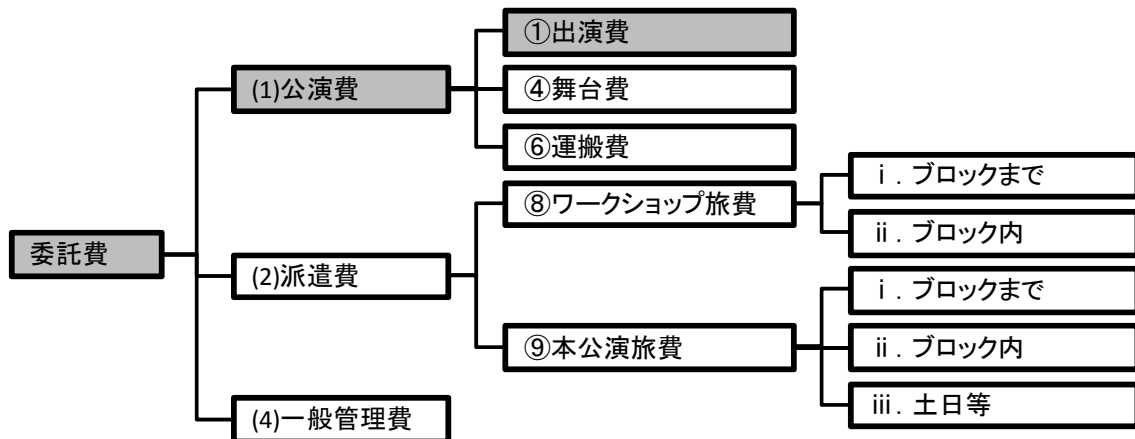
【出演費：単価表を整備していない団体の本公演単価の決定方法】

ランクに応じたスタッフ費・単価表を整備していない団体のうち、本公演の単価の決定にあたり、「他に行った同様の公演の単価をベースに作成」または「業界の相場等を参考に決定」していると回答した団体が各々61.1%であった。

図表Ⅲ-4 本公演の単価決定方法 (Q7_1_2 複数回答 N=18)



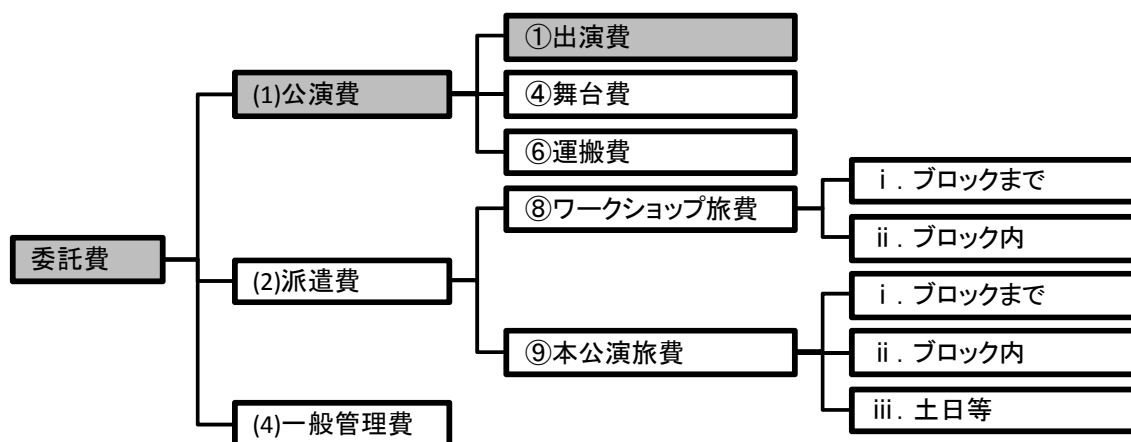
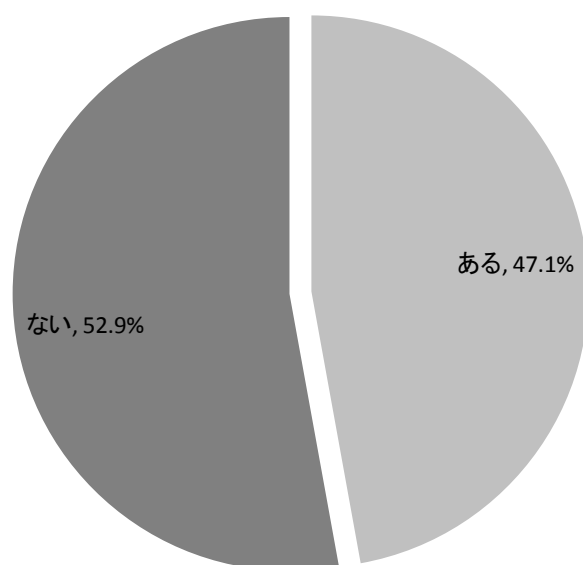
※Q7_1_1で「一部整備している」「整備していない」と回答した団体のみ質問



【出演費：実際には人件費が発生しているが計上できていない費目】

本事業の実施にあたり、実際には人件費が発生しているにも関わらず、計上できていない費目がある団体は全体の47.1%であり、約半数を占める。

図表Ⅲ-5 本事業で発生しているが計上できていない人件費の有無
(Q7_2_1 単一回答 N=70)



【出演費：人件費が発生しているが計上できていない費目の内容（音楽分野）】

実際には人件費が発生しているにも関わらず、計上できていない費目の内容として「リハーサル費用」「帯同スタッフ費用」等が挙げられている。

図表Ⅲ-6 人件費が発生しているが、計上できていない費目（Q7_2_2 自由回答）

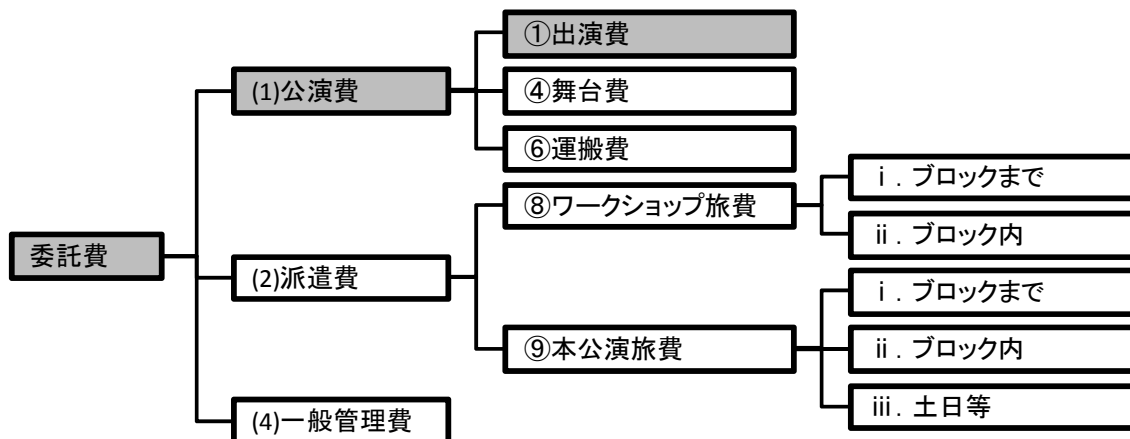
分野	Q7_2_2 人件費が発生しているが、計上できていない費目
音楽	事前調査に行くための事務局員の人件費。
音楽	ワークショップで決められている人員以外を帯同させた場合の人件費。例えば記録を取るために1日とか2日スタッフが増える場合やワークショップで打ち合わせた後に出演者を追加した方が効果的なので追加した場合等は当方で出演費用を支払っています。
音楽	謝金
音楽	リハーサルに係る経費
音楽	リハーサルにおける費用1つの公演を実施するにあたり、リハーサル→ゲネプロ→本番という流れは普通のことであり、リハーサルを一度もせず現地へ行って本番を迎えるというのは、演奏のクオリティや奏者のモチベーションとう観点から考えても現実的ではないため、経費は計上できないが本拠地でリハーサルをし巡回公演を実施しているというのが実情である。
音楽	エキストラ奏者の出演料
音楽	運搬業者の現地下見に係る経費貸切バス添乗員に係る経費
音楽	本公演に帯同する、楽団スタッフの人件費
音楽	・旅行会社からの派遣費（旅行会社から添乗員を1名、サポート要員として派遣していただいております。）・指揮者のグリーン席料金、および宿泊ホテルのツイン部屋の差額料金・タクシー代（一般管理費）、企画料
音楽	録音技師
音楽	早朝・深夜移動手当帰京手当
音楽	同行している企画総括者
音楽	どんなレパートリー作品でも稽古を1回もしないで公演は打てないため稽古のための音楽・舞台スタッフの人件費は発生している。

【出演費：人件費が発生しているが計上できていない費目の内容（演劇分野）】

分野	Q7_2_2 人件費が発生しているが、計上できていない費目
演劇	準備のための経費（主に人件費：道具類の整備・円滑に進めるための団内打合せ・学校との打合せ）と終了後の整理・振り返り等
演劇	大道具運搬車の運転手については、給料制の雇用をしているにも関わらず、事業予算として「運転手当」しか請求出来ず、事業予算の効率化をすすめると、その僅かな手当も請求出来ない日が増えているのが実状。
演劇	社内制作のプログラム作成費
演劇	ロードマネージャーに掛かる人件費
演劇	劇団員の裏方スタッフの人件費。
演劇	出発時・終了時の道具等の搬出入人件費稽古に関わる人件費移動日の人件費 等
演劇	人件費に限ったことではありませんが、付加価値とでも申しましょうか、舞台（芸術）作品の金銭的評価は、かかった費用の積算で表せるものではないという前提が、この事業では理解されていない。
演劇	ワークショップ材料の加工賃。（ワークで子どもたちが人形を作りますが、限られた時間内に完成できるようにするため、あらかじめワーク材料に加工をします。その加工人件費）
演劇	学校との渉外に当たっている劇団員の就業料、一般管理費の中から出していますが、厳しいです。B区分の事前事後調査の人件費、私どもは事前はWSの時に合わせて行う良いにしていますが、事後は今回当初で16日間、追加で3日間使って24校（うち3校は2名で訪問）と4校訪問していますが、収入は日当4,400円しかありません。この人件費もやはり一般管理費から出すことになります。すると一般管理費はほとんど残りません。これは、団体が疲弊する原因になるのではないのでしょうか。財政基盤が大きくなくても上質な公演をしている団体もありますので、上質の公演を維持するためにも、多くの団体で切磋琢磨できるよう、団体の維持ということもお考えいただければ幸いです。
演劇	事務費
演劇	公演日の前日に移動・宿泊する際の、移動出勤手当。公演日の前日に仕込んだ場合の、仕込みギャラ。児童数が多いため、1校で2回公演した際の2回目分のスタッフ・出演者ギャラ。
演劇	事務経費（ワークショップ・本公演には随行しない製作者）

【出演費：人件費が発生しているが計上できていない費目の内容（伝統芸能、舞踊分野）】

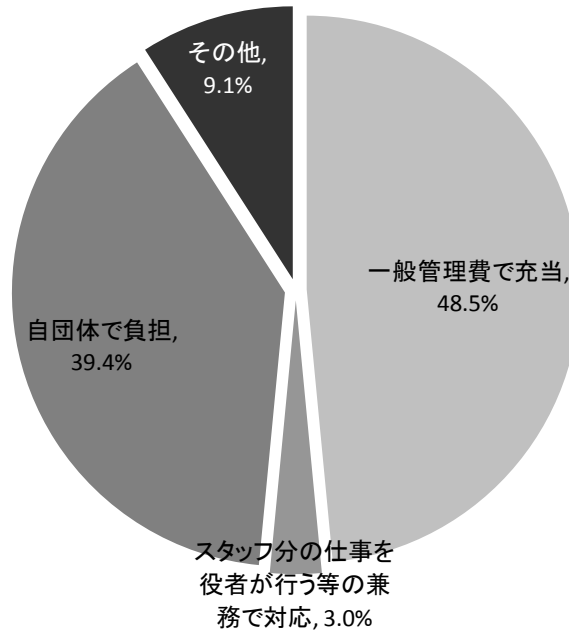
分野	Q7_2_2 人件費が発生しているが、計上できていない費目
伝統芸能	舞台監督のスタッフ。人件費は日当しか請求できなかったが、外注で支払わなくてはならない金額に対して、この事業で決まっている日当ははるかに低かったのだ。
伝統芸能	体育館の形状（2階以上等）による、早出準備また超過片付けに係る人件費公演地近隣に宿泊地がなく、早めに出発する際の早出人件費
伝統芸能	記録をするため、また提出をするための映像及び写真のカメラマンの人件費
伝統芸能	運転謝礼ならびに楽器運搬に関する人件費。
伝統芸能	舞台作り・撤収と道具類運搬の人件費
舞踊	衣装メンテナンスのための人件費
舞踊	体育館が2～3階の時や、暗幕を吊す設備がない等、公演前日に、搬入仕込みが必要になった場合。
舞踊	事前打合せの際の人件費
舞踊	事前の打ち合わせのためのスタッフ人件費



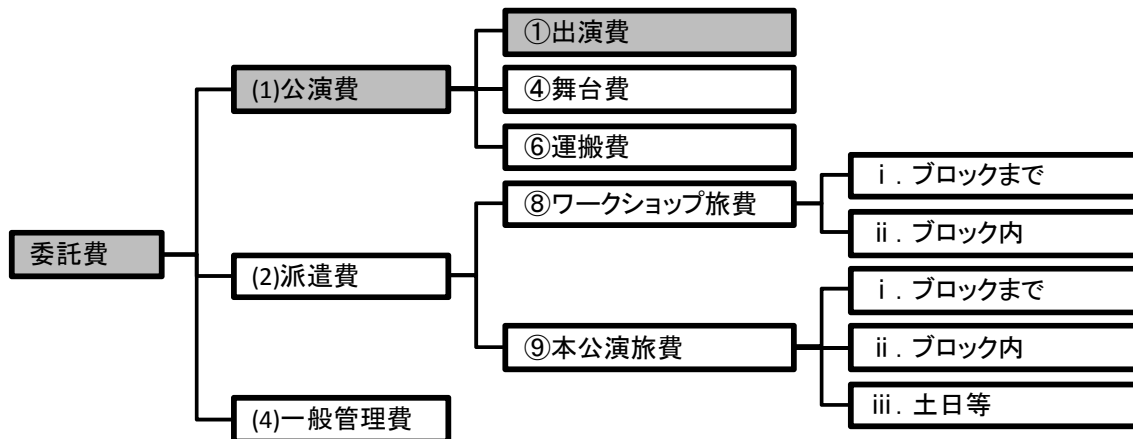
【出演費：人件費が発生しているが計上できていない費目の処理方法】

実際には人件費が発生しているにも関わらず、計上できていない費目の処理方法については「一般管理費で充当している」と回答した団体が 48.5%であった。

図表Ⅲ-7 本事業で計上できない人件費の処理方法 (Q7_2_3 単一回答 N=33)



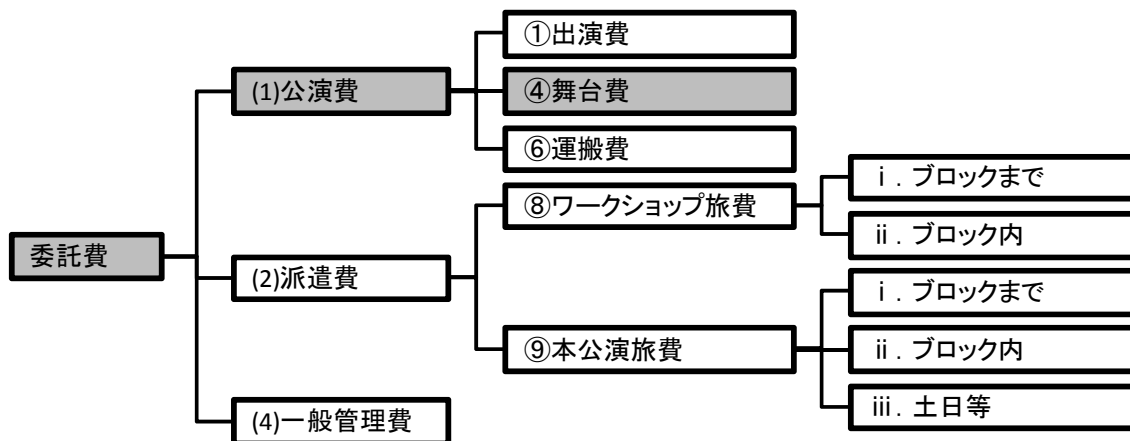
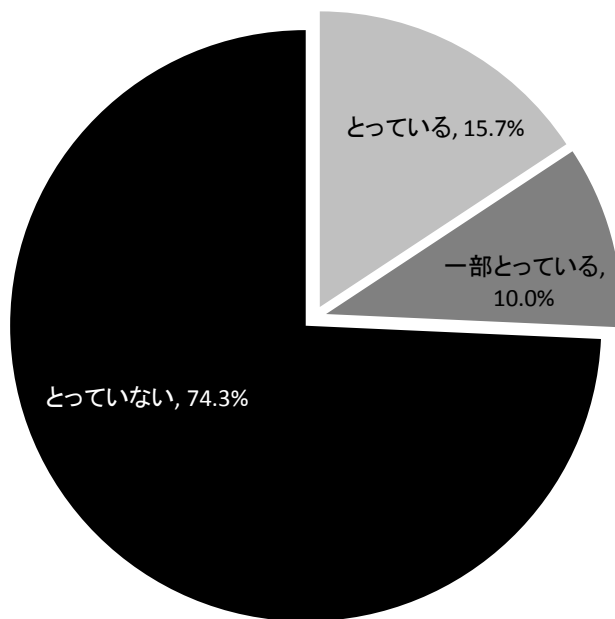
※Q7_2_1 で実際には人件費が発生しているにも関わらず、計上できていない費目があると回答した団体のみに質問



【舞台費：外部発注時の相見積取得状況】

舞台費の外部発注において相見積をとっている団体は 15.7%、一部とっている団体は 10.0%であり、74.3%の団体が相見積をとっていないと回答している。

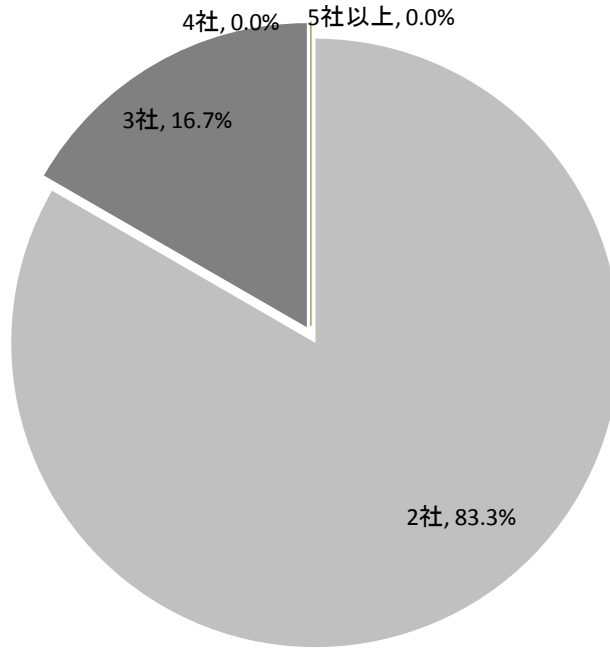
図表Ⅲ-8 舞台費の外部発注の際の相見積の有無 (Q8_1 単一回答 N=70)



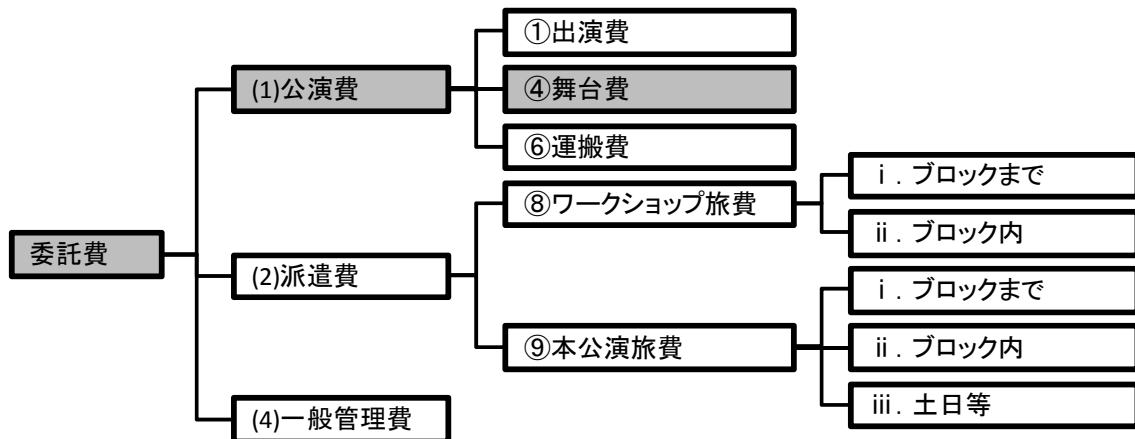
【舞台費：相見積時の社数】

舞台費の外部発注において相見積をとっていると回答した団体のうち83.3%が2社の相見積となっている。4社以上の相見積をとっている団体は無かった。

図表Ⅲ-9 舞台費の外部発注の際の相見積の依頼社数 (Q8_2 単一回答 N=18)



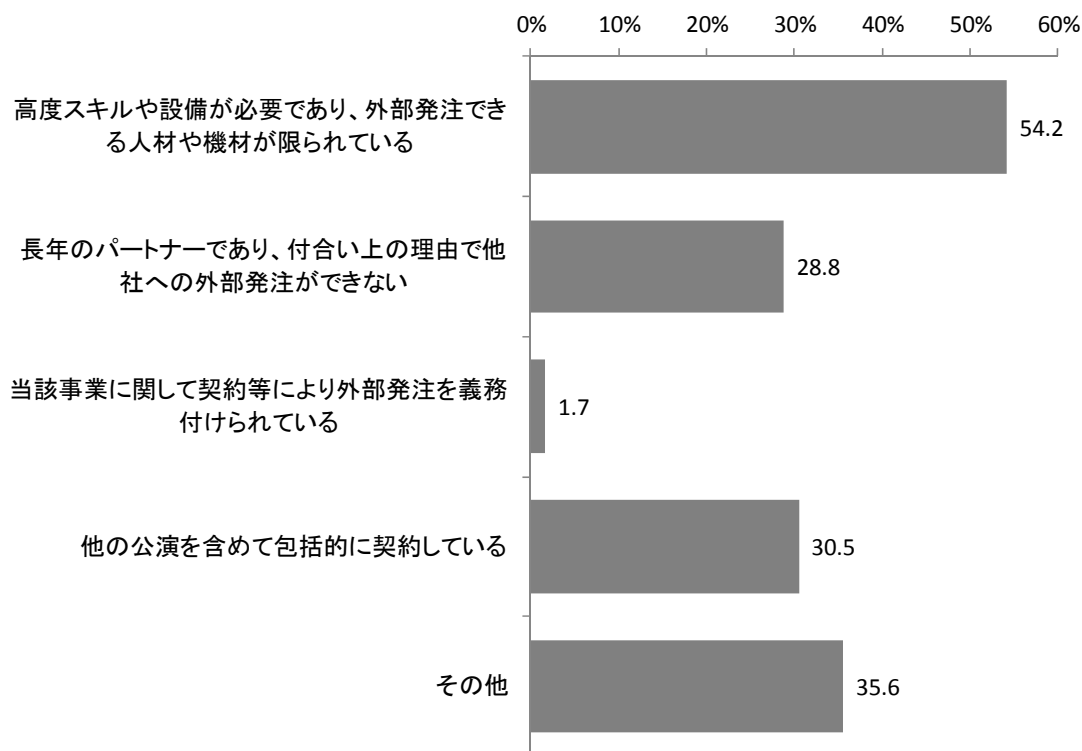
※Q8_1 で相見積を「とっている」「一部とっている」と回答した団体のみに質問



【舞台費：相見積をとらない理由】

舞台費の外部発注において相見積をとっていない理由については、「高度スキルや設備が必要であり、外部発注できる人材や機材が限られている」と回答した団体が54.2%あった。

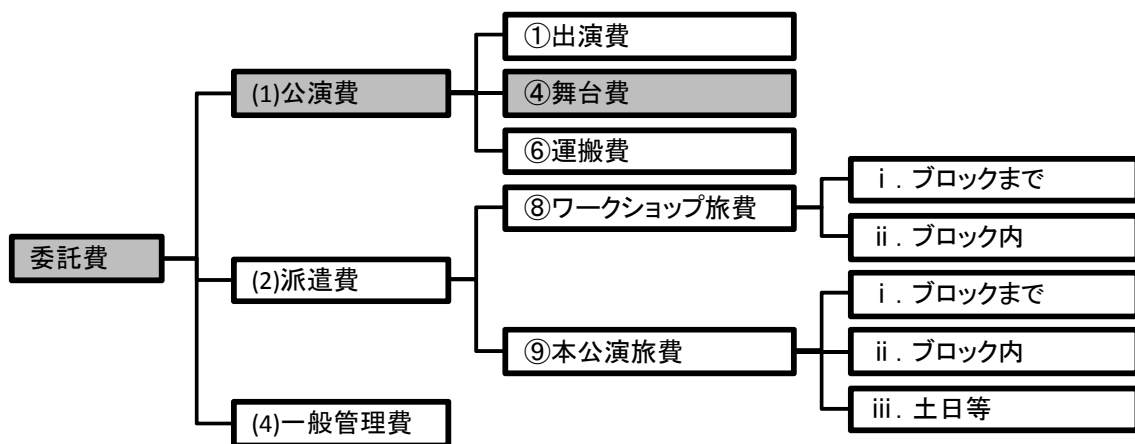
図表Ⅲ-10 舞台費で相見積をとらない理由 (Q8_3 複数回答 N=59)



※Q8_1 で相見積を「とっていない」と回答した団体のみ質問

分野	その他
音楽	特別な小道具、衣装なので他業者にはない
音楽	信頼して任せることができるので。
音楽	個人に格安で依頼しているため
音楽	高度な専門知識・経験が必要なため、過去に相見積を取って業者を選定して以降、現在の業者に落ち着いている。
演劇	長年のパートナーなので最も低額であることがわかっている。
演劇	基本は内部で製作。外部に発注する場合は、その作品にとって最適・最良のスタッフを選定し発注するため

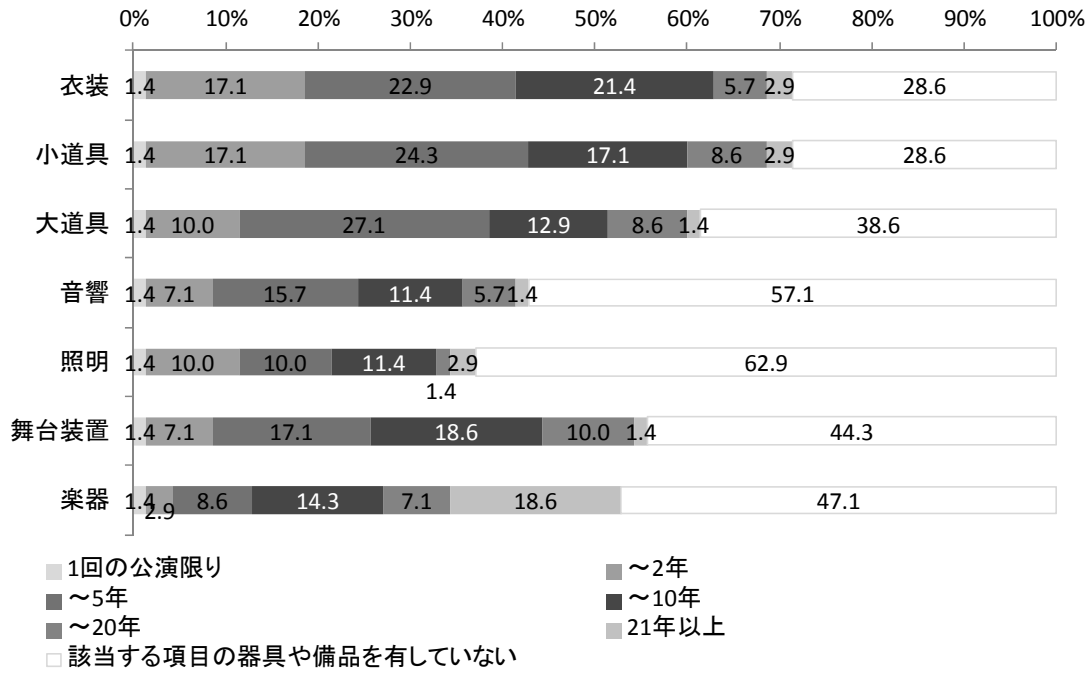
分野	その他
伝統芸能	公演の性質上、全体像を知っている業者が一番都合がよいため
伝統芸能	当該事業の趣旨を理解し社会貢献の一環として破格値をつけて頂いているため。また、弊団体に存在する不思議の仕掛け等の特異性を十分に理解して下さる業者に限られているため。
伝統芸能	毎回会場条件が異なる学校での公演に対応するためには、蓄積された経験が必要となるため。
舞踊	能力、信頼性、協調性



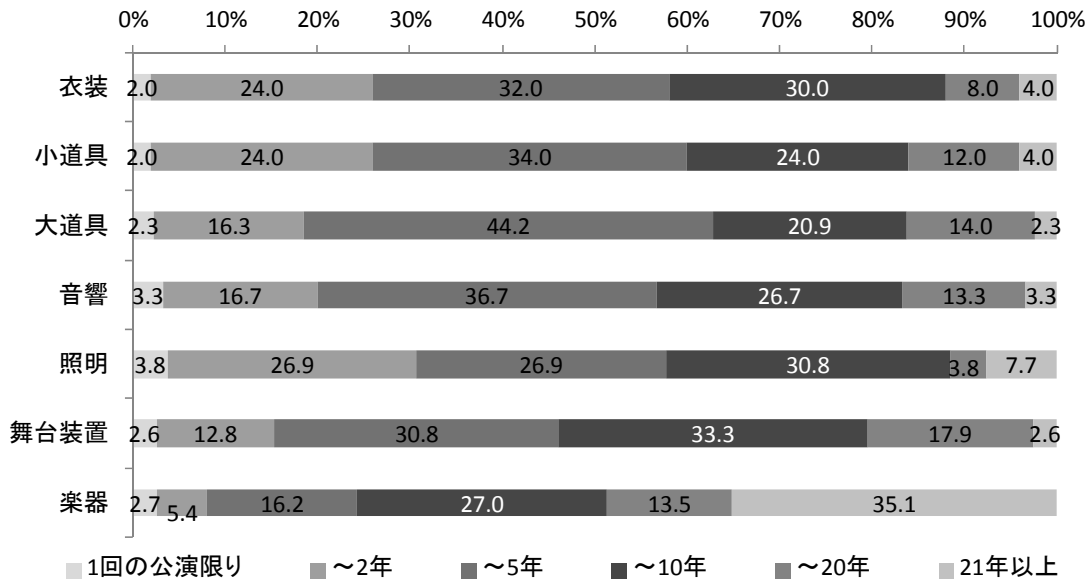
【舞台費：各種団体所有物の利用期間】

団体所有物の利用期間について、団体によって、また、その種類によって実態は全く異なっており、共通する傾向は特に見いだせなかった。

図表Ⅲ-11-1 当事業で利用する自団体所有物の利用期間（Q12 単一回答 N=70）



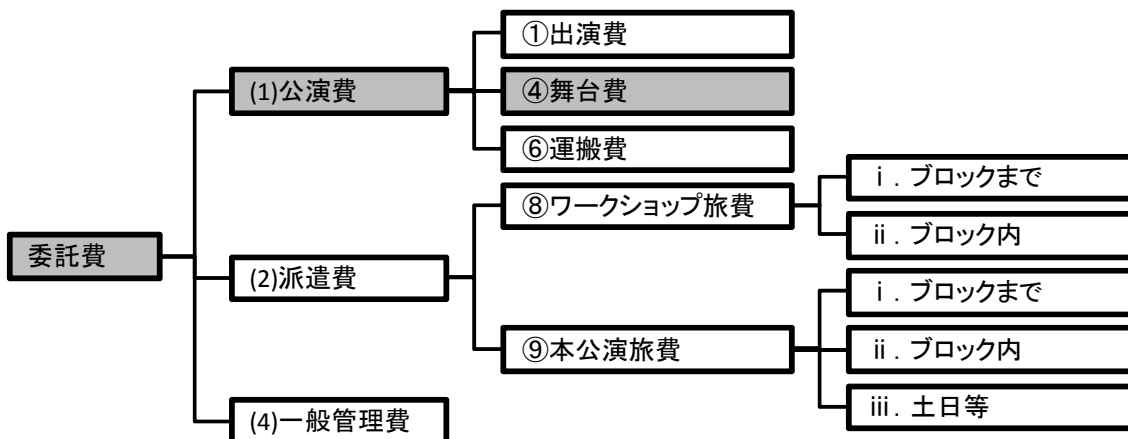
図表Ⅲ-11-2 上記のうち「該当する項目の器具や備品を有していない」以外の回答



図表Ⅲ-11-3 前ページの図表Ⅲ-11-1の詳細 (単位：%)

1回の公演 限り	半年以内	1年以内	2年以内	3年以内	4年以内	5年以内	
衣装	1.4	0.0	11.4	5.7	11.4	2.9	8.6
小道具	1.4	2.9	7.1	7.1	8.6	4.3	11.4
大道具	1.4	0.0	2.9	7.1	8.6	2.9	15.7
音響	1.4	0.0	1.4	5.7	4.3	2.9	8.6
照明	1.4	0.0	0.0	10.0	4.3	0.0	5.7
舞台装置	1.4	0.0	0.0	7.1	7.1	1.4	8.6
楽器	1.4	0.0	1.4	1.4	5.7	0.0	2.9

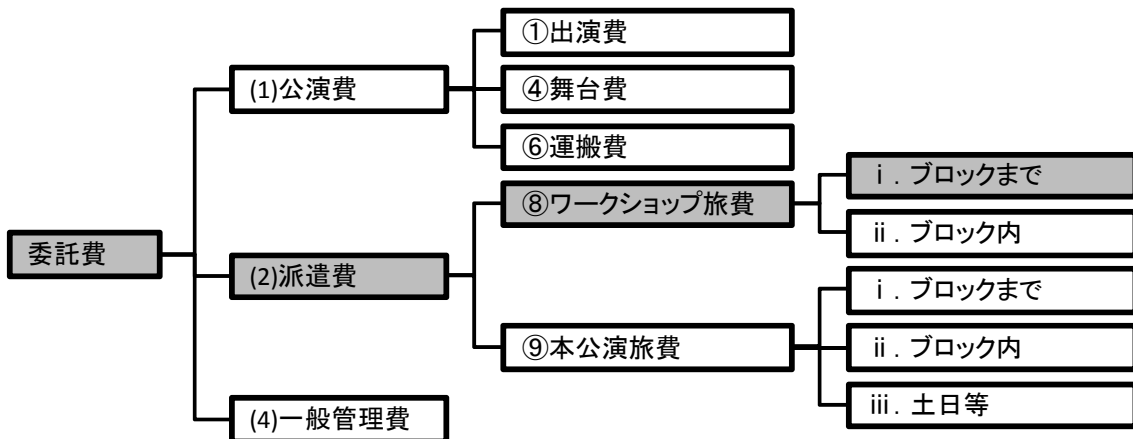
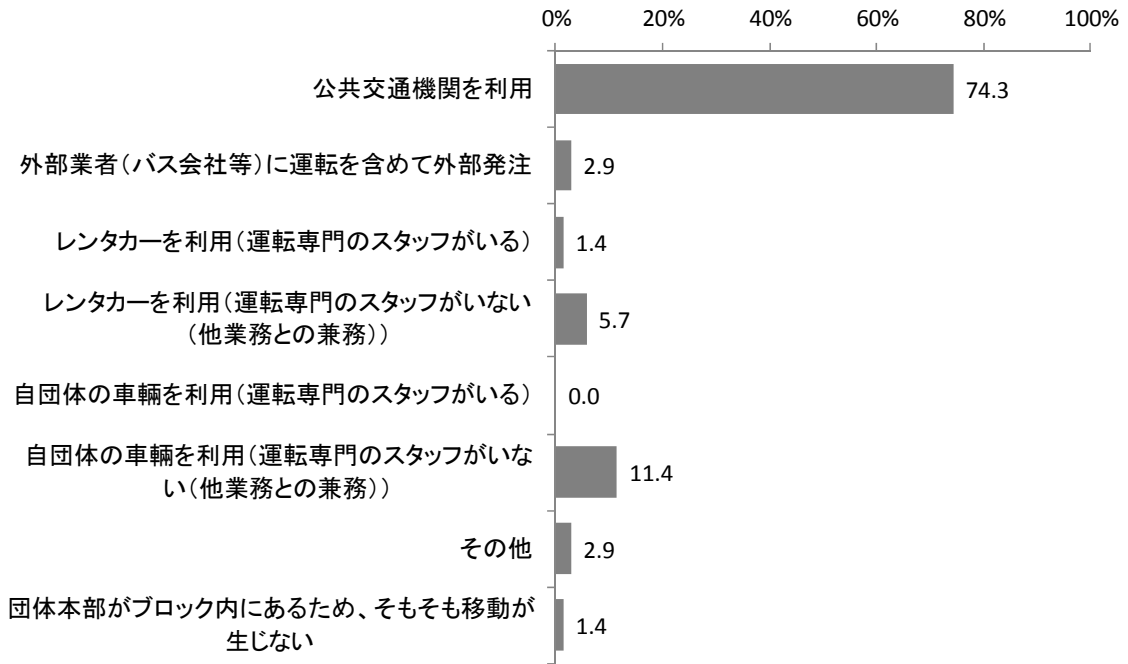
	6～7年程 度	8～10年程 度	11～15年 程度	16～20年 程度	21年以上	該当する項 目の器具 や備品を有 していない
衣装	8.6	12.9	2.9	2.9	2.9	28.6
小道具	7.1	10.0	5.7	2.9	2.9	28.6
大道具	5.7	7.1	5.7	2.9	1.4	38.6
音響	5.7	5.7	2.9	2.9	1.4	57.1
照明	4.3	7.1	1.4	0.0	2.9	62.9
舞台装置	5.7	12.9	7.1	2.9	1.4	44.3
楽器	4.3	10.0	1.4	5.7	18.6	47.1



【ワークショップ旅費：ブロックまでの主な移動方法】

ワークショップ時における団体本部の立地からブロックまでの主な移動方法については、74.3%の団体が「公共交通機関を利用」と回答している。次いで、自団体の車輛を利用して11.4%となっている。

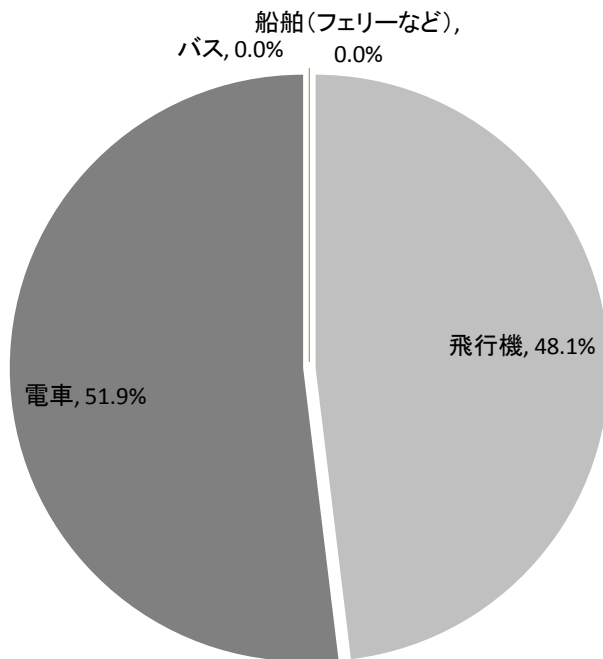
図表Ⅲ-12 団体本部→ブロックまでの主な移動方法 (Q2_1_1 単一回答 N=70)



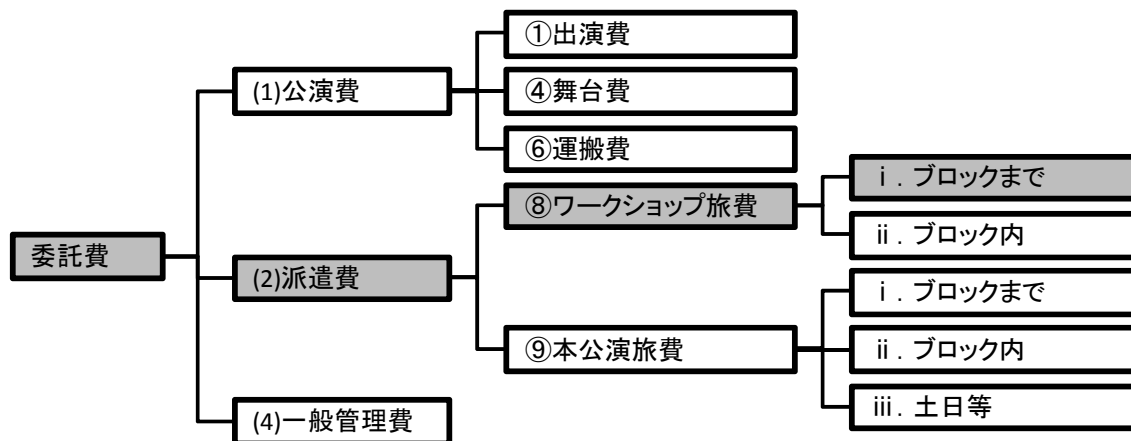
【ワークショップ旅費：ブロックまでの主な移動方法】

要した金額が最も大きい交通機関として、「飛行機」が48.1%、「電車」が51.9%であり、飛行機と電車がほぼ半々となった。

図表Ⅲ-13 要した金額が最も大きい交通機関 (Q2_1_1_1 単一回答 N=52)



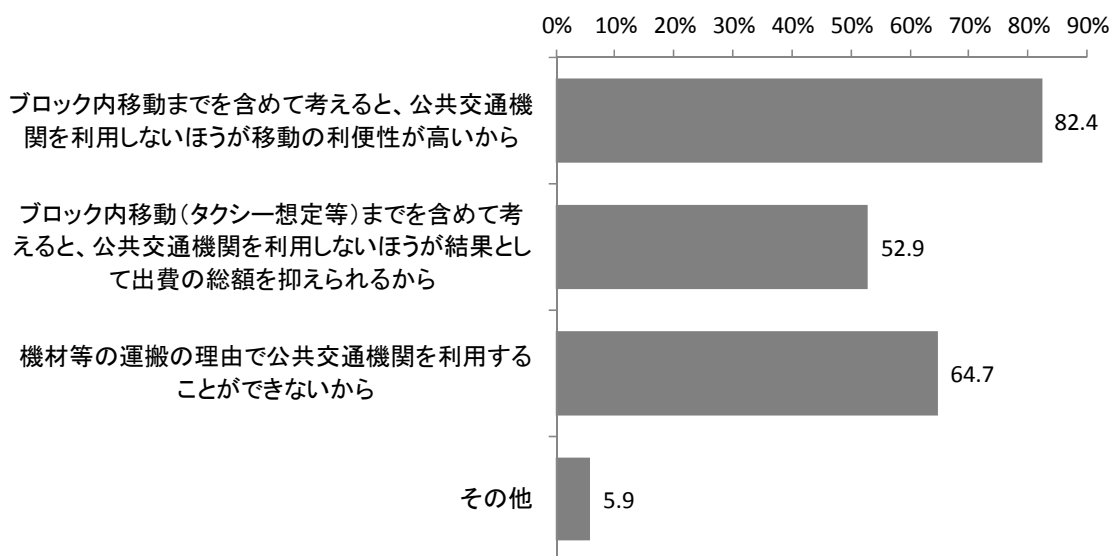
※Q2_1_1で「公共交通機関を利用」と回答した団体のみに質問



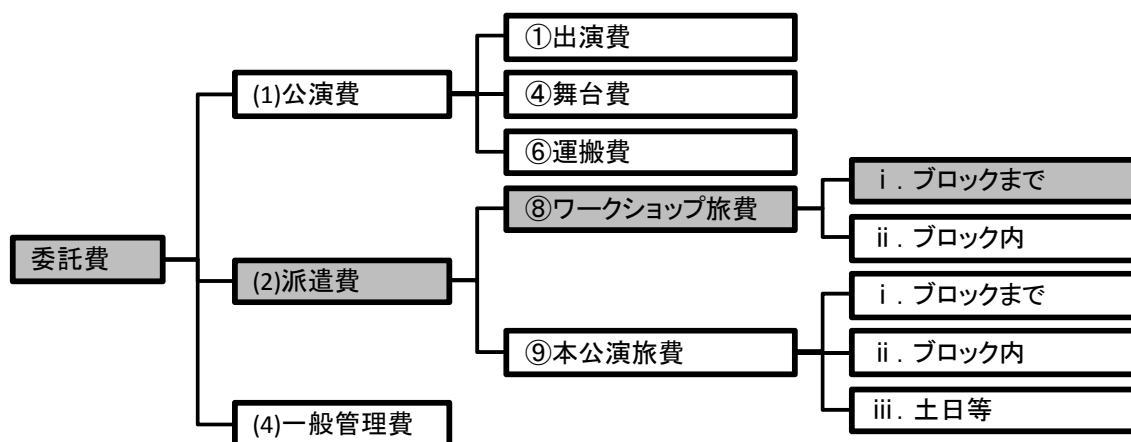
【ワークショップ旅費：公共交通機関を利用しなかった理由】

公共交通機関を利用しない理由として、「ブロック内移動までを含めた時の移動利便性」が82.4%と最も多く、次いで「機材等の運搬の理由で公共交通機関を利用することができない」が64.7%となった。「出費の総額を抑えられるから」という回答は52.9%と過半数であるものの、他の2項目よりも少ない回答であった。

図表Ⅲ-14 公共交通機関を利用しなかった理由(Q2_1_1_2 複数回答 N=17)



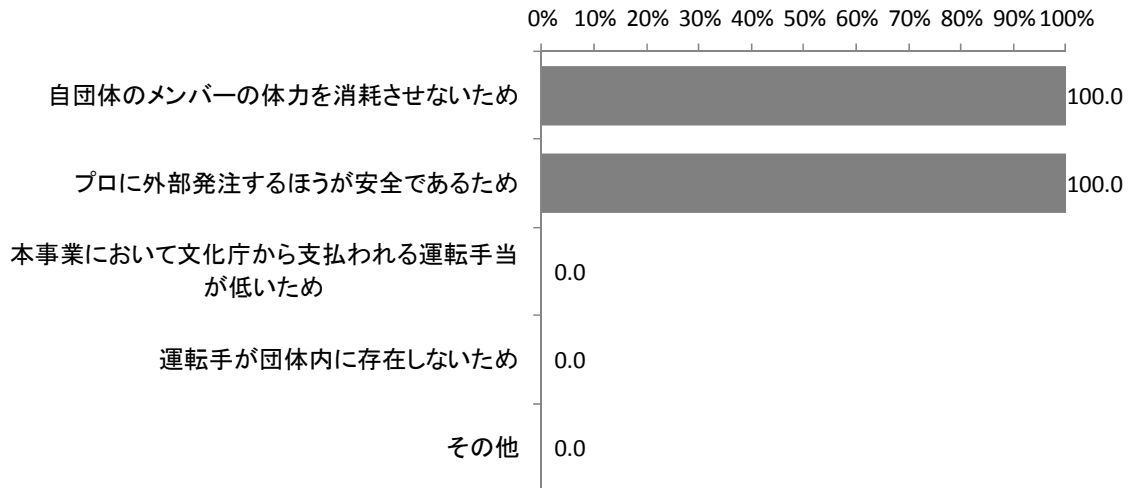
※Q2_1_1で「公共交通機関を利用」と回答しなかった団体のみに質問



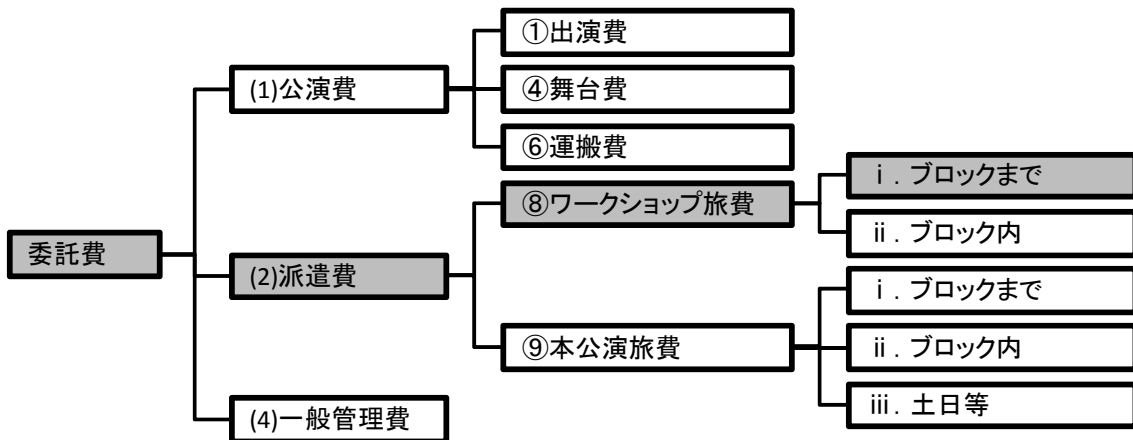
【ワークショップ旅費：運転手を含めて移動を外部発注した理由】

運転手を含めて移動を外部発注した 2 団体はいずれも「自団体のメンバーの体力を消耗させないため」「プロに外部発注するほうが安全であるため」と回答している。

図表Ⅲ-15 運転手を含めて移動を外部発注した理由 (Q2_1_1_3 複数回答 N=2)



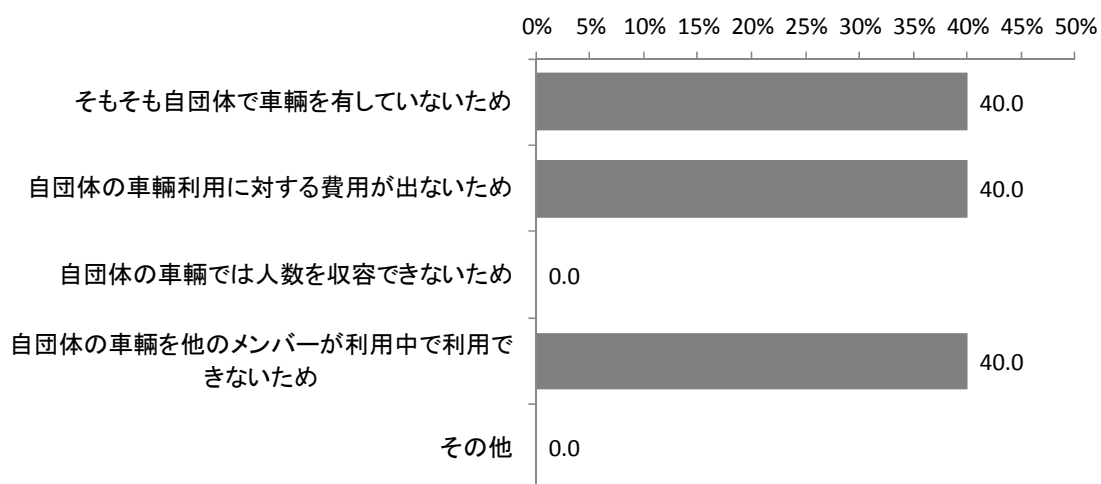
※Q2_1_1 で「外部業者に運転も含めて外部発注した」と回答した団体のみ質問



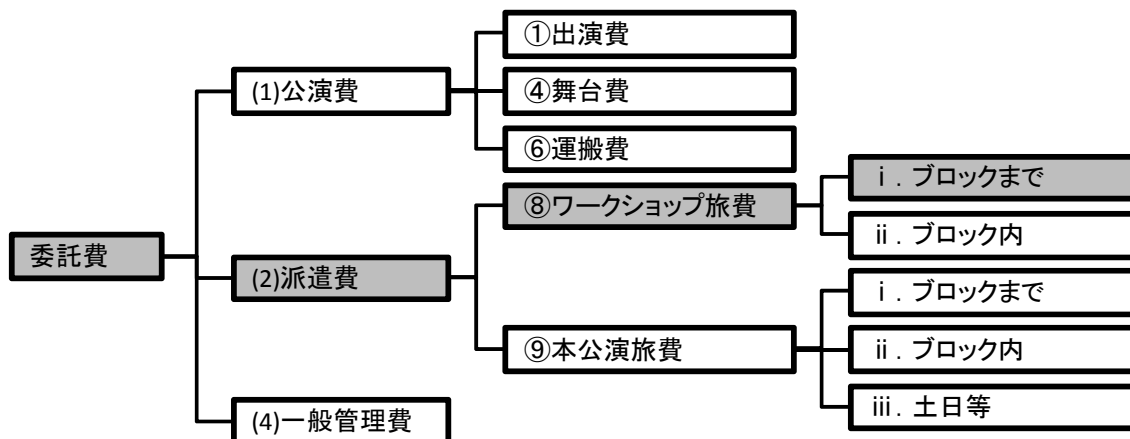
【ワークショップ旅費：自団体車輛ではなくレンタカーを利用した理由】

レンタカーを利用している団体のうち、40.0%（2団体）が、「自団体の車輛利用に対する費用が出ないため」と回答している。

図表Ⅲ-16 自団体車輛ではなくレンタカーを利用した理由（Q2_1_1_4 複数回答 N=5）



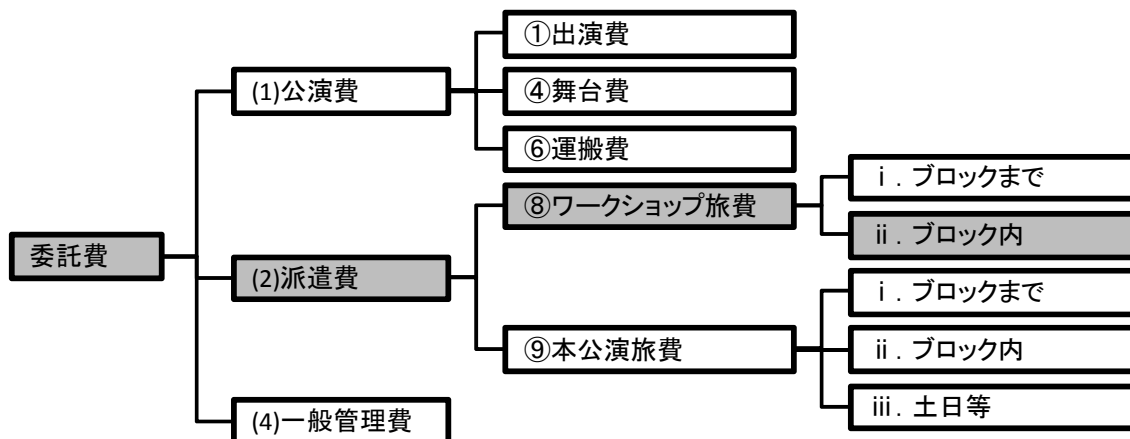
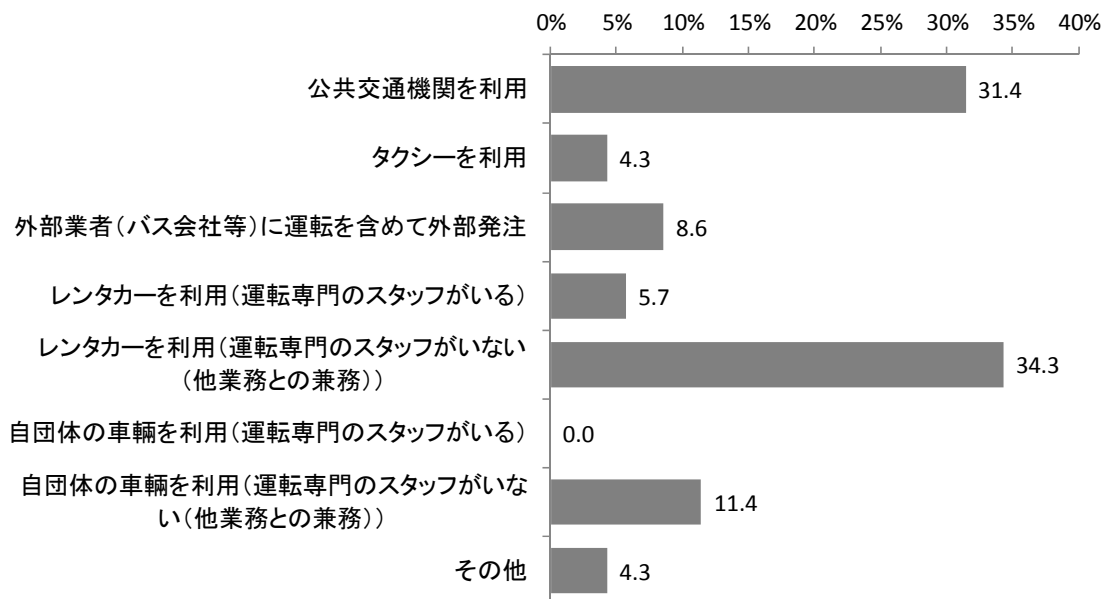
※Q2_1_1で「レンタカーを利用」と回答した団体のみ質問



【ワークショップ旅費：ブロック内の主な移動方法】

ブロック内の主な移動方法について「レンタカーを利用（運転専門のスタッフがいない（他業務との兼務）」が 34.3%、次いで「公共交通機関を利用」が 31.4%であり、レンタカー利用が公共交通機関利用より多い結果となった。

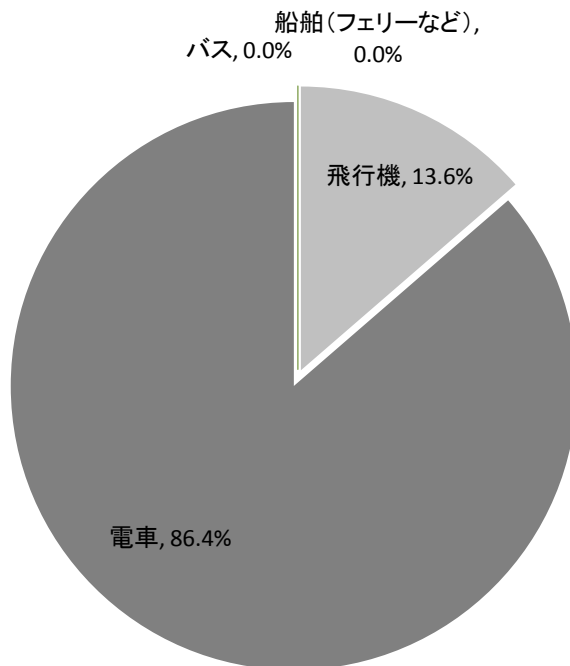
図表Ⅲ-17 ブロック内の主な移動方法 (Q2_1_2 単一回答 N=70)



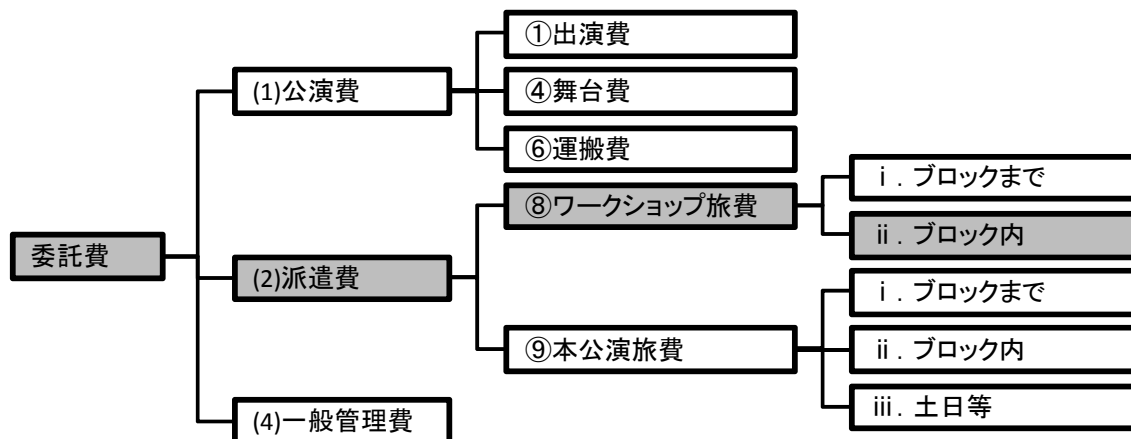
【ワークショップ旅費：要した金額が最も大きい公共交通機関】

ブロック内の移動において、主に公共交通機関を利用している団体のうち、ブロック内移動の際に要した金額が最も大きい交通機関として、86.4%の団体が電車と回答している。

図表Ⅲ-18 要した金額が最も大きい交通機関 (Q2_1_2_1 単一回答 N=22)



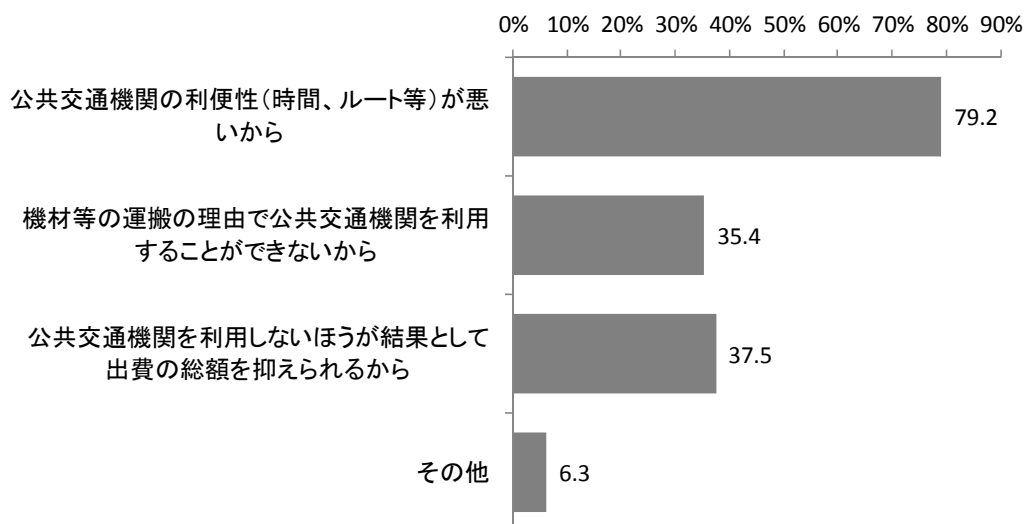
※Q2_1_2で「公共交通機関を利用」と回答した団体のみに質問



【ワークショップ旅費：公共交通機関を利用しなかった理由】

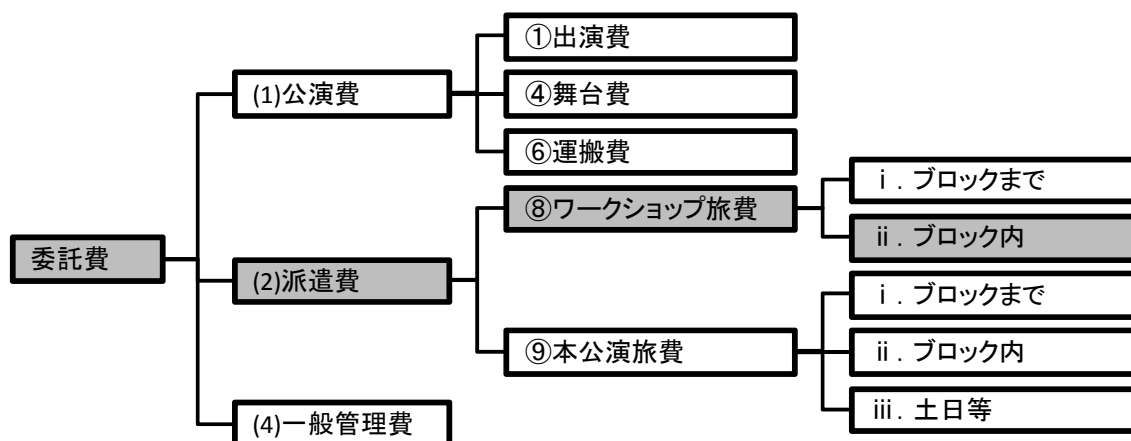
ブロック内移動で公共交通機関を利用しなかった団体のうち、その理由として「公共交通機関の利便性（時間、ルート等）が悪いから」という回答した団体が 79.2%で最も多かった。

図表Ⅲ-19 公共交通機関を利用しなかった理由（Q2_1_2_2 複数回答 N=48）



※Q2_1_2 で「公共交通機関を利用」と回答しなかった団体のみに質問

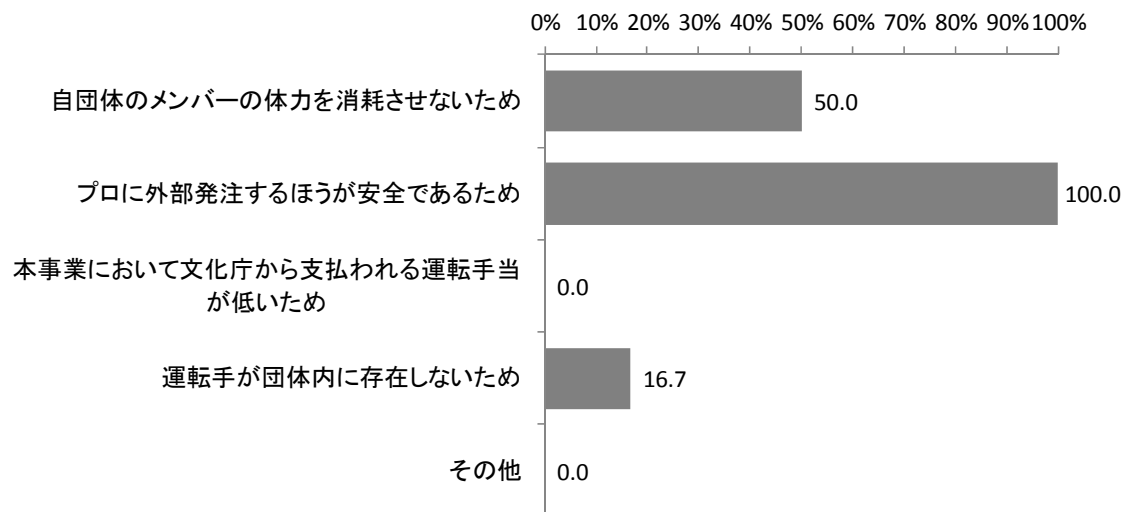
分野	その他
音楽	僻地のため公共交通機関がないため
伝統芸能	最寄り駅からの移動方法が難しい
伝統芸能	出演者の移動による負担を軽減するため



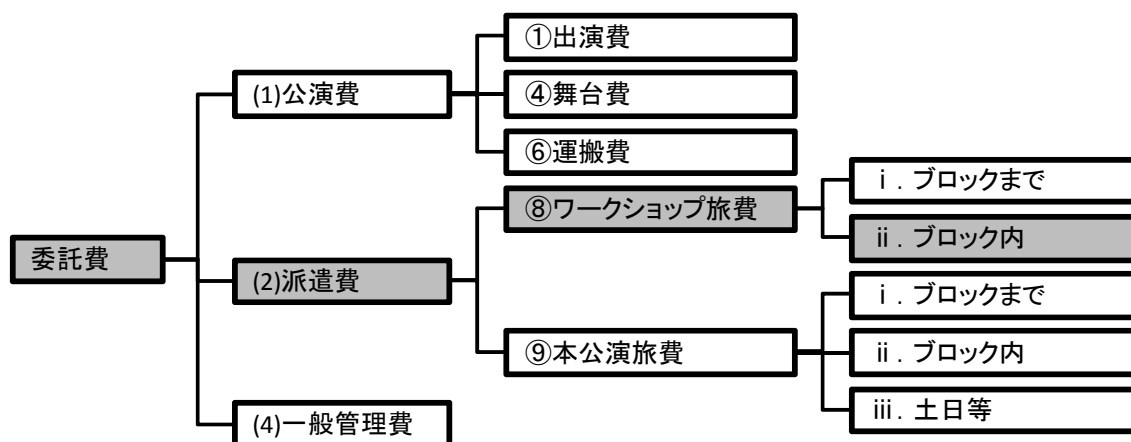
【ワークショップ旅費：運転手を含めて移動を外部発注した理由】

ブロック内の移動において運転手を含めて移動を外部発注した団体の全てがその理由として「プロに外部発注するほうが安全であるため」と回答している。

図表Ⅲ-20 運転手を含めて移動を外部発注した理由 (Q2_1_2_3 複数回答 N=6)



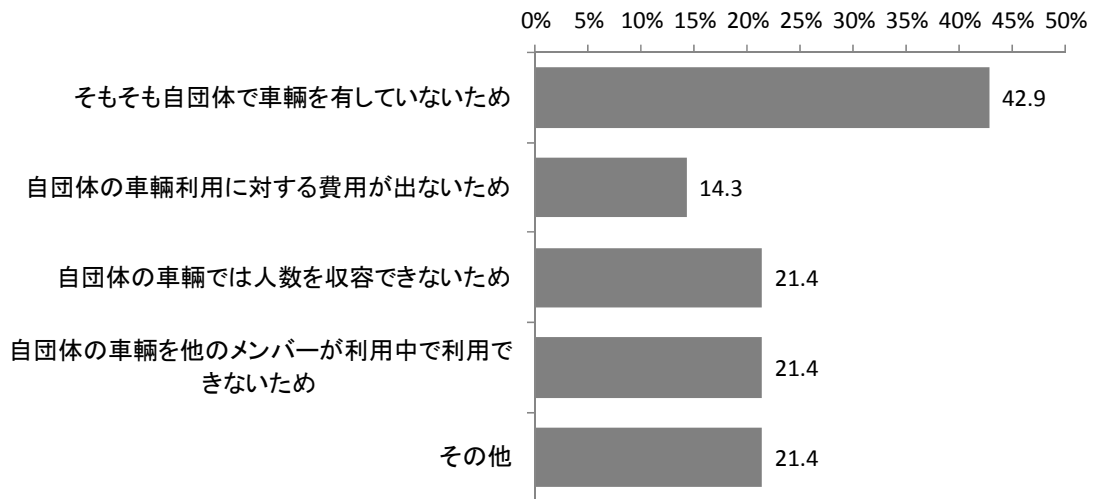
※Q2_1_2 で「運転手を含めて移動を外部発注した」と回答した団体のみ質問



【ワークショップ旅費：自団体車輛ではなく、レンタカーを利用した理由】

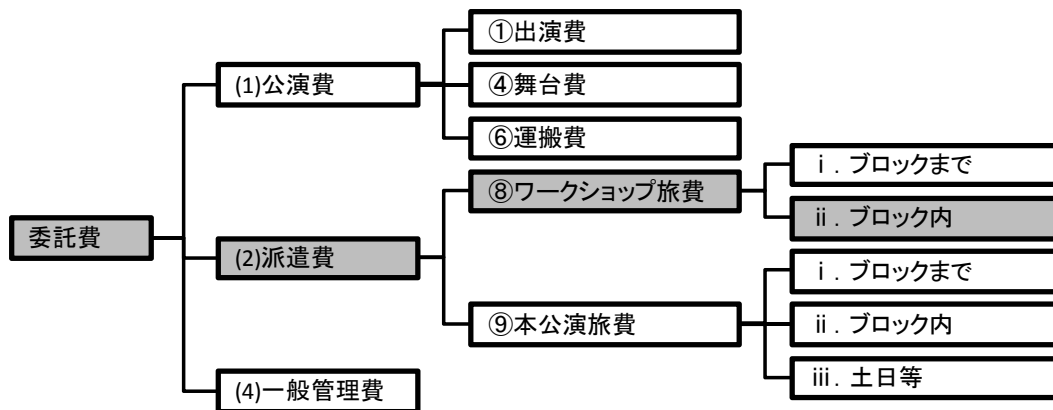
ブロック内の移動においてレンタカーを利用した団体のうち 42.9%が「そもそも自団体で車輛を有していないため」を挙げており、最も多い理由であった。「その他」の回答では「ブロックまでの移動を考えると現地レンタカー利用のほうが時間と費用の双方の効率が良い」という旨の回答が多く見受けられた。

図表Ⅲ-21 自団体車輛ではなくレンタカーを利用した理由 (Q2_1_2_4 複数回答 N=28)



※Q2_1_2で「レンタカー利用」と回答した団体のみ質問

分野	その他
音楽	ブロックの移動が遠い為
音楽	ブロックまでの移動時間・距離を考えると現地レンタカーが妥当なため。
音楽	ブロックまで長距離であること
音楽	現地移動に関するレンタカーを手配している
演劇	出費が最も少ない
伝統芸能	自団体の所在地（東京）から公演地（九州）の移動距離を考えると、レンタカーの方が時間的及び費用的効率性が高いと判断したため

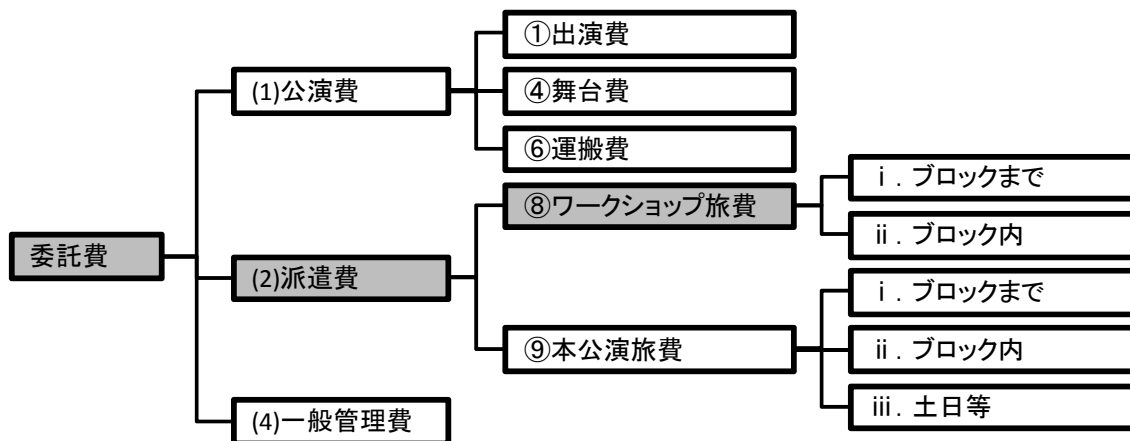
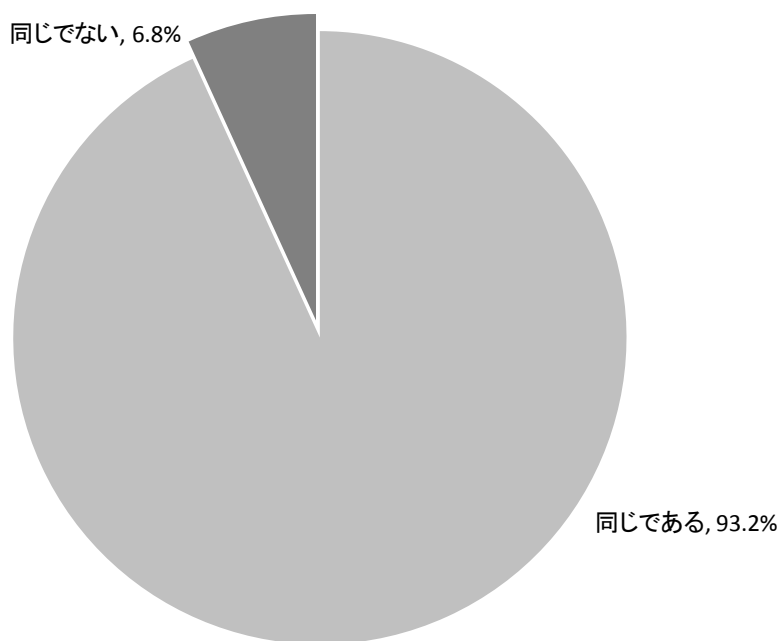


【ワークショップ旅費：追加公演と当初公演の移動方法の違い】

追加公演のワークショップ時の移動方法に関して、93.2%の団体が当初公演と「同じである」と回答している。

※同じでないとの回答は全体の6.8%、3団体と僅少であるため、詳細については当該報告書では割愛

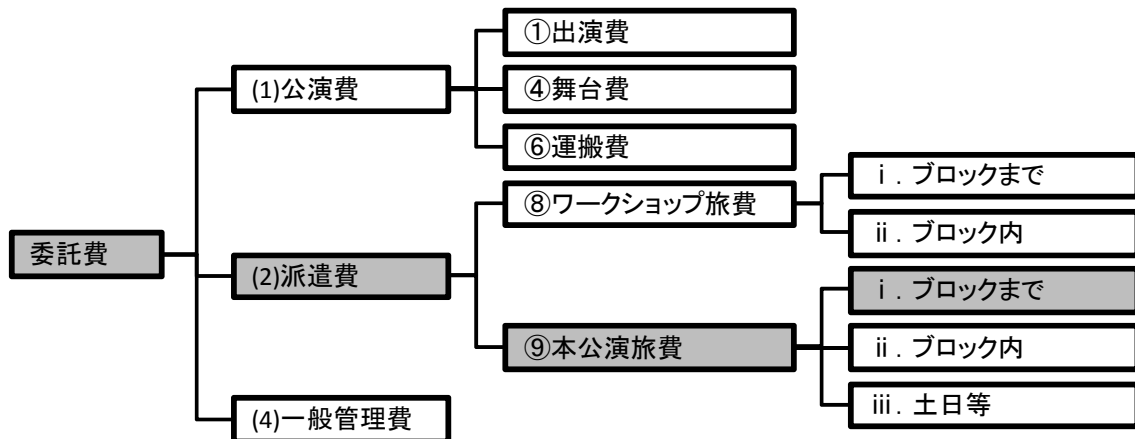
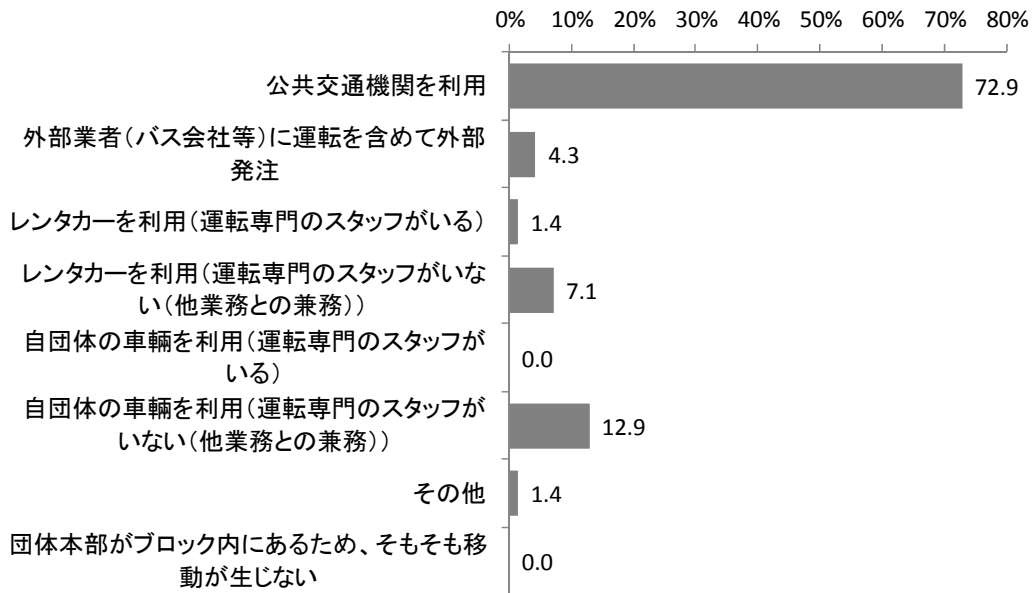
図表Ⅲ-22 ワークショップ時、追加公演は当初公演と同じ移動方法か
(Q3_1 単一回答 N=44)



【本公演旅費：ブロックまでの主な移動方法】

本公演時の団体本部から担当ブロックまでの主な移動方法については、「公共交通機関を利用」と回答した団体が72.9%であり、最も多かった。

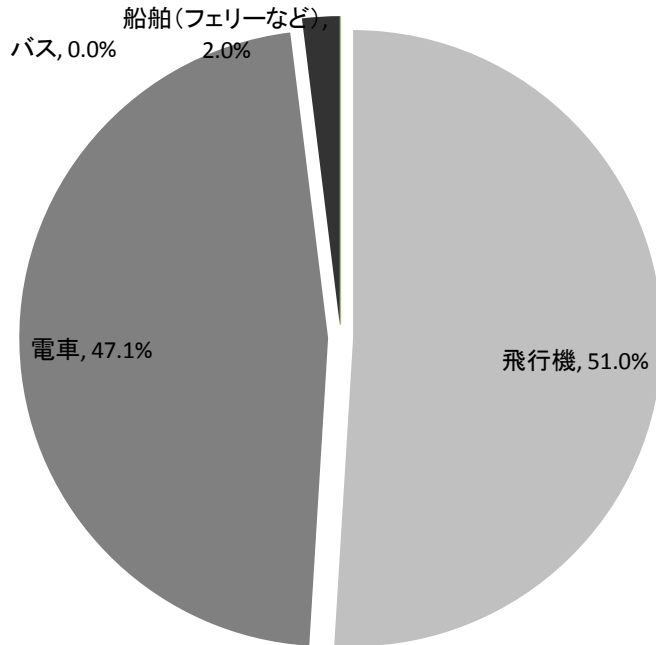
図表Ⅲ-23 団体本部→ブロックまでの主な移動方法 (Q2_2_1 単一回答 N=70)



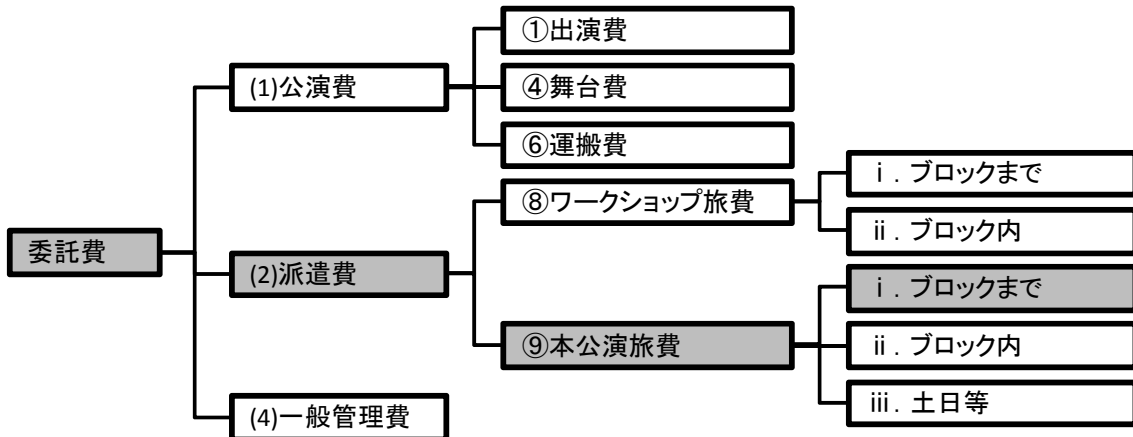
【本公演旅費：公共交通機関のうち、要した金額が最も大きい交通機関】

本公演時における団体本部から担当ブロックまでの移動に関して「公共交通機関を利用」と回答した団体は、要した金額が最も大きい交通機関として飛行機が 51.0%、電車が 47.1%と回答しており、ほぼ同じ割合である。

図表Ⅲ-24 要した金額が最も大きい交通機関 (Q2_2_1_1 単一回答 N=51)



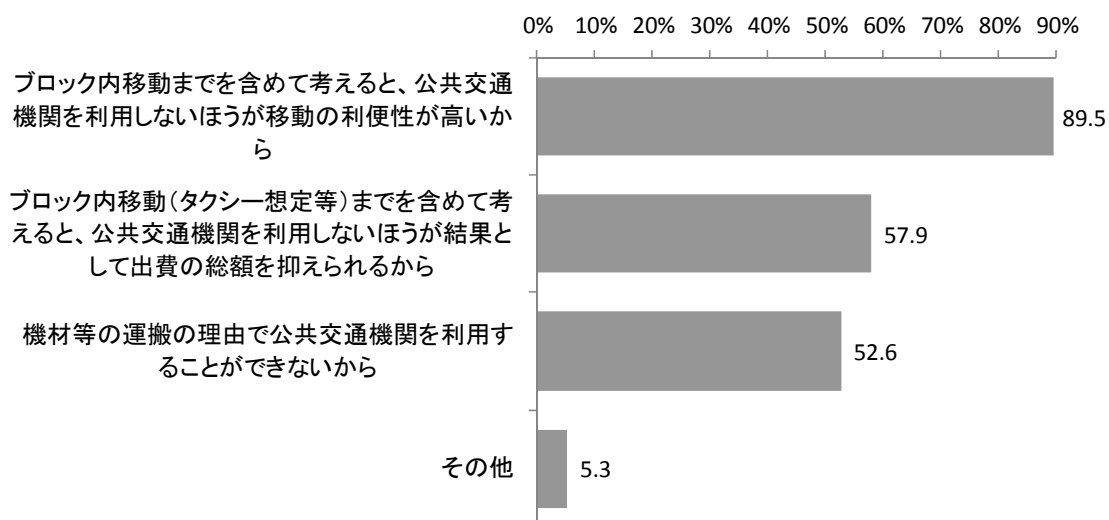
※Q2_2_1 で「公共交通機関を利用」と回答した団体のみに質問



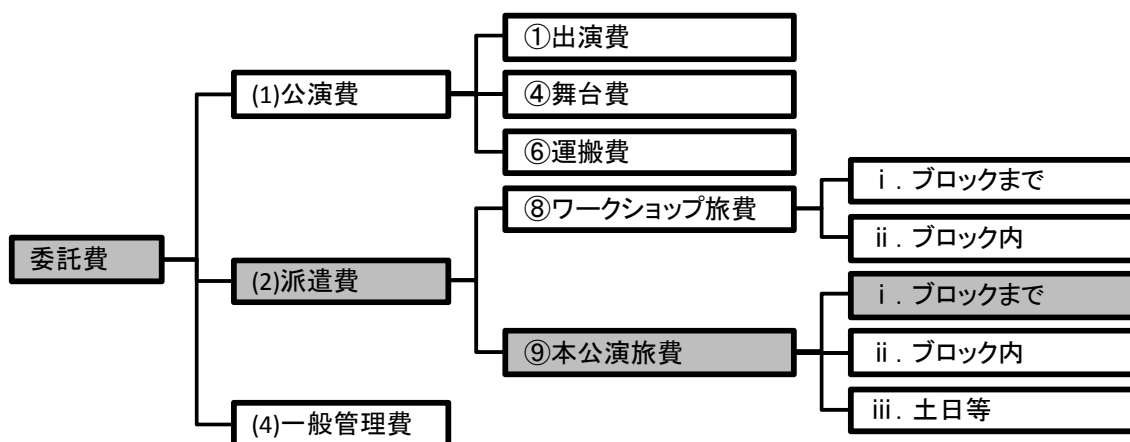
【本公演旅費：公共交通機関を利用しなかった理由】

本公演時における団体本部から担当ブロックまでの移動に関して公共交通機関を利用しなかった団体のうち、その理由として「ブロック内移動までを考えると利便性が高いから」と回答した団体が 89.5%と最も多かった。

図表Ⅲ-25 公共交通機関を利用しなかった理由 (Q2_2_1_2 複数回答 N=19)



※Q2_2_1で「公共交通機関を利用」と回答しなかった団体のみ質問

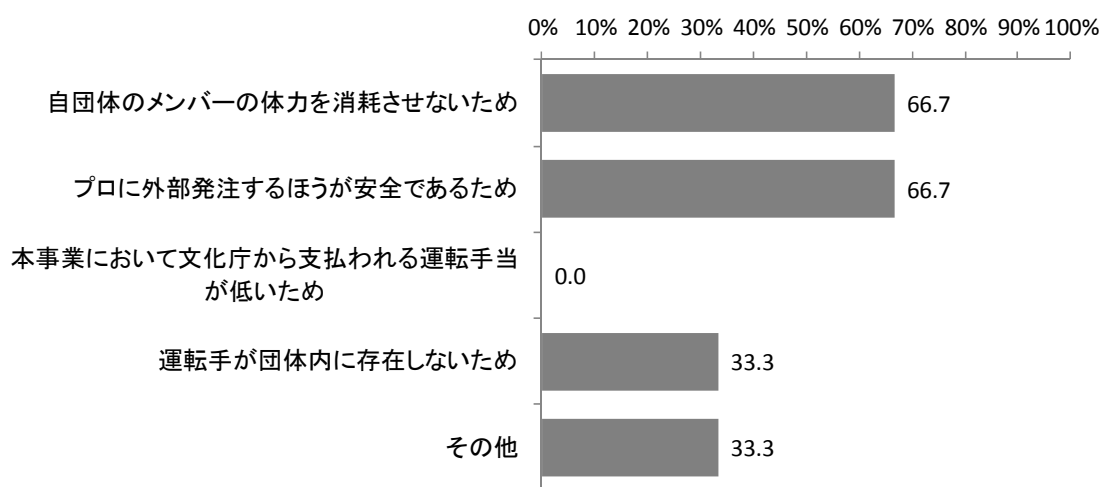


【本公演旅費：運転手を含めて移動を外部発注した理由】

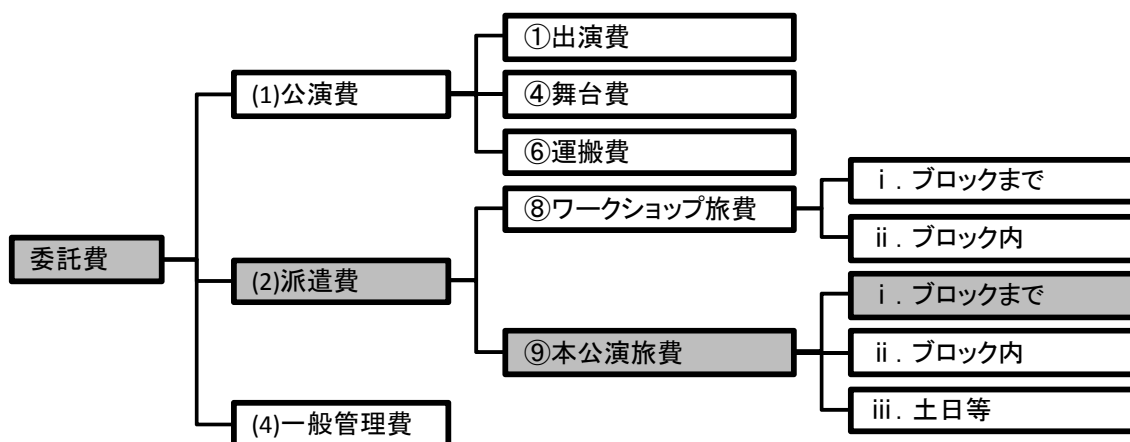
本公演時に団体本部から担当ブロックまでの主な移動手段として「運転手を含めて移動を外部発注した」と回答した団体は、その理由として「メンバーの体力を消耗させないため」、「プロに外部発注するほうが安全であるため」を共に 66.7%の団体が挙げていた。

なお、コメントとして「7時から18時までフルに動いてその上車両の運転は危険過ぎるため」(演劇) という理由が挙げられていた。

図表Ⅲ-26 運転手を含めて移動を外部発注した理由 (Q2_2_1_3 複数回答 N=3)



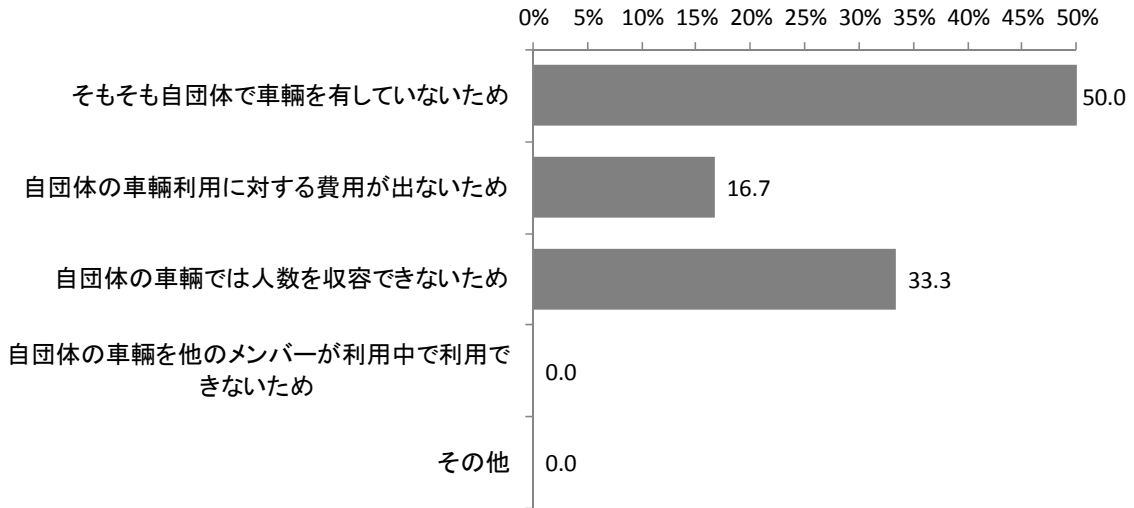
※Q2_2_1で「運転手を含めて移動を外部発注した」と回答した団体だけに質問



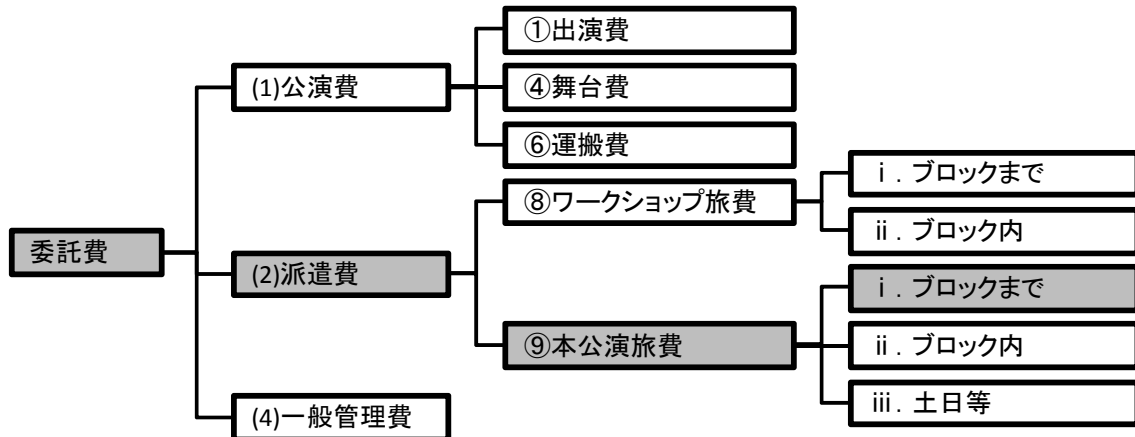
【本公演旅費：自団体の車輛ではなくレンタカーを利用した理由】

本公演時に団体本部から担当ブロックまでの主な移動手段として「レンタカーを利用」と回答した団体は、自団体の車輛ではなくレンタカーを利用する理由として「そもそも車輛を有していないため」を半数の団体が挙げていた。

図表Ⅲ-27 自団体車輛ではなくレンタカーを利用した理由 (Q2_2_1_4 複数回答 N=6)



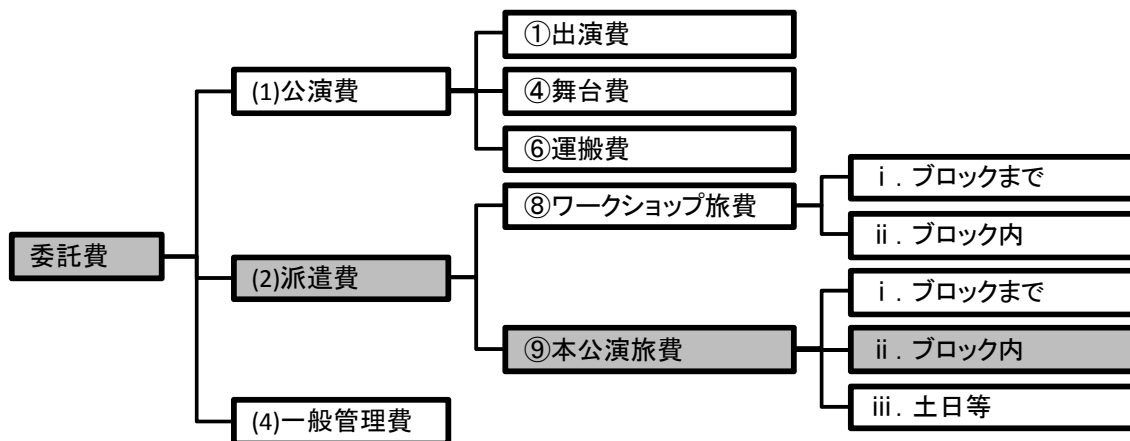
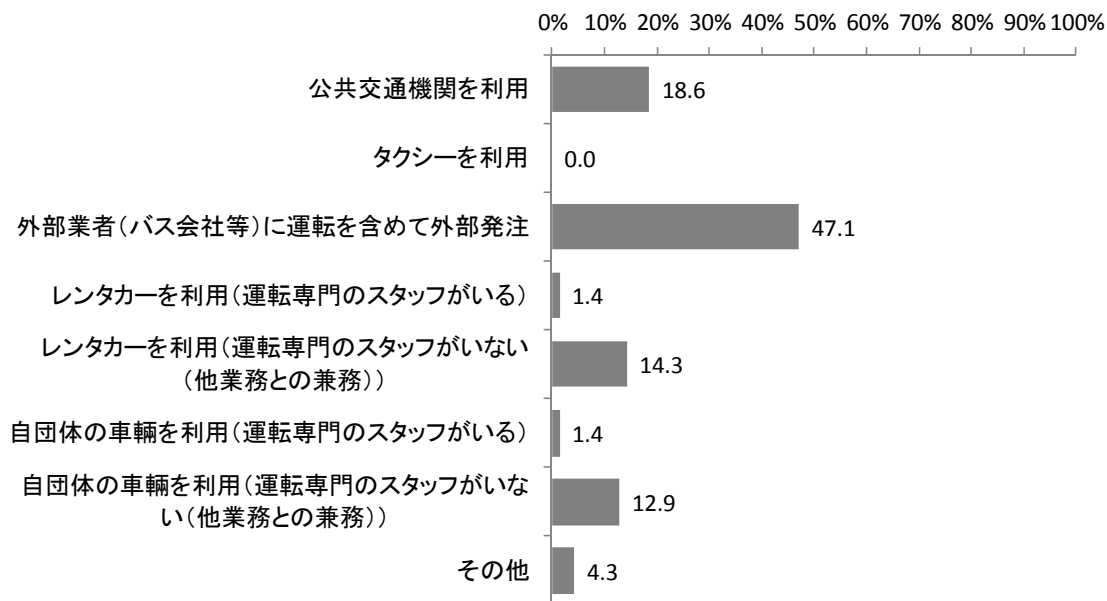
※Q2_2_1で「レンタカーを利用」と回答した団体のみ質問



【本公演旅費：ブロック内の主な移動方法】

本公演のブロック内移動方法については、47.1%の団体が「外部業者（バス会社等）に運転を含めて外部委託」と回答しており、公共交通機関を主に利用している団体は18.6%に留まった。

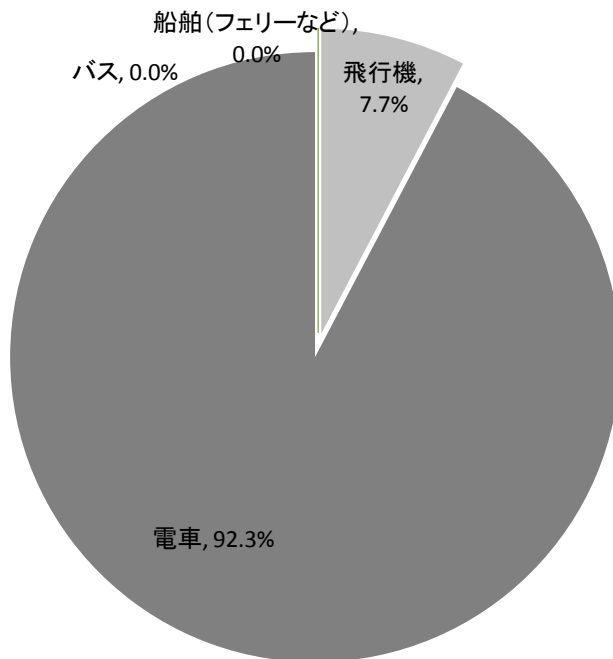
図表Ⅲ-28 ブロック内の主な移動方法 (Q2_2_2 単一回答 N=70)



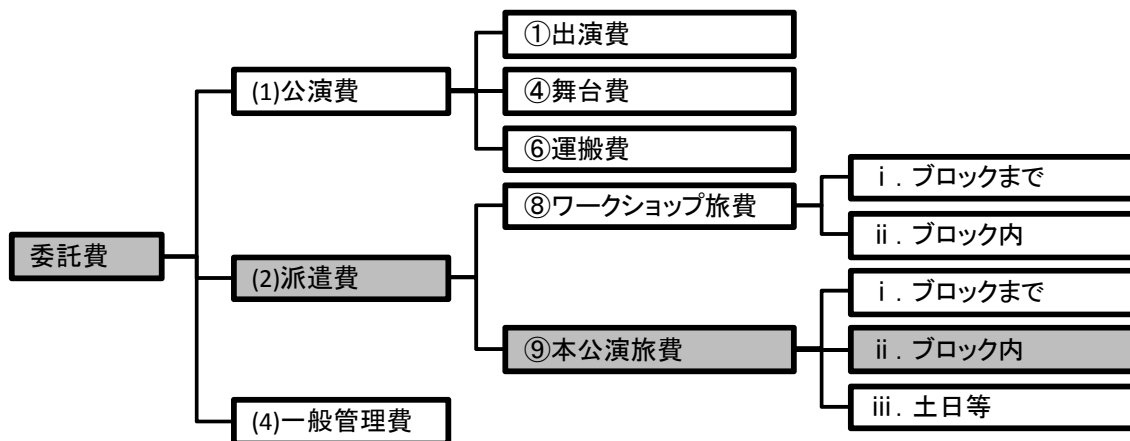
【本公演旅費：要した金額が最も大きい交通機関】

本公演時のブロック内移動で主に公共交通機関を利用した団体のうち、92.3%が「電車」に要した金額が最も大きいと回答している。

図表Ⅲ-29 要した金額が最も大きい交通機関 (Q2_2_2_1 単一回答 N=13)



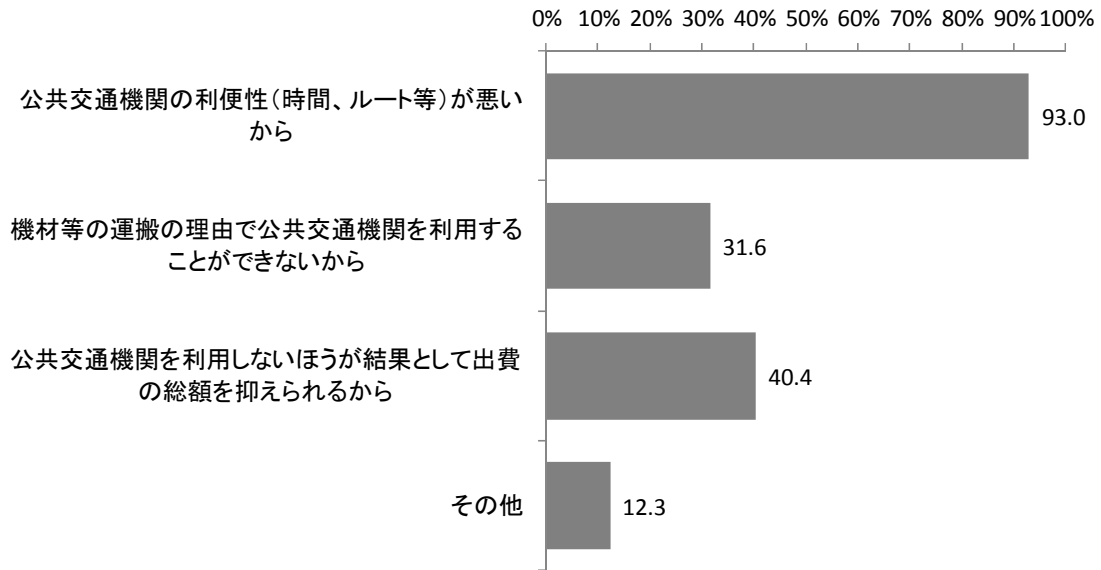
※Q2_2_2 で「公共交通機関を利用した」と回答した団体のみに質問



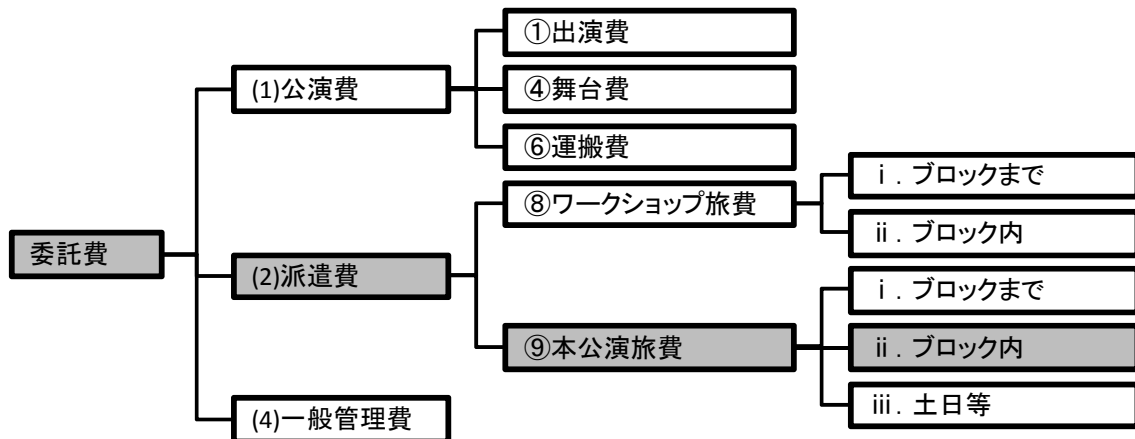
【本公演旅費：公共交通機関を利用しなかった理由】

本公演時のブロック内移動において、主な移動手段として公共交通機関を利用しなかった団体のうち93.0%がその理由として「公共交通機関の利便性（時間、ルート等）が悪いから」を挙げている。「その他」では「人数分の座席の確保が困難」（音楽）「最寄り駅から学校まで移動が困難」（伝統芸能）等の回答があった。

図表Ⅲ-30 公共交通機関を利用しなかった理由（Q2_2_2 複数回答 N=57）



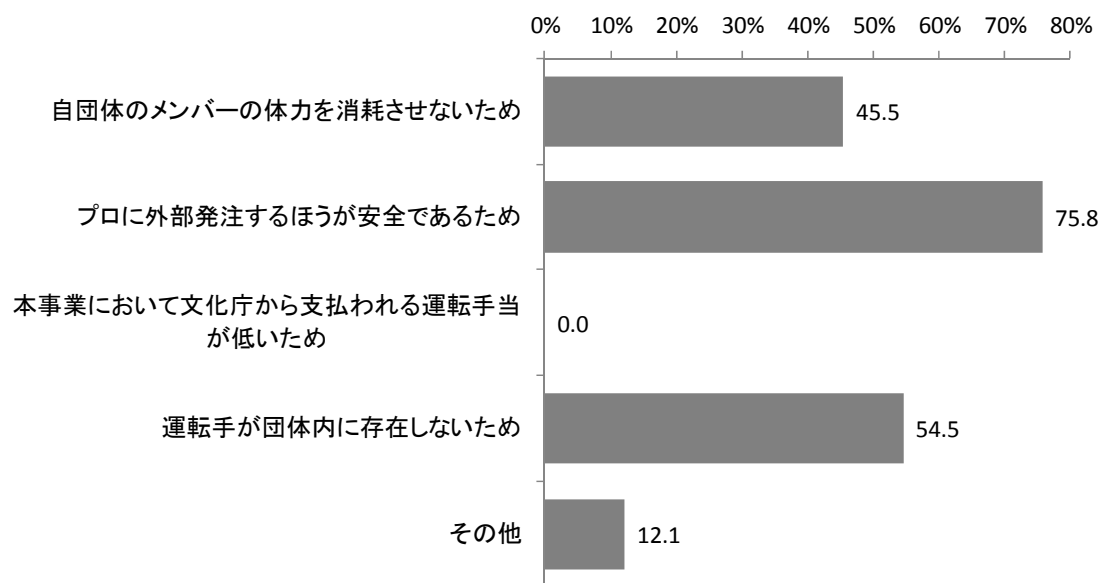
※Q2_2_2で「公共交通機関を利用した」と回答しなかった団体のみ質問



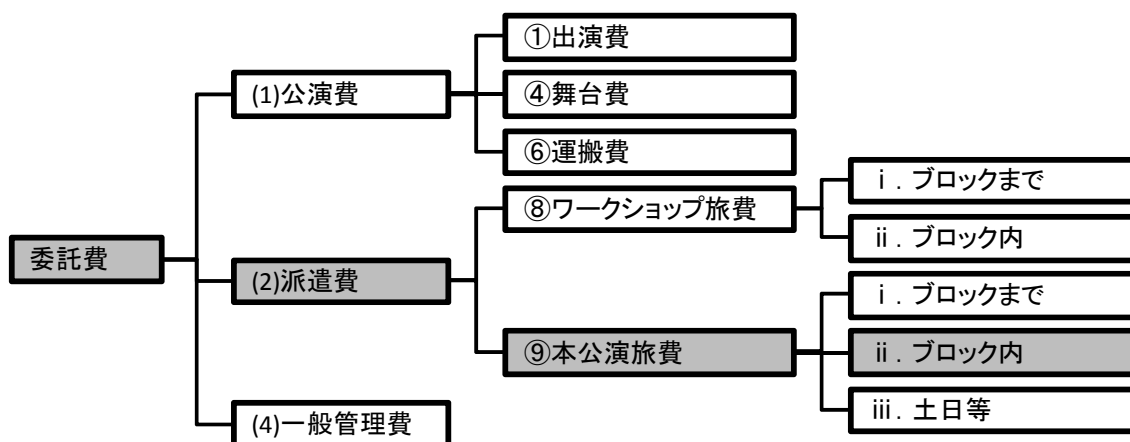
【本公演旅費：運転手を含めて移動を外部発注した理由】

本公演時のブロック内移動において、主な移動手段として「運転手を含めて移動を外部発注した」と回答した団体の75.8%は、運転手を含めて移動を外部発注した理由として「プロに外部発注するほうが安全であるため」を挙げている。

図表Ⅲ-31 運転手を含めて移動を外部発注した理由 (Q2_2_2_3 複数回答 N=33)



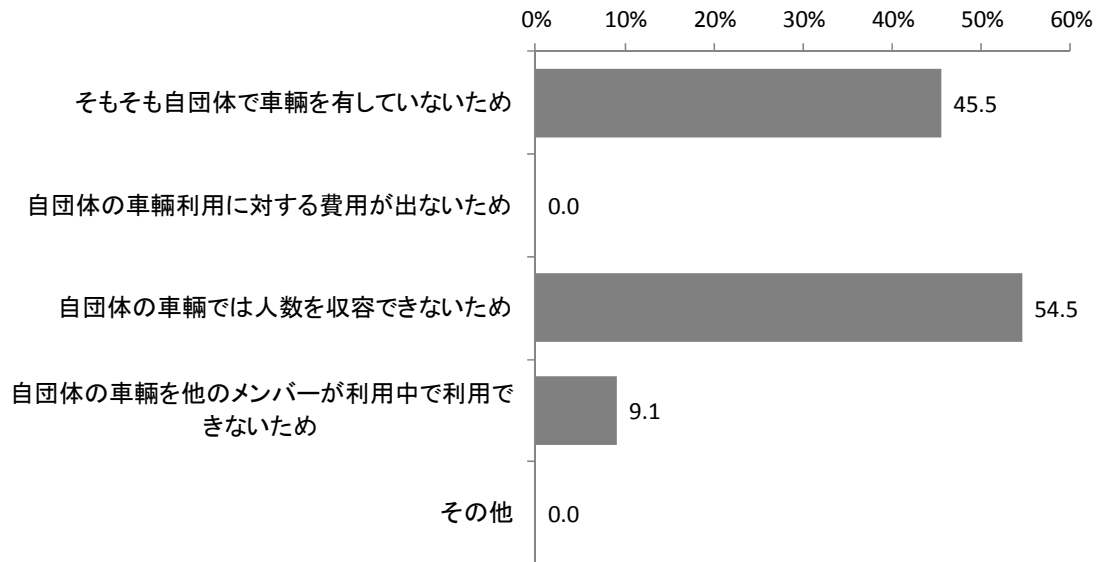
※Q2_2_2 で「運転手を含めて移動を外部発注した」と回答した団体のみ質問



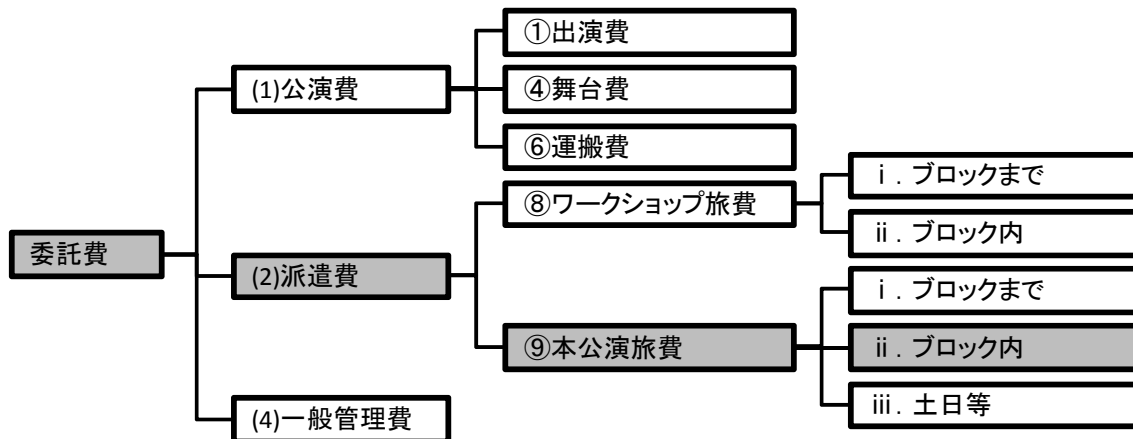
【本公演旅費：自団体の車輛ではなく、レンタカーを利用した理由】

本公演時のブロック内移動において主な移動手段として「レンタカーを利用」と回答した団体の54.5%が、自団体車輛ではなくレンタカーを利用した理由として「自団体の車輛では人数を収容できないため」を挙げている。

図表Ⅲ-32 自団体車輛ではなくレンタカーを利用した理由 (Q2_2_2_4 複数回答 N=11)



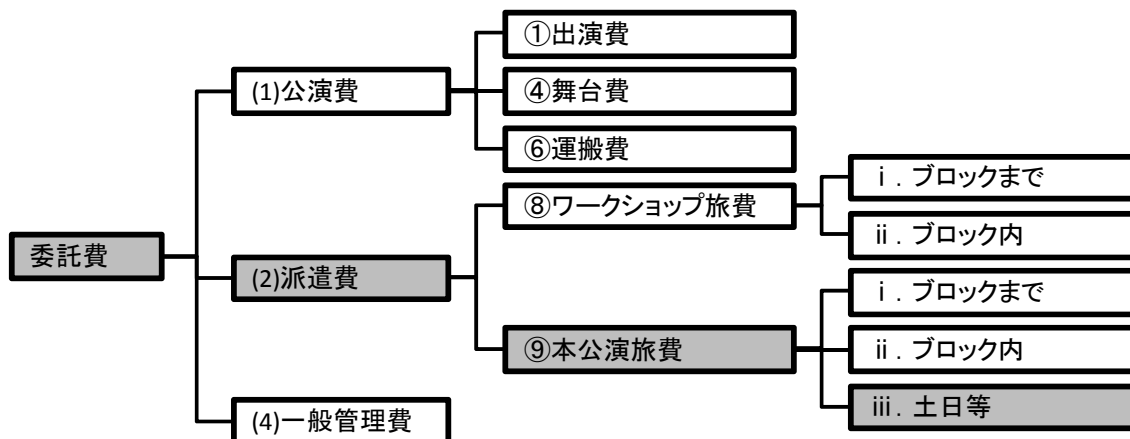
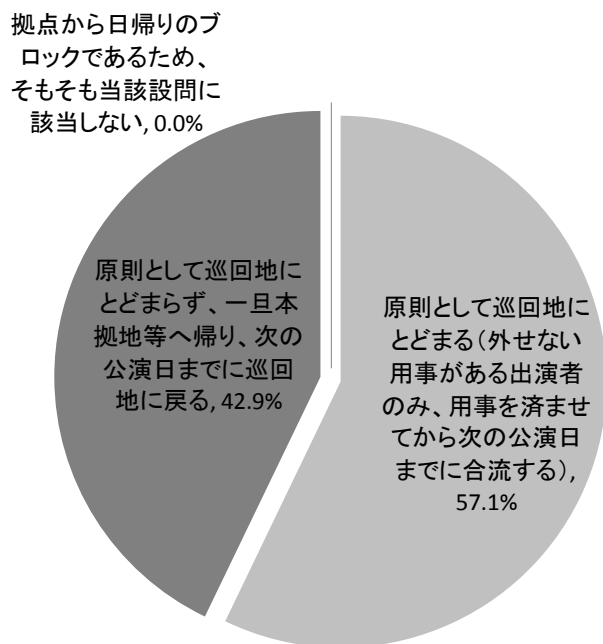
※Q2_2_2で「レンタカーを利用」と回答した団体のみ質問



【本公演旅費：土日公演が無い場合の出演者の土日の過ごし方】

本公演で土日公演が無い場合の出演者の土日の過ごし方については、「原則として巡回地にとどまる」と回答した団体が 57.1%である一方で、「原則として一旦本拠地等へ帰る」と回答した団体が 42.9%と半数弱存在する。

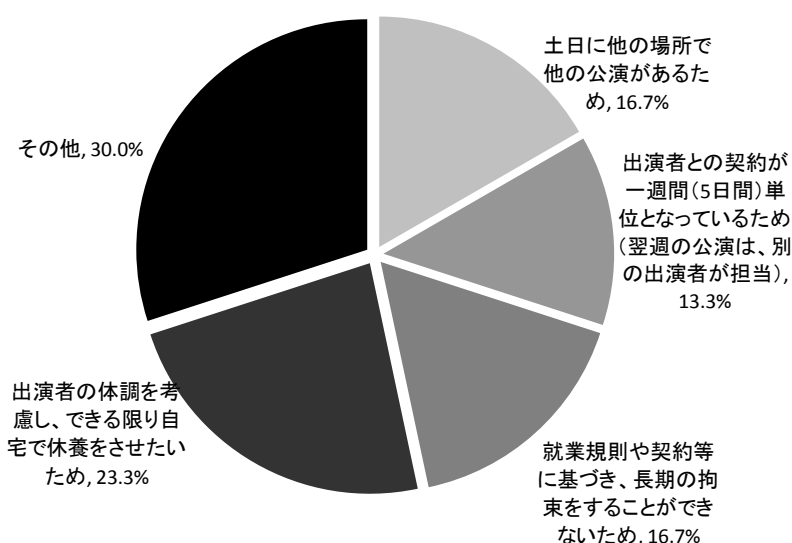
図表Ⅲ-33 本公演で土日公演が無い場合の出演者の土日の過ごし方
(Q4 単一回答 N=70)



【本公演旅費：土日公演が無い場合に出演者が巡回地にとどまらない主な理由】

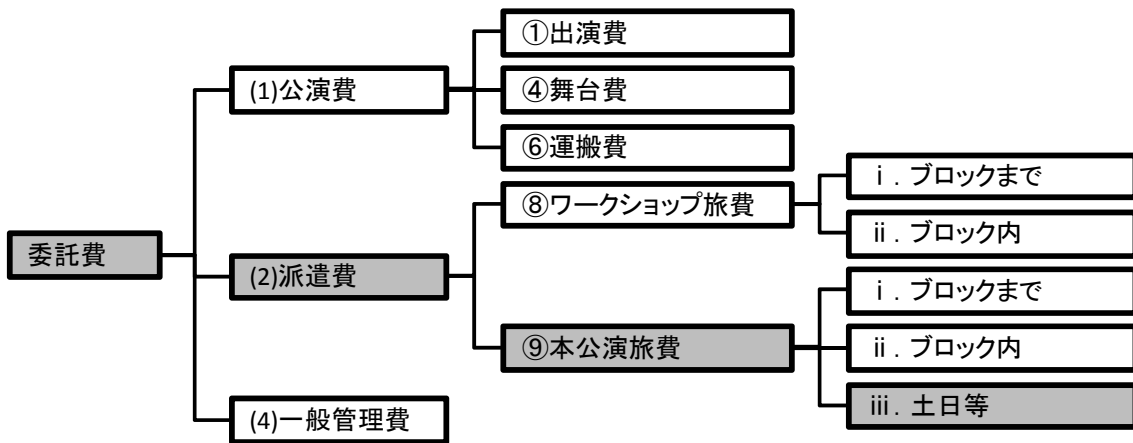
土日公演が無い場合に出演者が巡回地にとどまらない主な理由として、「出演者の体調を考慮し、できる限り自宅で休養させたいため」が 23.3%と最も多かった。「その他」の理由として「現地にとどまるより帰った方が安い」というコメントも挙げられている。

図表Ⅲ-34 土日公演が無い場合に出演者が巡回地にとどまらない主な理由
(Q4_1 単一回答 N=30)



※土日公演が無い場合に「一旦本拠地等に帰る」と回答した団体のみ質問

分野	その他
音楽	休養をとらせたいことに加え、各自生徒の個人レッスンをもっていることと、家庭の世話等もあるため
音楽	1(土日以外の場所で他の公演がある)・3(就業規則や契約等に基づき、長期の拘束をすることができない)・4(出演者の体調を考慮し、できる限り自宅で休養をさせたい)、どれも等しく当てはまります。
演劇	公演ではありませんが、俳優養成所での講師業務があるため
演劇	経費節約のため
演劇	事業の低廉化を図るため
伝統芸能	巡回地が比較的本拠地に近かったため、とどまるより一旦帰った方が安いので
伝統芸能	巡回地にとどまるより経費が安く上がるため
伝統芸能	当協会所属会員である日本舞踊家、外部出演者である邦楽演奏者、スタッフも土日にそれぞれ自身の仕事が入っているため
舞踊	巡回地が東京に近かった為

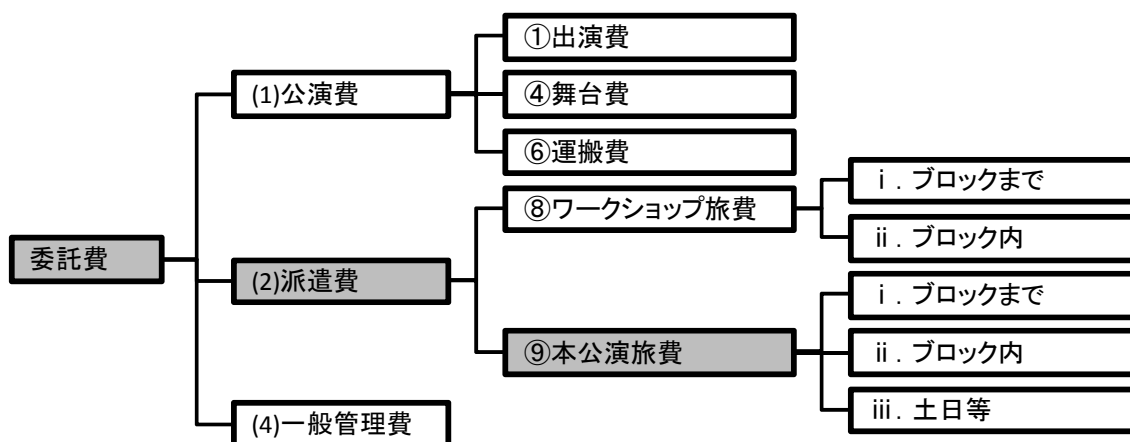
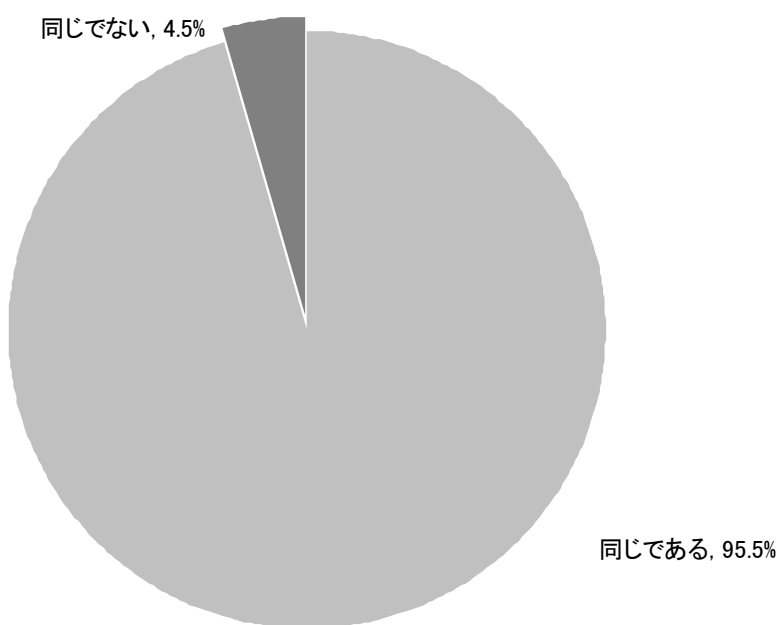


【本公演旅費：追加公演と当初公演の移動方法の違い】

追加公演の本公演時の移動方法に関して、95.5%の団体が当初公演と「同じである」と回答している。

※同じでないとの回答は全体の4.5%、2団体と僅少であるため、詳細については当該報告書では割愛

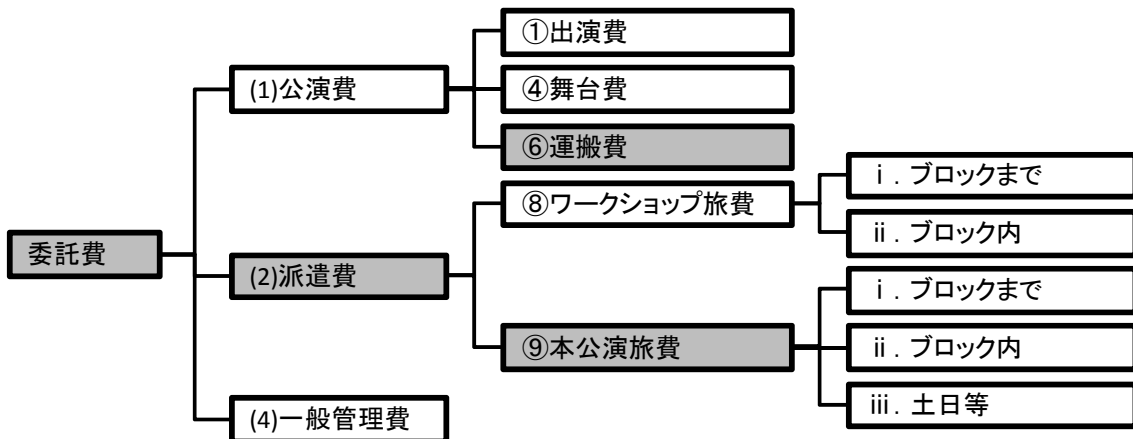
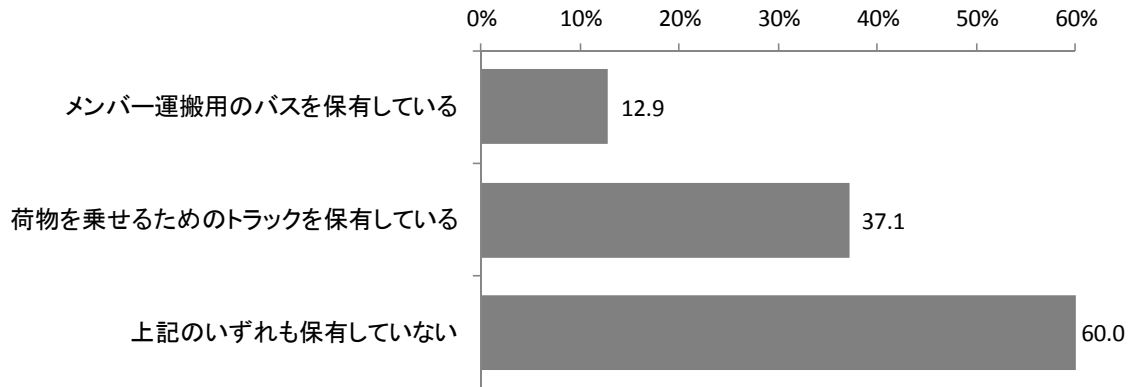
図表Ⅲ-35 本公演時、追加公演は当初公演と同じ移動方法か
(Q3_3 単一回答 N=44)



【本公演旅費等：自団体車輛（バス・トラック等本事業に利用可能な車輛）の保有状況】

メンバー運搬用のバスを有している団体が 12.9%、荷物を乗せるためのトラックを保有している団体が 37.1%であり、そのいずれも保有していない団体が全体の 60.0%を占める。

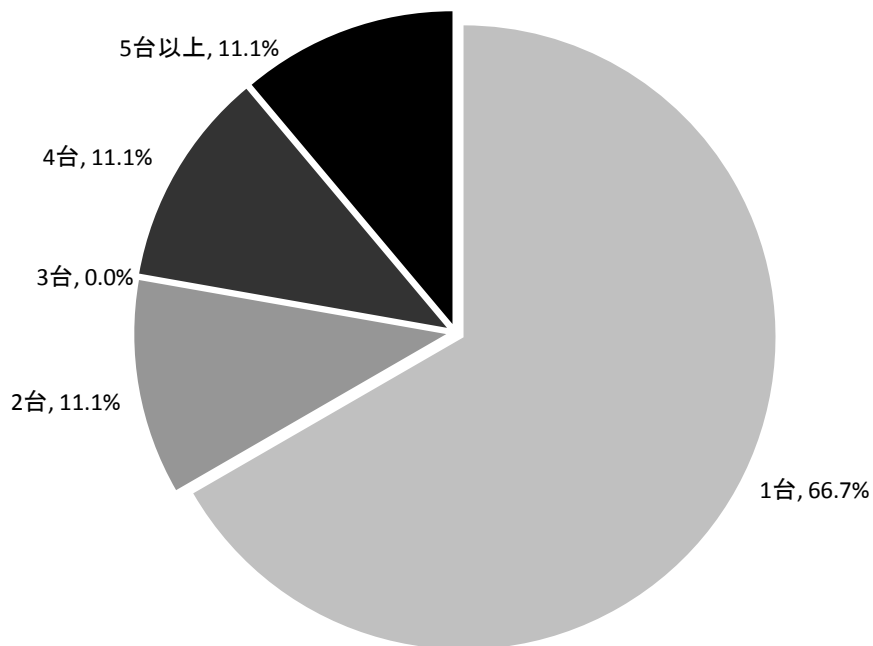
図表Ⅲ-36 自団体車輛の保有状況 (Q11_1 複数回答 N=70)



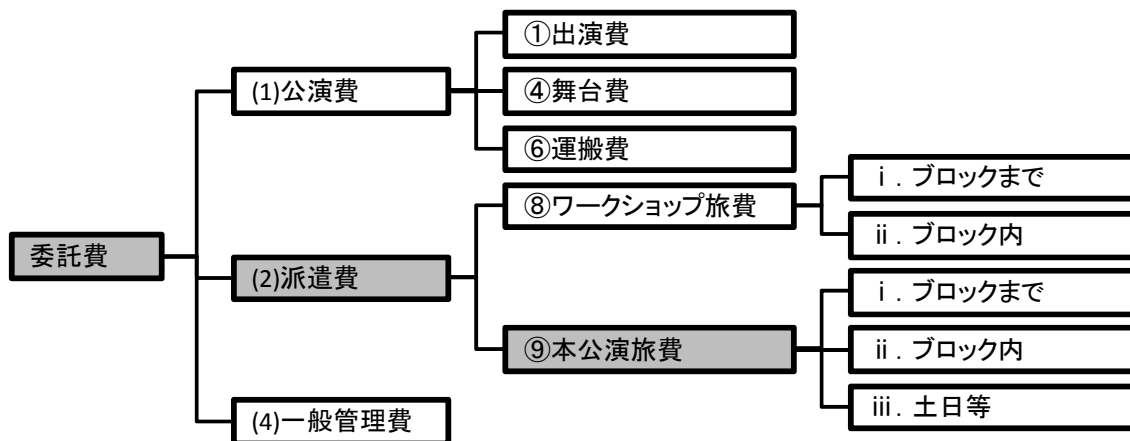
【本公演旅費等：メンバー運搬用バスの保有状況】

「メンバー運搬用のバスを保有している」と回答した団体のうち、66.7%の団体がメンバー運搬用のバスを1台保有と回答している。なお、保有団体におけるメンバー運搬用バスの平均保有台数は1.9台である。

図表Ⅲ-37 自団体車輛（バス）の保有状況（Q11_2_1 単一回答 N=9）



※Q11_1で「メンバー運搬用のバスを保有している」と回答した団体のみに質問



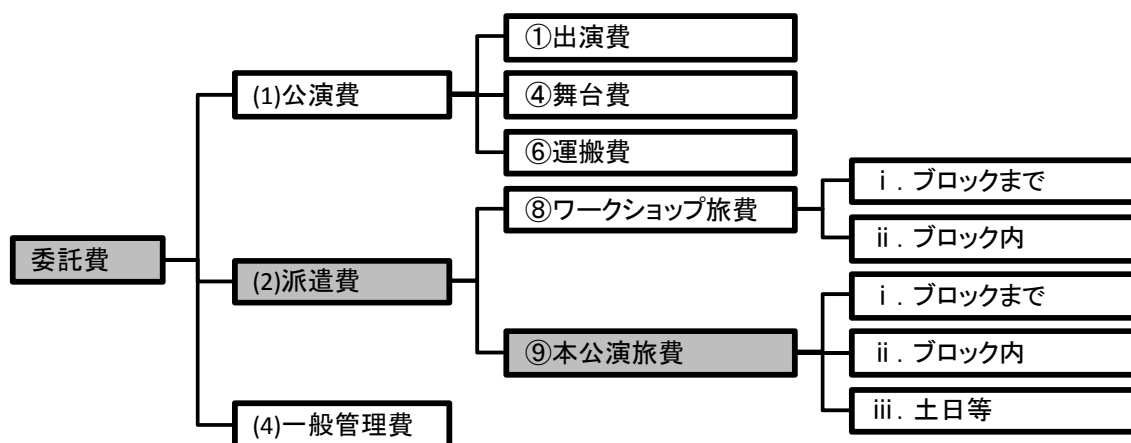
【本公演旅費等：メンバー運搬用バスの具体的スペックと維持費】

「メンバー運搬用のバスを保有している」と回答した団体全体では、9 団体がのべ 17 台のバスを保有している。17 台のうち 15 台(88.2%)が 10 人以下のスペックである。年間維持費については、18 万円～200 万円と団体によって差がある。

図表Ⅲ-38 自団体車輛（バス）の具体的スペックと維持費（Q11_3 数値入力 N=9）

バススペック(人)	年間維持費(万円)
4	19
5	19
6	36
6	102
7	110
8	18
8	24
8	27
8	36
8	45
8	120
9	45
10	36
10	36
10	40
29	142
55	200

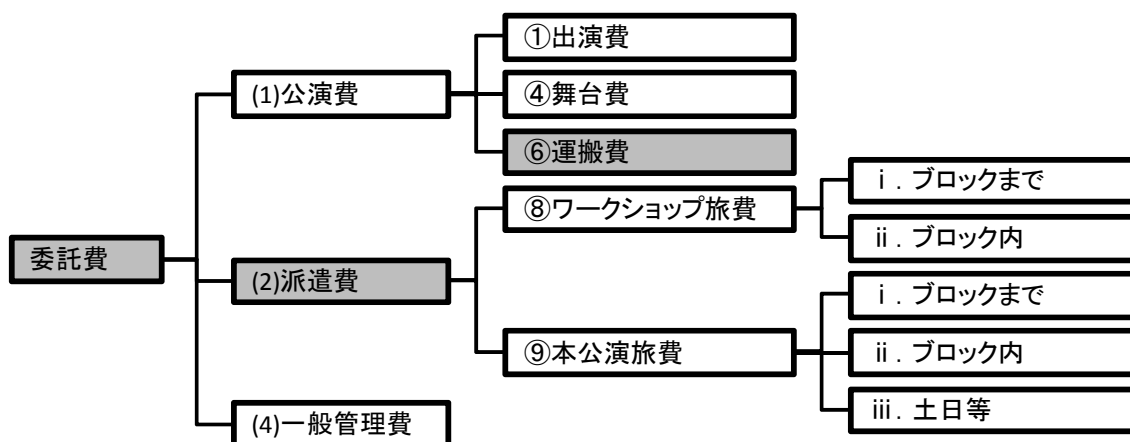
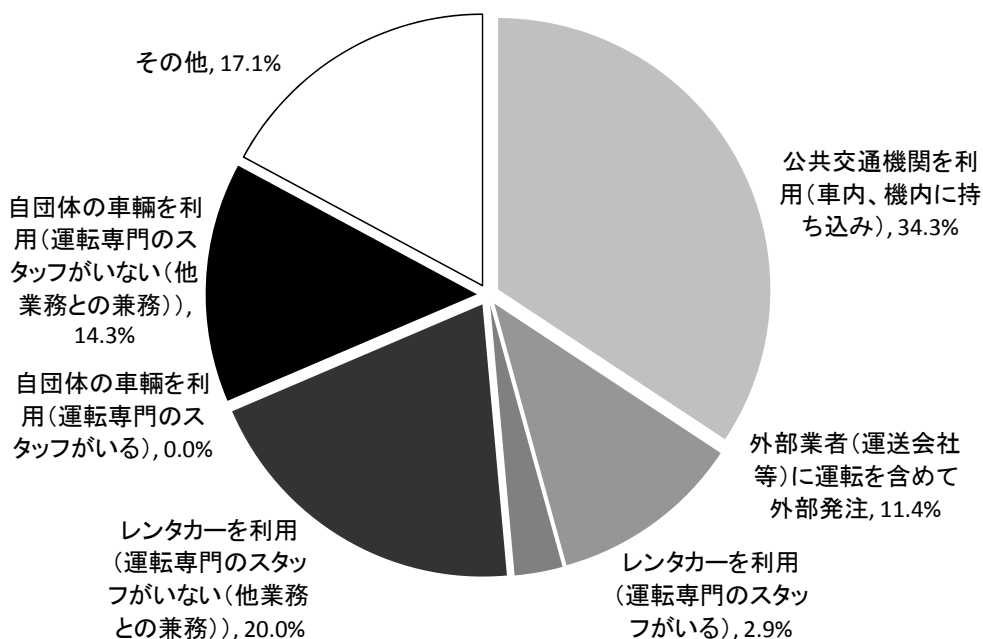
※回答を昇順ソート



【運搬費：ワークショップ時の主な運搬方法】

ワークショップ時の主な運搬方法として、「公共交通機関を利用（車内、機内に持ち込み）」を挙げている団体が 34.3%であり最も多い回答であった。

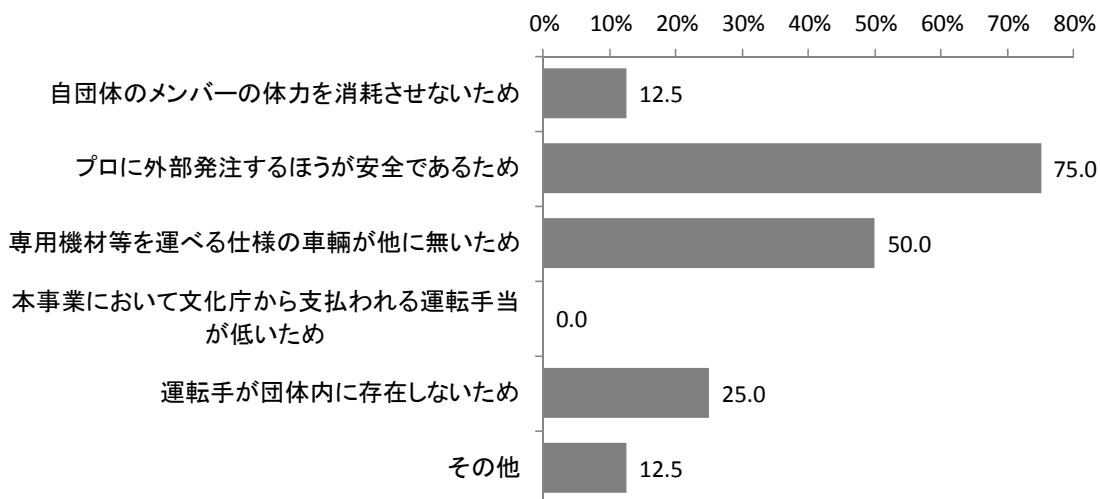
図表Ⅲ-39 ワークショップ時の主な運搬方法 (Q2_1_3 単一回答 N=70)



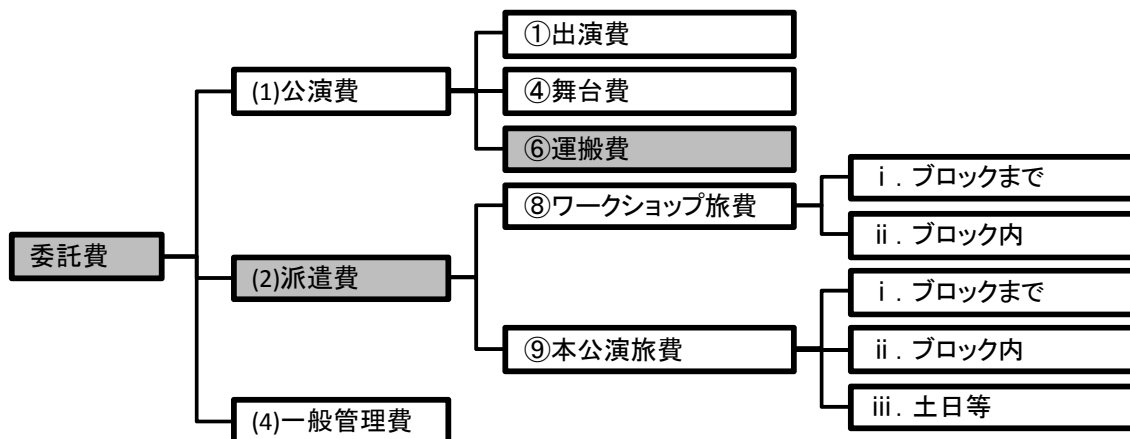
【運搬費：ワークショップ時に運搬を外部発注した理由】

舞台装置等の運搬に関して、業者に運転を含めて外部発注した理由として「プロに外部発注するほうが安全であるため」が75.0%と最も多かった。

図表Ⅲ-40 運転手を含めて運搬を外部発注した理由 (Q2_1_3_1 複数回答 N=8)



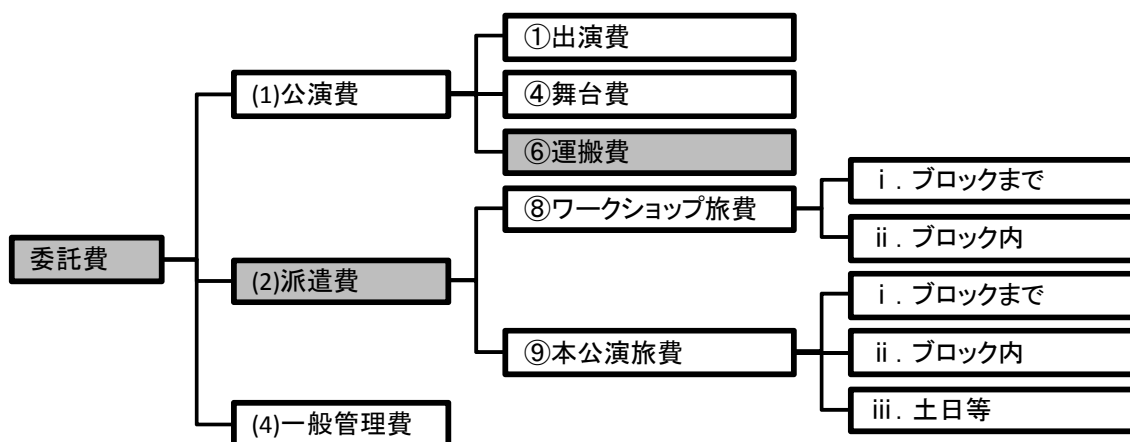
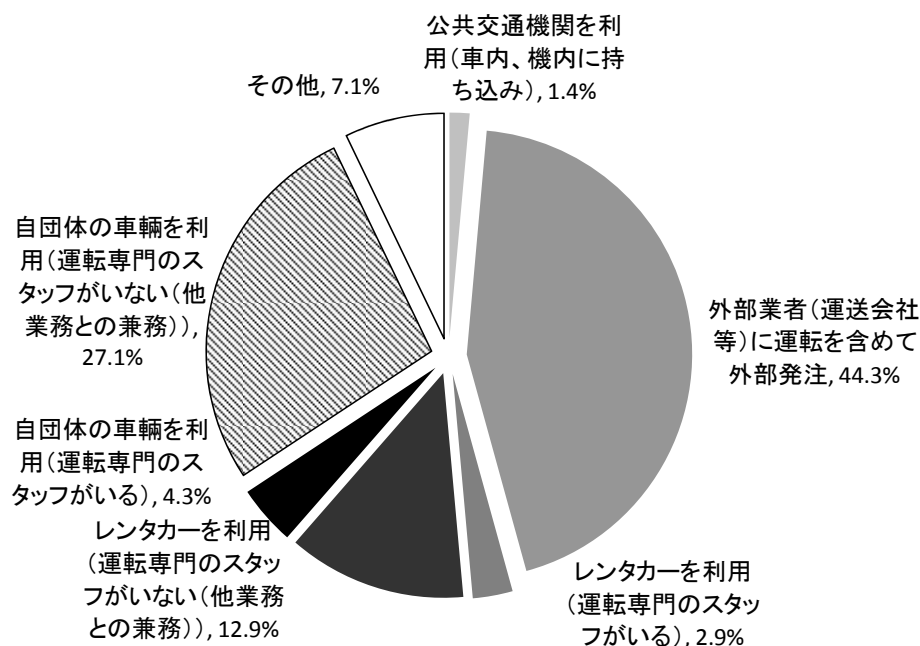
※Q2_1_3 で「外部業者に運転を含めて外部発注」と回答した団体のみ質問



【運搬費：本公演時の主な運搬方法】

本公演時の舞台装置等の主な運搬方法としては「外部業者に運転を含めて委託」が44.3%と最も多く、次いで「自団体の車輛を利用（運転専門のスタッフがいない）」が27.1%と多かった。

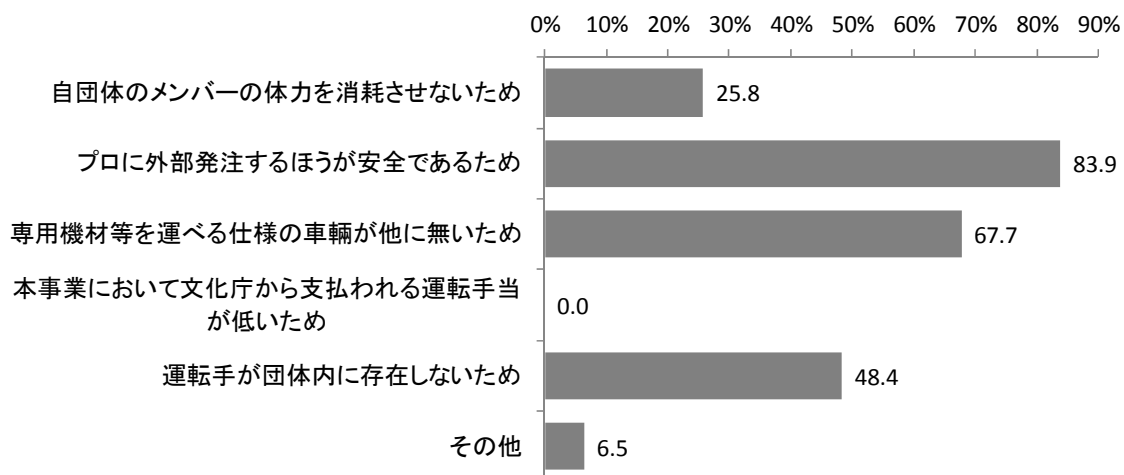
図表Ⅲ-41 本公演時の主な運搬方法（Q2_2_3 単一回答 N=70）



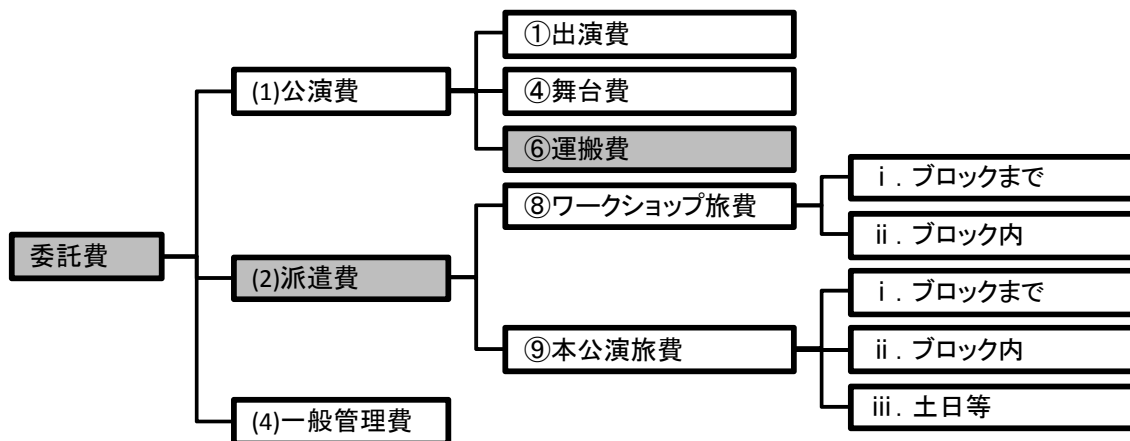
【運搬費：本公演時に運搬を外部発注した理由】

本公演時の舞台装置等の主な運搬方法として「外部業者に運転を含めて外部発注」を選択した団体は、その理由として「プロに外部発注するほうが安全であるため」を83.9%の団体が、次いで「専用機材等を運べる仕様の車輛が他に無いため」を67.7%の団体が挙げている。

図表Ⅲ-42 運転手を含めて運搬を外部発注した理由 (Q2_2_3_1 複数回答 N=31)



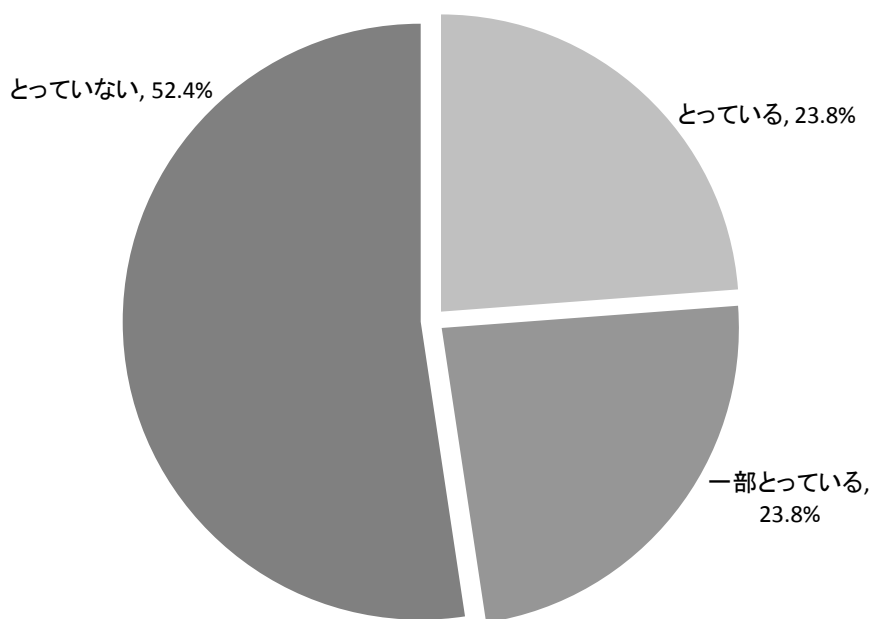
※Q2_2_3 で「外部業者に運転を含めて外部発注」を選択した団体のみ質問



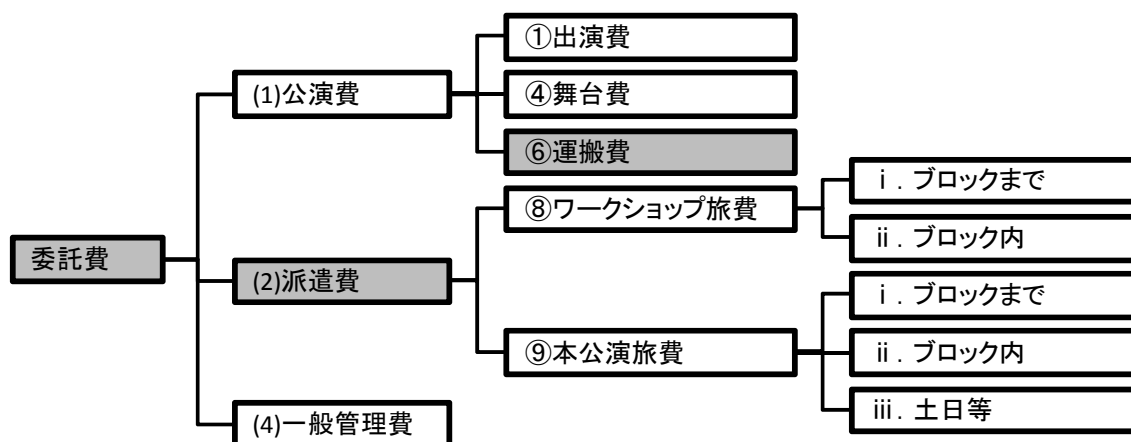
【運搬費：輸送や運搬の外部発注時の相見積（複数業者から見積をとること）】

輸送や運搬に関して外部発注を行っている団体のうち、相見積を「とっている」団体が23.8%、「一部とっている」団体が23.8%であり、約半数の団体が相見積をとっている。

図表Ⅲ-43 輸送や運搬の外部発注時の相見積の有無（Q5_1 単一回答 N=42）



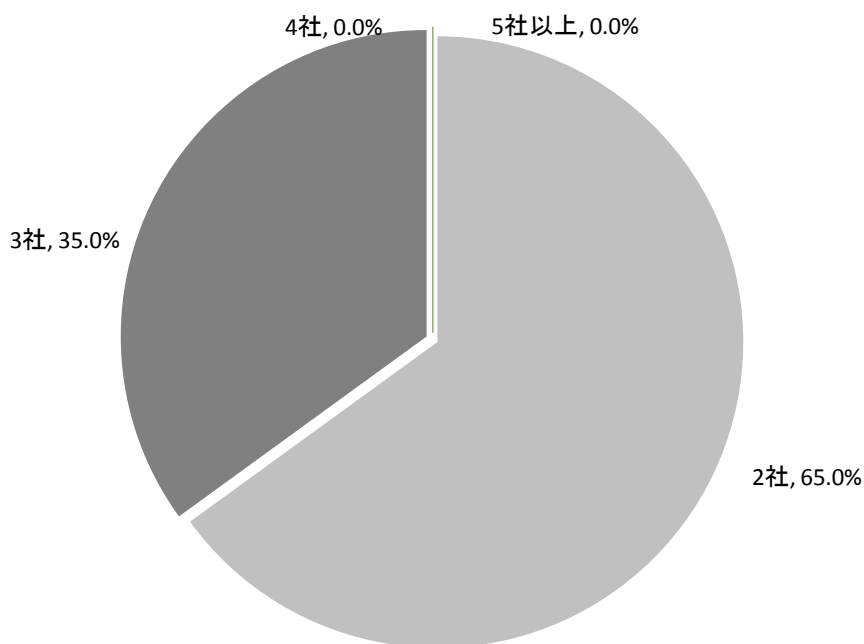
※輸送や運搬を外部業者に行っている団体だけに質問



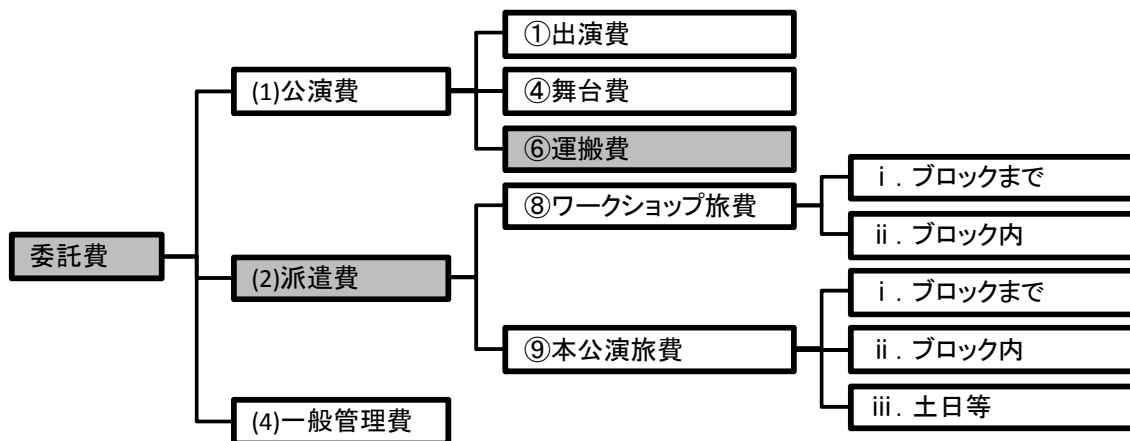
【運搬費：輸送や運搬の外部発注時の相見積の社数】

輸送や運搬に関して外部発注を行っている団体で相見積を「とっている」団体のうち、65.0%の団体が2社の相見積であり、4社以上と回答した団体はゼロであった。

図表Ⅲ-44 相見積時の社数 (Q5_2 単一回答 N=20)



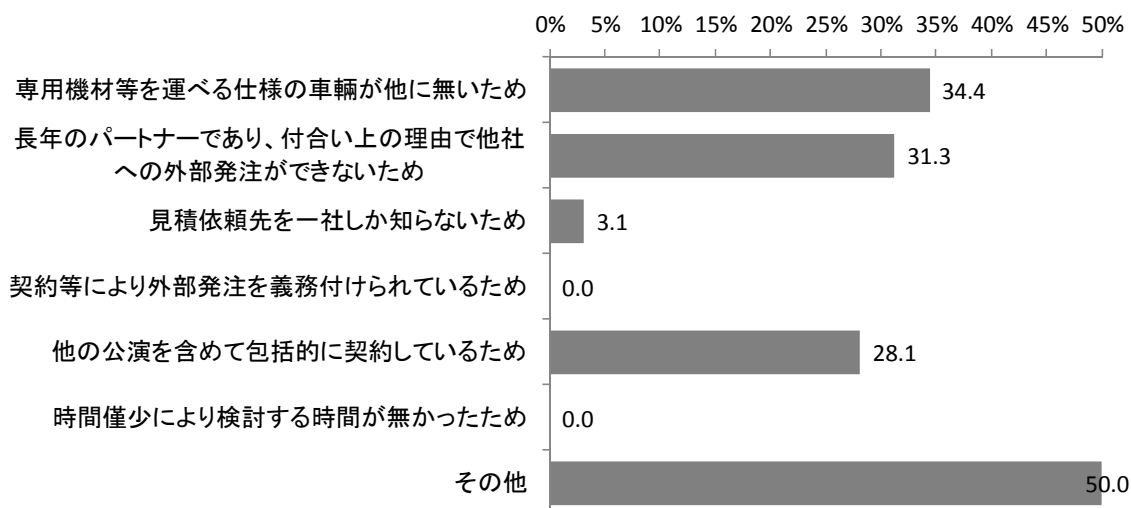
※Q5_1 で相見積を「とっている」「一部とっている」と回答した団体のみに質問



【運搬費：相見積をとらない理由】

輸送や運搬に関して外部発注を行っている団体のうち、相見積をとっていないと回答した団体の34.4%が「専用機材等を運べる仕様の車輛が他に無いため」を理由として挙げている。また、50.0%の団体が「その他」と回答しており、具体的には「過去公演等で安いことを知っている」「事業をよく把握している」等が挙げられている。

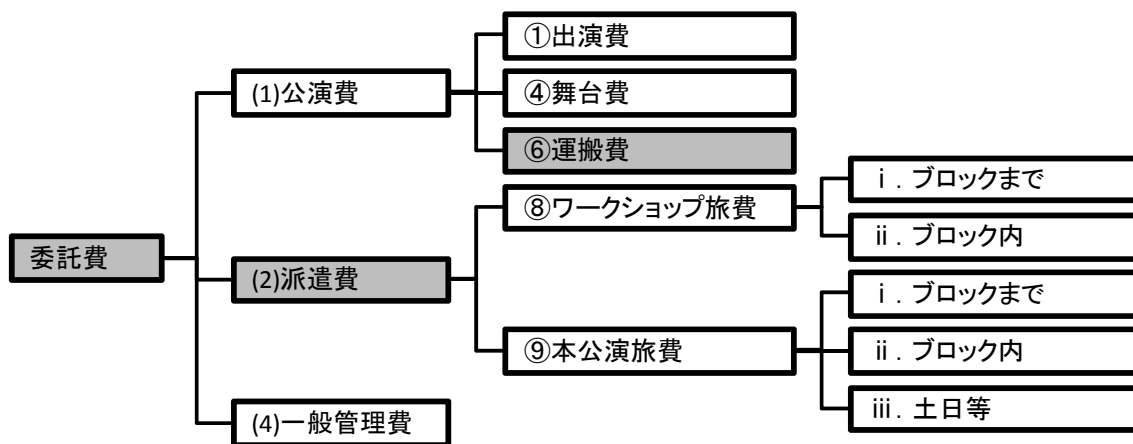
図表Ⅲ-45 相見積をとらない理由 (Q5_3 複数回答 N=32)



※Q5_1 で相見積を「とっていない」と回答した団体のみ質問

分野	その他
音楽	他業社の方が、高いことを知っているから
音楽	公演日程に併せて運行できるバス会社を個別に探し、手配している為。
音楽	現場スタッフも兼任でき、スタッフ費用等を抑えることができるため
音楽	楽団の移動（特に楽器運搬）は、高度な専門職であるため。また、過去に相見積を取った結果、現在の業者に落ち着いている。今回は、旅行業者は相見積取りました。
音楽	現在の取引先は、取引初年度に相見積もりを取り、1番良心的な価格で決定した。また運転技術、知識も含め素晴らしい業務を遂行して頂いている。
音楽	長年のパートナーであり運転搬入搬出だけでなく公演の舞台スタッフもしてくれています。

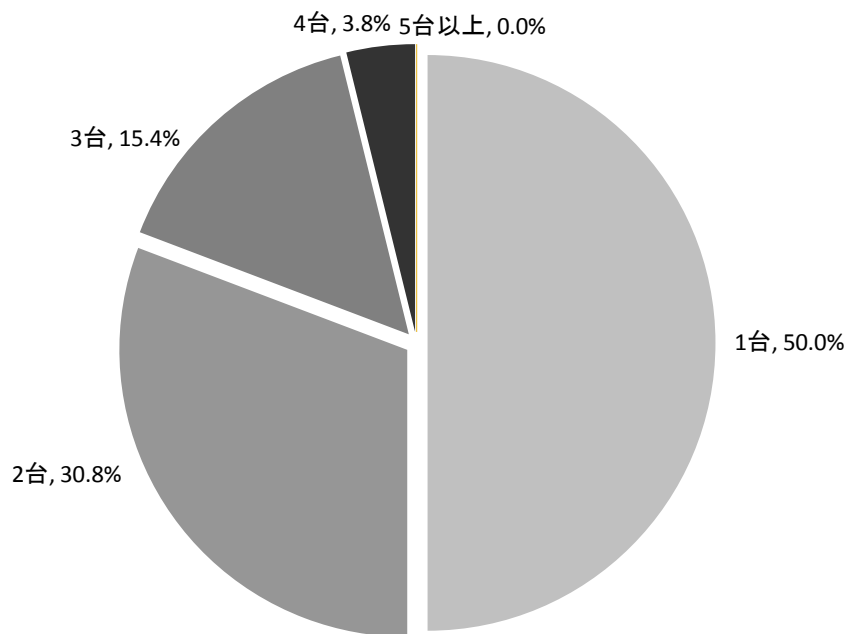
分野	その他
演劇	公演に必要な機材等を安全に時間厳守で届けてくれる信頼できる業者が他にないため
伝統芸能	公演の性質上、全体像を知っている業者が一番都合がよいため
伝統芸能	能舞台の設営業者に運んでいただいているため
伝統芸能	利便性、効率の良さ。団体の特殊事情もよく理解して細かな対応をしてくれている。
伝統芸能	長年のパートナーであり、本事業の状況をよく把握しており、また現場での対応も非常に協力的であるため。
伝統芸能	他公演でも格安で依頼できるため
舞踊	限られた時間内での搬入・搬出、設営と解体作業等、スタッフとの連携がスムーズであるため。
舞踊	能力、信頼性、協調性
舞踊	発注運搬会社の運転技術を信頼しているため



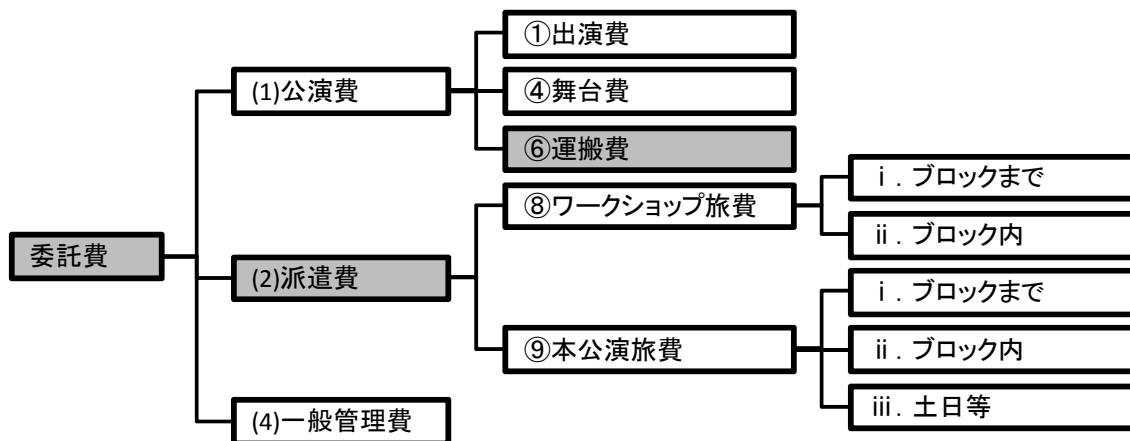
【運搬費：トラックの保有台数】

荷物を乗せるためのトラックについて、半数の団体が2台以上保有しており、平均で1.7台保有している。

図表Ⅲ-46 荷物を載せるためのトラックの保有台数 (Q11_2_2 単一回答 N=26)



※Q11_1で「荷物を乗せるためのトラックを保有している」と回答した団体のみ質問

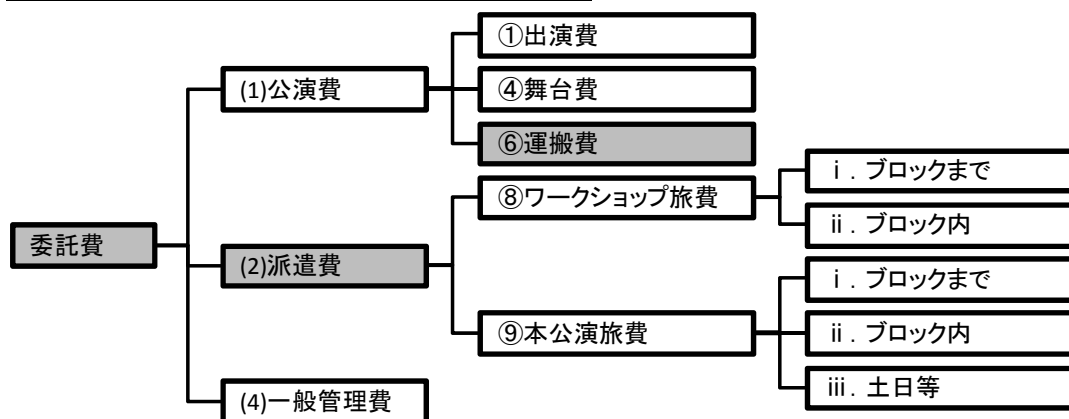


【運搬費：荷物を載せるためのトラックの具体的スペックと維持費】

「荷物を載せるためのトラックを保有している」と回答した団体全体（26 団体）では、のべ 46 台のトラックを保有している。46 台のうち 4 トントラックの台数が 19 台（41.3%）と最も多く、次いで 2 トントラックが 15 台（32.6%）と次いで多かった。年間維持費については、20 万円～196 万円と団体によって差がある。

【図表Ⅲ-47】 トラックの具体的スペックと維持費 (Q11_3 数値入力 N=26)

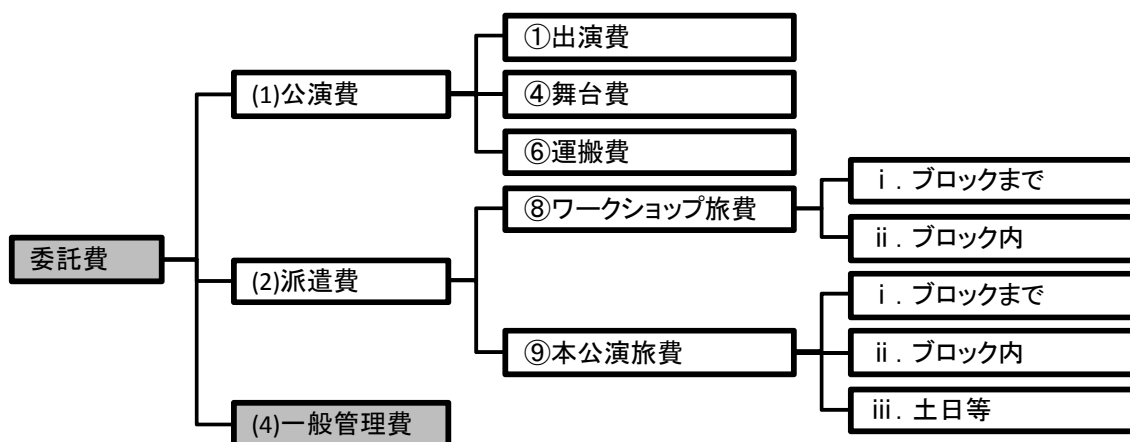
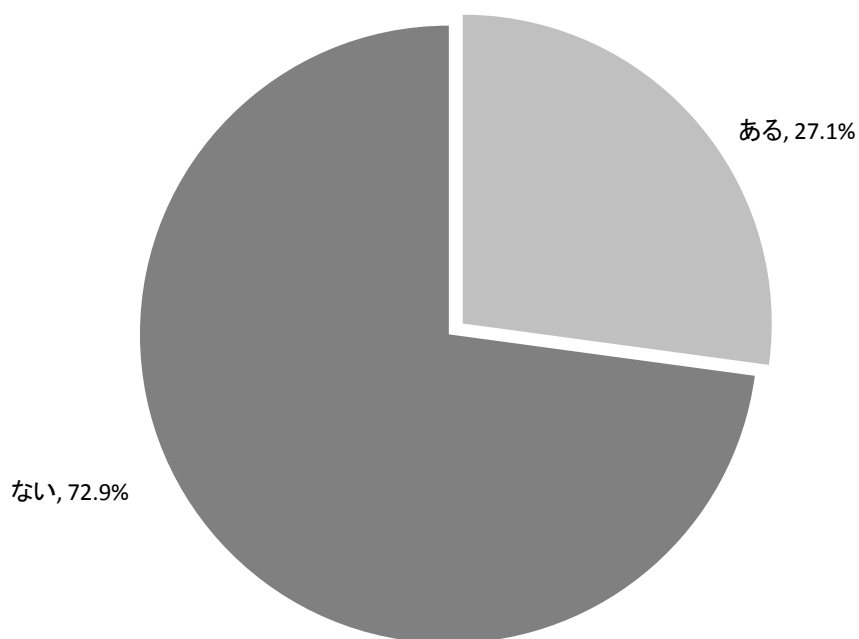
トラックスペック(トン)	年間維持費(万円)	トラックスペック(トン)	年間維持費(万円)
1	20	4	25
1	46	4	25
1	150	4	40
1	150	4	40
1	150	4	40
2	25	4	40
2	25	4	45
2	25	4	50
2	40	4	50
2	45	4	60
2	50	4	60
2	70	4	70
2	70	4	80
2	70	4	90
2	85	4	90
2	90	4	103
2	95	4	110
2	100	4	120
2	100	4	123
2	120	7	120
3	25	11	138
3	25	11	196
3	28		
3	58		



【一般管理費（その他）：自団体所有物のうち、費用拠出の証跡が用意できないため費用計上できないもの】

自団体で用意できるもの（例えば、移動・運搬用の車輛等）のうち、費用拠出の証跡が用意できないため費用計上できない費目があると回答した団体は27.1%であった。

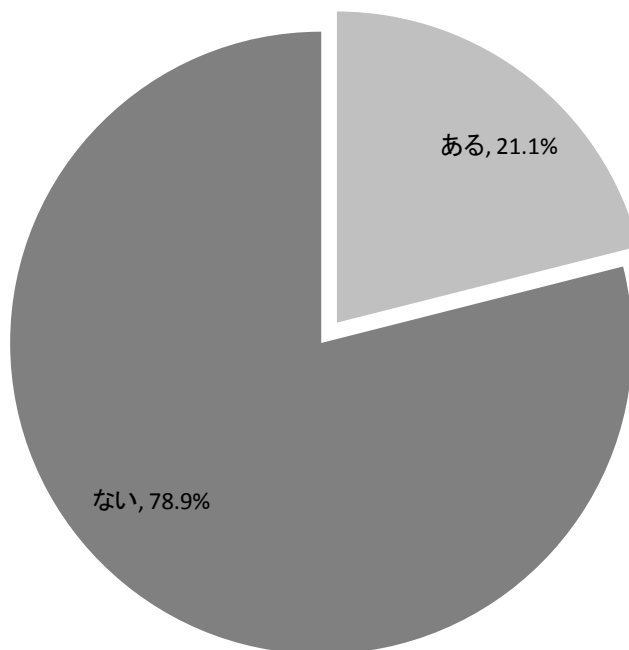
図表Ⅲ-48 自団体所有物のうち、費用拠出の証跡が用意できないため費用計上できないもの (Q9_1 単一回答 N=70)



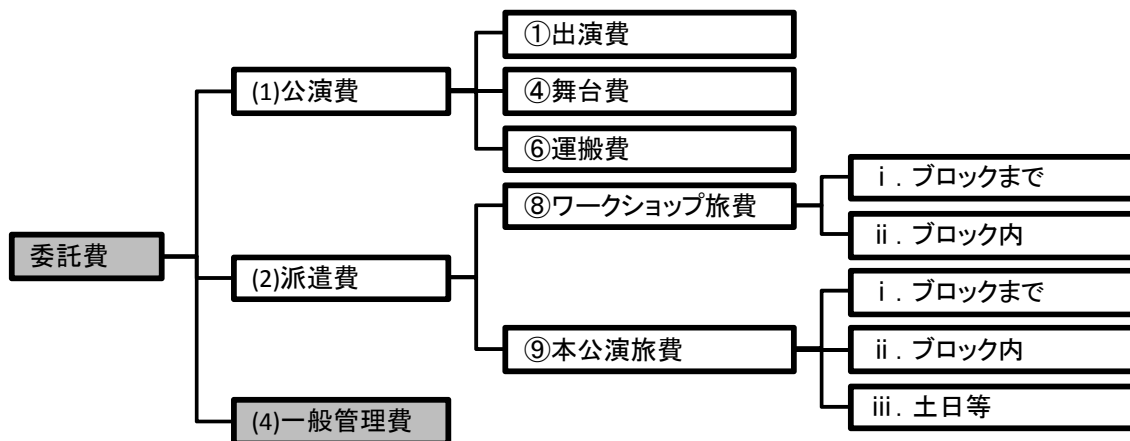
【一般管理費（その他）：自団体所有物のうち、費用計上できないためレンタル等での出費経験】

「費用拠出の証跡が用意できないため費用計上できないものがある」と回答した団体のうち、実際にレンタル等での出費を行ったことがある団体は 21.1%であり、全 70 団体ベースの 5.7%であった。

図表Ⅲ-49 自団体所有物のうち、費用計上できないためレンタル等での出費経験があるか
(Q9_2 単一回答 N=19)



※Q9_1 で「費用拠出の証跡が用意できないため費用計上できないものがある」と回答した団体のみに質問



【一般管理費（その他）：自団体所有物のうち、費用計上できないためレンタル等を行ったことがある具体的費目】

自団体所有物のうち、「車輛費」「舞台費（大道具、照明、音響）」等の費目がレンタル等で出費をしたことがある費目に挙げられている。

図表Ⅲ-50 レンタル等を行ったことがある具体的費目（Q9_3 自由記述 N=18）

分野	Q9_3 自団体に用意できたがレンタル等で出費をしたことがある費目
音楽	楽器運搬車の維持管理経費
演劇	大道具費・車両費・ワークショップの際の機材費・消耗品費・団体所有衣装費
演劇	大道具運搬車の運転手の給与。他にもヤマのように「劇団持ち」として見積もらしないものがあるが、決算から時間が経過してしまうと「納税者」としての自分の感覚で生活してしまうので、いちいち覚えていられない。
演劇	大道具費の内の材料費
演劇	幕類、平台、パネル、パンチカーペット、洗濯機、鏡、ジュラ箱、キャスト、等の備品類等の備品
演劇	作品全体が生み出す付加価値を提示することができない。科目がない
演劇	音響・照明機材費等団体所有の車輛（ワゴン車・トラック）使用料
演劇	自社車両の維持費
演劇	弊社所有の照明、音響機器等の器具についての使用料。団体所有車の使用料。
演劇	冬季、積雪のある地域での公演の時、自団体車輛利用に対する費用が出ないので、安全の為スタッドレスタイヤ装着のレンタカーに変更した。
演劇	衣装費、小道具費、楽器損料
演劇	体育館公演ではなく、ホール公演の際の大道具、照明の追加機材等の出費です。
演劇	機材運搬用トラック（11t）出演者・スタッフ移動用バス（29人乗り）ワークショップ移動用乗用車（5人乗り）
伝統芸能	当会にてストーブ3機購入。公演時期が12月、1月で、体育館は暖房設備がないため寒く、鑑賞する子どもたちのため、または役者もそこで着替えるため。準備段階で、用意可能な学校と、灯油費が出ない等で準備できないという学校があり。
伝統芸能	運搬車両費、音響機材借用費
伝統芸能	衣裳着付け 人件費
伝統芸能	人形遣い衣装・幕類等、古くなってきたので、新しく作り変えています。出演生徒用の衣装等も。
舞踊	稽古場代

【一般管理費（その他）：自団体所有物利用の場合に支払ってほしい費目の要望】

自団体所有物利用の場合に支払ってほしい費目の要望として「自団体車輛の利用料」「運転手当（増額要求）」「冬場の暖房代」「舞台設備（大道具、照明、音響等）の利用料、メンテナンス料」「リハーサル料」等が挙げられた。

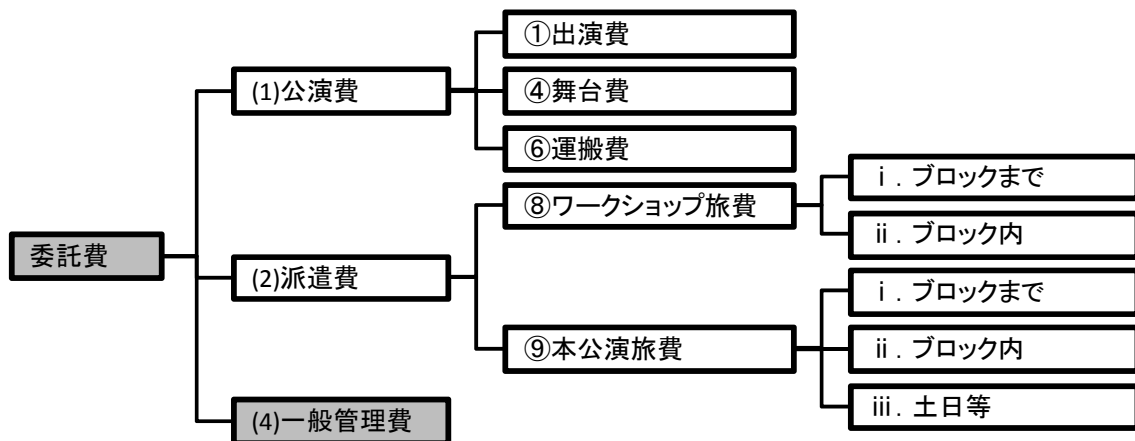
図表Ⅲ-51 レンタル等を行ったことがある具体的費目（Q10 自由記述 N=35）

分野	Q10 自団体所有物利用の場合に支払ってほしい費目の要望（音楽）
音楽	舞台セット、衣装等消耗品を平均5～6年で買い換え、あるいは業者への委託制作をしていかななくてはなりません、できましたらその経費を出していただければ嬉しいです。
音楽	楽器運搬車の維持管理経費（公演回数で案分して等）
音楽	平台一式、指揮台一式、ピアノ椅子、バス椅子、譜面台等の舞台備品。マイク、スピーカー等の音響機材
音楽	楽団所有の楽器使用料
音楽	タクシー代
音楽	舞台設営に必要な備品（ガムテープや養生テープ等）の購入費
音楽	冬の公演での暖房器具
音楽	当方所有の大道具、小道具の倉庫費用

分野	Q10 自団体所有物利用の場合に支払ってほしい費目の要望（演劇）
演劇	運搬車両テープ等の消費物。ワークショップ時にできれば台本を配布したい
演劇	自家トラック使用料。
演劇	照明・音響機材の修繕費。体育館公演の場合、通常の公演より消耗が激しいので買い替える期間が短くなる。
演劇	団体車両を使用する際の車輛使用料・ワークショップで使用する機材の機材費・現場で使用する消耗品費。切りつめに切りつめた見積金額での契約の上、契約金額以内での支払しかしてもらえないため、現場で急遽必要となるものへの支払が請求できないのを改善してほしい。
演劇	運転手の人件費。もし、トラックを購入した場合（現在まさにトラックの自劇団購入・リースを検討中）レンタカー使用料に見合う金額を請求したい。照明・音響器材の消耗品費（電球・コネクタ破損等による交換等）もいただけないと厳しい。道具類の消耗については、管理費を貰っているから…と諦めきれない（複数年実施させていただいている弊害だとは思いますが）ほどになってきている。
演劇	大道具の修繕費

演劇	作品料の算出方法を見直してほしい。ステージ売りの上演料を公的に決めているので、その上演料を作品料として認可してほしい。（文芸費、舞台費を一括して作品料として認可してほしい）
演劇	当劇団は年間を通して数年にわたり一つの演目の公演しているため、道具・機材のメンテナンスは不可欠であります。特に貴事業での公演は長い期間であるため、事前に必ずメンテナンスを行い、途中のアクシデントを最小限に抑える努力をしております。こういった観点からもぜひメンテナンスの費用の計上を認めていただきたく思います。
演劇	舞台備品一式として、公演経費にある法則をもって計上したい。一般管理費とは別に舞台管理費を設定するのはどうだろう
演劇	自社のトラック、運搬可能なように改造しているのでレンタカーは使えないのです。私たちの文化庁の公演は私たちの年間公演の一部です。そのために文化庁の考えに当てはめるようにという考え方は理解できないのです。この項に該当しませんがレンタカーの保険を認めないということも理解できません。
演劇	団体所有の稽古場を使用して稽古した時の稽古場使用料
演劇	自社車両の経費を認めてほしい（日立て・キロ立てでも認めてほしい）
演劇	所有車の使用、照明・音響等の機材費ですが、いずれも消耗品ですので、電球の買い替え等領収証の発声するものではなく、劇場で機材を借りた時支払うように、また、イベント等で業者がマイクを使った一本いくら、と請求するように、そちらで規定して頂いていいので、1灯いくら、とか、スピーカー1台いくら、等請求できるようにして頂きたい。1か月以上トラックに載せてガタガタと運ぶので、公演終了後には調光卓や音響機器はオーバーホールに出すようにしています。調光卓は1台6万円ほど、オーバーホールにかかります。それが管理費等で賄わなければならないとなると、団体所在地の近郊巡回であった場合、管理費自体も少なく、厳しい思いをしている団体もあるのではないのでしょうか
演劇	車輛使用料
演劇	自社運搬トラックの件
演劇	車両使用料
演劇	劇団車両を利用する場合の使用料金
演劇	本公演の際に使用する団体所有の車両の使用料?機材運搬用トラック(11t)?出演者・スタッフの移動用バス(29人乗り)

分野	Q10 自団体所有物利用の場合に支払ってほしい費目の要望(伝統芸能・舞踊)
伝統芸能	ワークショップや本公演終了時に学校にお渡ししている、記録映像(DVD)や記録画像(CD-R)等の制作費や人件費が計上できればありがたいです。
伝統芸能	舞台設営費を抑えるため、「舞台設営」を全部負ってくれる業者さんをお願いをするとどうしても高額になるため、舞台設備を「運搬する人」「設営する人」と分けて発注しているため、舞台を設営するためにかかる材料費、メンテナンス費用は事実上当会負担となっている。
伝統芸能	自団体の所有物使用では有りませんが、出演者・スタッフの昼食代に関して現状では申請できない為、当社経費として支払っています。午前；舞台設営、リハーサル 午後；本番 の場合 昼食を外部で各自調達することが出来ません。一度 ご検討の程 よろしくお願い申し上げます。
伝統芸能	太鼓は消耗していく楽器です。太鼓の皮は公演ごとに消耗していきます。太鼓のレンタル料として、皮が消耗していく部分を補填していただけるのであれば、大変助かります。
伝統芸能	利用回数が多くなればそれだけメンテナンスも必要になる。損料を認めてほしい。【1】運搬車両損料【2】音響機材損料【3】楽器損料【4】舞台装置損料
伝統芸能	衣裳小道具楽器
伝統芸能	ワークショップでは、子供に浴衣を着せて日本舞踊を教えている。浴衣は協会で用意しているが、浴衣のクリーニング代を計上したい。多いときは数百枚にわたる浴衣のクリーニングが必要となる。
伝統芸能	舞台衣装の製作費。幕類等、団体所有のものは、今現在申請していませんが、一部でも補助して頂けると助かります。
舞踊	当事業のためのリハーサルの稽古場代



IV. まとめ：「次代を担う子どもの文化芸術体験事業（巡回公演事業）」調査結果

1. 「次代を担う子どもの文化芸術体験事業（巡回公演事業）」の現状整理

本章においては、経費の現状分析、アンケートおよびインタビューの調査結果を踏まえて、費目別に整理した。なお、費目の中でも支出額が多い「出演費」「本公演旅費」「舞台費」「一般管理費」の4項目について詳細に検証した（当該4費目で費用全体の84.3%を占める）。また、インタビュー等の結果を踏まえ、「ワークショップ費」および「運搬費」についても検証した。

(1) 出演費

出演費は経費合計の39.2%、総額14億7,748万円を占めており、構成比は最大である。

この出演費については、インタビュー結果を踏まえると「①内規を他の事業でも運用している団体」と「②内規の運用が本事業だけの団体」で特徴が異なるため、それぞれ別に論じることとする。なお、アンケートの結果では、全体の約95.7%が単価表を整備（うち、一部整備が約21.4%）との回答であったが、この回答には②のケースも含んでいると想定されるため、必ずしも①の事を指しているわけではない点に留意が必要である。

①内規を他の事業でも運用している団体

出演費単価に関する内規を他の事業でも運用している団体は、インタビュー結果等を勘案すると、プロダクション的機能を有している団体が多いと考えられる。プロダクション的機能を有している団体は、公演ごとに外部出演者に支払う金額を明確にしなければならないためである。

なお、プロダクション的機能を有している団体は、外部より招聘する出演者に対する支払が明確であるが故に、たとえばリハーサル時の謝金等、本事業で規定する「出演費」に該当しない項目の支払いが生じる場合には、当該経費を一般管理費で処理しているものと推察される。

②内規の運用が本事業だけの団体

出演費単価に関する内規の運用が本事業だけの団体も多く存在しており、インタビュー結果を踏まえると、「団体全員が一緒になることで初めて価値が生じる文化分野（演劇等）」が多いものと考えられる。これらの団体においては、通常の公演では「1公演あたりの金額」を設定しており、本事業においては、その金額から逆算して人件費単価を設定するケースが多い。このように「1公演あたりの金額」を設定する場合は、出演費のほかに、舞台費等の他の費目も含めて考えるケースが多いと推察される。なお、一部の団体においては、構成員の年収から逆算している場合もある。

(2) 本公演旅費

本公演旅費は、経費合計の 23.3%、総額 8 億 7,948 万円を占めており、構成比は第 2 位である。本公演旅費の構成比を更に細かく分けると、交通費が経費合計の 9.9%（本公演旅費の内訳の 42.5%）、日当が経費合計の 3.2%（本公演旅費の 13.8%）、宿泊費が経費合計の 10.2%（本公演旅費の 43.7%）を占めている。各費目についての概要は下記の通りである。

①交通費

交通費は、経費合計の 9.9%、総額 3 億 8,568 万円を占めている。内容としては、a.団体の所在地から担当するブロックまでの「基幹交通」および b.ブロック内での学校から学校への「ブロック内移動」に大別される。

a. 団体の所在地から担当するブロックまでの「基幹交通」

文化団体が担当する地域ブロックまでを移動する手段については、72.9%の団体が公共交通機関を利用しており、一方で、ブロックまでの移動で自団体の車輛を利用している団体は 12.9%である。インタビューや実施要領を踏まえると、公共交通機関の利用が原則であるため、ブロックまでの移動は基本的に公共交通機関を利用しているものと考えられる。公共交通のうち、飛行機の割合が 51%、電車の割合が 47%となっている。

ブロックまでの移動に主に飛行機を利用している団体のうち、約 40%（様式 4 の調査結果より）が正規運賃の利用であった。

なお、複数の週にわたる巡回公演の場合、土曜および日曜に巡回地にとどまらないという団体はアンケート調査では 42.9%であり、これらの団体は本拠地とブロック間を複数回往復することとなる。

b. ブロック内での学校から学校への「ブロック内移動」

ブロック内移動については、運転を含めて外部発注（チャーターバス等）を行っている団体が 47.1%となっている。一方で、主に公共交通機関を利用している団体は 18.6%であった。インタビュー調査の結果を踏まえると、ブロック内の移動については、移動の利便性（駅やバス停から学校までの距離、便数、時間帯等）が確保できないケースが多いため、移動の利便性等を総合的に勘案して、チャーターバス等が利用されている場合が多い模様である。

なお、現在の仕様ではタクシー利用を認められていない距離（2キロ未満の移動）においても、タクシーが利用されているという実態がインタビュー調査の結果より判明した。この場合、タクシーの経費については各団体の一般管理費として処理されている。

②日当

日当は、経費全体の 3.2%、1 億 1,965 万円を占めている。日当について、インタビュー調査ではあまり論点となっていなかった。ただし、「文化庁が支給している日当」と「団体が実際に支払っている日当」との間で差が生じる場合には、団体の持出となっており、当該分は各団体の一般管理費で吸収している。

③宿泊費

宿泊費は経費全体の 10.2%、3 億 7,413 万円を占めている。本事業の精算においては、1 泊 9,800 円を上限として、実費精算となっている。制度上は上限額まで利用できるが、インタビュー調査の結果を踏まえると、文化庁の経費削減に協力するため、できるだけ安い宿を探すように努めている団体が多いものと推察される。なお、オーケストラにおいては、団体として宿泊先を確保するのではなく、個人の裁量に任せているケースが多く、このため、見積と決算の差異が生じやすい状況にある。

(3)舞台費

舞台費は、経費合計の 12.7%、総額 4 億 7,802 万円を占めており、構成比は第 3 位となっている。この「舞台費」とは、舞台関連に支払われる経費であり、舞台装置等のモノに支払われるサービス購入型の経費と、舞台スタッフの人件費が含まれる。本事業において採択される演目は全て上演済みの再演となるため、舞台装置の制作費に対して支弁されるわけではなく、その利用に対しての経費となる。これらの舞台費は、①自団体所有の舞台装置等の利用の場合と、②外部所有の舞台装置等の利用、によって特徴が異なる。なお、合唱、オーケストラの各団体では舞台費はほとんど計上されていない。

①自団体所有の舞台装置等の利用

自団体が所有する舞台装置等を利用する場合においては、インタビュー調査によると、そもそも本事業以外の価格設定において出演費等を含めた 1 公演あたりの総額を提示しているケースがほとんどであることから、この公演総額から舞台費を逆算しているケースが多い。

舞台装置の価格をその取得原価から算定する方法も理論的には考えられる。ただし、舞台装置の取得原価については、固定資産台帳に計上されていない場合が多い（特に、自団体で作成した場合は計上されていないケースがほとんどであった）。もっとも、総勘定元帳を基に、実際に支払った経費を合計すれば取得価を算出することはできる。ただし、計算に手間がかかるだけでなく、この場合、物件費の原価は算出できたとしても、制作に係る人件費やアイデア料のようなものを積算することは極めて困難である。また、舞台装置等を作成した年度が古すぎる場合はそもそも帳簿が残っていないケースもある。さらに、税法に定められた減価償却期間が実際の耐用年数と一致しないため、利用料を算定する根拠となる耐用年数の算定も困難である。アンケート調査でも、各団体の舞台装置等の実質耐用年数には共通の傾向は見られなかった。その他、舞台装置にはメンテナンスコストがかかるため、減価償却費以外にもメンテナンスコストを加算する必要があるほか、保管に関するコスト（たとえば、倉庫のレンタル料等）も考慮する必要がある。

②外部所有の舞台装置等の利用

舞台装置について、アンケート調査によると「外部発注に相見積をとっている」または「一部とっている団体」というのは全体の25.7%であった。相見積をとらない理由は、人材・設備が限られており、他をもって代替が難しいという点が挙げられている。インタビュー調査によると、「外部所有」という形式ではありながらも、実態としては各団体のために保有されている装置が多く存在することが、インタビュー調査の結果、明らかとなった。なお、外部所有の舞台装置等については、領収書があり、実際に振り込んだ記録があれば、本事業の対象経費として認められている。

(4) 一般管理費

一般管理費は、経費合計の8.9%、総額3億3,518万円を占めており、構成比は第4位となっている。

本事業において文化庁から支弁されない経費は、全て一般管理費にて充当・調整されている。「公演費」「派遣費」および「プログラムデータ作成費」の合計額を対象として、その10.0%（最大）が支給されるため、経費支出が増えれば、一般管理費も増えるという構造となっている。なお現状では文化庁から支弁されていないため、各団体の一般管理費で対処されているものの、本事業の経費として計上することが望ましい経費として、冬場の公演時におけるストーブのレンタル料金が挙げられる。

(5) ワークショップ費

ワークショップ費は、経費全体の3.1%、1億1,824万円を占めている。ワークショップに関する費用であり、主指導者に日額、補助者に時間に応じた金額を支払っている。主指導者は1回あたり35,000円、補助者は1時間あたり4,700円で、最長三時間分（計14,100円）の支払となる。

本事業においては基本的に再演の演目が採択されているが、一般的な公演においてはいわゆる「公演」のみであり、ワークショップは実施されていない。こうしたことから、本事業におけるワークショップの実施にあたっては、（採択が2回目以降の団体を除いて）素案から企画する必要があり、ワークショップの準備に相当の時間がかかっているものの、こうした準備時間分の費用は支弁されない。また、ワークショップが実施される学校までの移動に時間がかかっているが、移動相当の人件費は支出されていない。これらの費用は、一般管理費、団体負担、出演者負担のいずれかで賄われている。

ワークショップ費は、出演費と比べて安価な設定となっている。また、主指導者と補助者の間に支給金額の差が2倍以上ある点が、インタビュー調査においては課題として指摘されていた。

(6) 運搬費

運搬費は、経費全体の 3.7%、1 億 3,832 万円を占めている。運搬費とは、機材を運搬するための費用であり、①自団体の車輛の利用、②レンタカー、③運転手込みの外部委託、の 3 パターンに分かれている。このうち、運転を含めて運搬を外部発注する割合が 44.3%で最も多い。特に音楽分野では、外部業者に運転を含めて外部発注する割合が 63.6%となっている。一方で、演劇では 16.0%となっている。演劇分野では 56.0%の団体が自団体の車輛を利用して運搬している。アンケート調査およびインタビュー調査において、複数の団体より、自団体所有のトラック利用に対しての費用が支弁されないことについて改善要望があげられていた。

なお、外部委託の場合であっても専用機材を運ぶためにカスタマイズされた車輛を利用するケースが多く、どの車輛でもよいというわけではない。したがって、見積合わせは実態に合わない場合が多い。

2. 「次代を担う子どもの文化芸術体験事業（巡回公演事業）」の課題

1の現状整理を踏まえ、各費目の課題を抽出する。課題については、1で論じた費目別に「A. 透明性・妥当性の観点」「B. 健全な経費削減の観点」「C. 団体間の公平性の確保の観点」という3つの視点から抽出する。

(1) 出演費

出演費について、ほとんどの企業で内規が存在するため、透明性においての問題は少ないものと考えられる（ただし、一般公開されていない、かつ、単価にレンジが設定されているため、完全に透明というわけではない点に留意が必要である）。

①内規を他の事業でも運用している団体

内規を他の事業でも運用している団体に関しては、同等の出演者に対して他の事業でも買い手がついているため、当該単価はマーケットから評価された妥当な金額であると考えられる。同様に、過去公演の出演費単価より金額が決まっているため、健全な経費削減の観点からも課題と言える点は特に無い。また、インタビューによると本事業の人員費単価については相対的に低い金額で受けているとのことであった。とはいえ、出演者とその趣旨を理解した上で当事業に参加しているため、持続性の観点で問題になることは少ないものと思料。

一方で、リハーサル等に対しての経費が支弁されないため、他の公演と違い、リハーサルの経費を吸収できていないという課題がある。

②内規の運用が本事業だけの団体

内規の運用が本事業だけの団体の公演費の単価については、出演費だけに限定してみると、他の事業での買い手が存在しているわけではないため、価格設定に関する客観性に乏しい状況にある。しかしながら、「1公演あたりの総額」については、他の事業でも買い手がついているため、舞台費等を含めた総額ベースでは妥当性があると考えられる。このように、過去公演の公演価格をベースに逆算された金額で出演費が決まっているため、健全な経費削減の観点から課題は特に無い。

必要総額からの逆算という観点では、総額ベースで持続可能な金額を設定できていると推察されるため、「団体の持続性担保」についても概ね問題はないと推察する。また、リハーサル等に対しての費用も含めた総額から逆算が行われていると考えられるため、より広義の出演費についても吸収できているものと思料する。

(2) 本公演旅費

①交通費

運転手当を除く費用は、領収書が無ければ費用が支払われない項目であるため、透明

性は高い。一方で、見積合わせを実施しない場合において、外部委託を行う場合の経費に関しては、妥当性が確保されているとは言い難い状況にある。

また、自団体の車輛を利用しているにも関わらず、本事業において車輛費が支弁されないことが理由で自団体車輛を利用していないケースがある場合、外部委託費相当の経費が余計にかかっていることになる。もっとも、ブロックまでの移動でレンタカーまたは外部発注を行っている団体は全体の 12.8%であり、影響は軽微と思料。とはいえ、自団体車輛に対する費用の支弁を認めない状況は、車輛取得費や維持費を負担している団体の経営を圧迫することとなる。また、自団体車輛の利用を行っている団体には車輛費が支給されず、レンタカーや外部委託を行っている団体には車輛費が支給されるという実態は、団体間に不公平が生じているという課題がある。

a. 団体の所在地から担当するブロックまでの「基幹交通」

ブロックまでの移動で飛行機を利用している団体は、前述の通り公共交通機関利用のうち 51%であった。うち、約 40%が早期割引を利用していないという結果であったが、これらの団体が正規料金ではなく、早期割引を利用することによって交通費を健全に削減することができるかと期待される。特に音楽分野においては週末に本拠地とブロック間の移動が発生しているため、相当な経費の削減ができるものと考えられる。

飛行機を正規運賃で予約している団体は、そうでない団体に比べて時間変更の柔軟性が高く、かつ、経費に連動する一般管理費もより多く支給されている。また、土日に団体所在地に帰る団体は、そうでない団体に比べて交通費がかかる故に、一般管理費も多く支給されている（※近距離の場合を除く。近距離の場合は宿泊費が交通費を上回るため、土日は本拠地に帰ったほうがかえて費用が減る）。したがって、正規料金で精算している団体と早割りを利用している団体の間に、現状では大きな不公平が生じていることとなる。税金をより有効に利用するという観点では、飛行機の早期割引の利用を前提とすることが望ましい。

なお、週末ごとに本拠地に戻ることに伴う経費増に関しては、土日に首都圏等で開催される公演、労働協約等の状況を踏まえると、これを抑制することは困難であると考えられる。したがって、飛行機を正規運賃で予約している現状が課題として残ることとなる。

b. ブロック内での学校から学校への「ブロック内移動」

ブロック内移動の多くは、チャーターバス等が利用されているが、移動の利便性等を総合的に勘案した結果であるため問題ではないと思料。ブロック内の移動等に関して、タクシー利用についての要望があげられているが、一般管理費で吸収できる範囲であると思料する。

②日当

日当に関しては、条件と金額が明記されており、透明性は高いと考えられる。また、金額に関しては国家公務員旅費規程を参照して決定されているため、妥当性を有すると思料する。なお、団体規定の日当との間に差が発生する場合においても、団体の持続性を損ねる金額になるとは考えにくい。

③宿泊費

宿泊費に関しては、実費支給、かつ、上限も明記されているため、透明性は高いものと考えられる。また、金額に関しては国家公務員旅費規程を参照して決定されているため、妥当性を有するものと思料する。

ただし、実費精算であるため、より安価な宿をとるインセンティブが働きにくいという課題がある。また、宿泊費が増えるとともに一般管理費も増える仕組みとなっており、こうした面からも宿泊費をおさえるインセンティブが働きにくい構造となっている。このように、努力して経費を削減した団体の方が、支給される一般管理費が少なくなってしまうという点で不公平が生じている可能性がある。

指揮者等に代表される高名な出演者に関してグレードの高い宿泊施設が利用できるようにとの要求もあるが、これは個別の団体の問題であり、一般管理費で対応すべき項目と思料する。

(3) 舞台費

①自団体所有の舞台装置等の利用

自団体所有の舞台装置等を利用している場合において、舞台装置利用についての金額表（内規を含む）が無い場合の透明性が薄い状況にある。一方で、舞台装置を外部に貸し出している場合は、その金額表により、透明性を確保できている。

舞台費については、前述したとおり、舞台装置を作成するために要した費用を基とするコストアプローチは、不確定要素が多い。また、市場価格を基に金額を決めるマーケットアプローチについては、舞台費が単独の費目で精算されているわけではない（通常は出演費等を合わせて1公演あたりの総額を設定し、舞台費だけで金額を決めているわけではない）ことから、価格の論拠の立証が難しい。

舞台費は、1公演あたりの総額からの逆算で決められている場合が多く、この考えを踏まえずに費用を減らしてしまうと、結果として1公演あたりの総額を確保することができず、団体運営が難しくなる懸念がある。結果として他の項目等で経費を調整する等、不正を働かせる温床となってしまう懸念すら有り得る。

また、舞台費に関しては、外部委託をしている場合としていない場合の間で、支払い費用に差が生じる可能性がある（照明や音響の消耗品部分。外部委託の場合、エビデン

スが明確になるため、費用計上しやすい)。

上記を踏まえると、自団体所有の舞台装置等について、費用を支払うべきであるものの、適切な金額を設定することが困難である点が課題である。

②外部所有の舞台装置等の利用

外部所有の舞台装置等の利用に関しては、領収書と金銭振込記録が存在するため、特定の装置にどれぐらいの費用がかかったのかという点について透明性がある。一方、見積合わせを実施している団体が少なく（実施していない団体が 74.3%）、外部委託先が請求している価格の根拠の妥当性が薄い状況にある。

とはいえ、事業を成立させるには、特定の外部業者の協力は不可欠であり、かつ、業者の替えが効かない場合が多いため、見積合わせを強制させると、公演の質低下およびコスト（調整コスト）増の懸念もある。

なお、照明、音響等のように、舞台装置に比べると特殊性が少ないものについては、自団体所有の場合でも、メンテナンス費等の支弁状況を考慮し、外部からレンタルする場合がある。

(4) 一般管理費

一般管理費は、「公演費」「派遣費」および「プログラム作成費」の小計の 10.0%を上限として支払う旨を明記しているため、透明性は高い。文部科学省の他の事業と平仄を合わせているという点では妥当性があるが、当該事業における調整弁として 10.0%が適切かどうかという点については議論の余地が残るが、10.0%が不適切であるという論拠も特にない。

インタビュー調査によると、一般管理費でも吸収できない経費が発生している団体もあるが、このような団体は、公益活動の一環として採算割れを承知の上で当該事業に応募しており、その意味では著しく持続性を損なう可能性は低いと考えられる。

なお、一般管理費の対象が、主に交通費によって占められる派遣費も含むため、派遣費を高額にするほど一般管理費が高くなる構造となっている。このことから、派遣費低減に努めている団体とそうでない団体との間で比べて不公平が生じているという課題がある。

(5) ワークショップ費

ワークショップ費は、金額の根拠がしっかりしており、透明性と妥当性については問題がないものと考えられる。

ただし、基本的に遠隔地での事業であり、出演者は終日拘束されることとなるため、時間ベースでの実質時給は低くなってしまふ（特に 1 日 1 校しか回らない場合）。しかしながら、支給金額については募集要項にも記載されている事項であり、また、団体側も

本公演と合わせての採算を考えているものと思われるため、持続性から大きな問題ではないと思料する。

なお、主指導者と補助者の力量に明確な差がない場合、支給額に差が生じることとなり、特にプロダクション的機能を有している団体の配分時に問題となる可能性もある。その他、生徒数が多い学校で、三時間以上のワークショップを行う場合の費用の支給が無いという課題も指摘されている。

(6) 運搬費

運搬費に関しては、運転手当を除く経費は、領収書が無ければ精算できない項目であるため、透明性が高いと考えられる。ただし、見積合わせを実施しない場合は、他社と価格の比較を行っていないこととなるため、金額に対する妥当性が少ない点が課題である。

また、自団体の車輛を所有しているにも関わらず、車輛費が支弁されないことが理由で自己車輛を利用していない場合には、外部委託費相当の費用が余計にかかっていることになるため、当該部分の経費削減の余地がある。

自団体車輛に対する費用の支弁を認めない場合、車輛取得費や維持費を支払って自団体車輛を保有・利用している団体の経営を圧迫する懸念もある。

また、自団体車輛の利用を行っている団体は車輛費が支給されず、レンタカーや外部委託を行っている団体には車輛費が支給されるため、不公平が生じているという課題も指摘できる。

3. 「次代を担う子どもの文化芸術体験事業（巡回公演事業）」への提案

2で述べた課題を踏まえ、大きく2つの視点から当該事業への提案を行いたい。1つ目が「A. 現行の委託方法を前提とした提案」であり、2つ目が「B. 当該事業の委託方法の考え方自体を変える提案」である。現実には即した提案はAであるため、Aについての提案を主として行うこととする。

A. 現行の委託方式を前提とした提案

2の課題を踏まえ、「飛行機移動時の早期割引利用」「自団体車輛利用に対する車輛費の支弁」「宿泊費の算定方法の改善」「自団体舞台装置等を利用した場合の舞台費の計上方法の変更」「一般管理費の算定対象の変更」「ワークショップ費の配分方法の変更」についての提案を行う。

(1) 飛行機移動時の早期割引利用と自団体車輛利用に対する車輛費の支弁

健全な経費削減のために、航空利用の場合は「早期割引制度」の利用を義務づけるべきであると考えられる。

試算によると、早期割引の利用を義務付けた場合の経費削減額は約 1,179 万円と期待される。

1.5 万円（航空券の差額。概算値）
×2（行きと帰り）
×1.8（往復回数：上限3回の企業と1回の企業が4：6※アンケートより）
×19.5（想定平均人数：H24年度の様式4を参考）
×80（総団体数）
×0.7（公共交通機関利用率※アンケートより）
×0.5（うち、航空利用率※アンケートより）
×0.4（うち、通常運賃利用率：H24年度の様式4を参考）
=1,179 万円

(2) 自団体車輛利用に対する車輛費の支弁

一方で、自団体車輛の利用については、車輛代を支給すべきと考えられる。

試算によると、以下のように総額で1,102万円の経費増になると想定される。

35（バス9台＋トラック26台）
×3万円（同等スペックのレンタカーの日額。大手5社の最低価格を利用）
×0.7（レンタカーの原価相当分の補正※法人企業統計調査より）
×15日
=1,102万円

自団体車輛に対する費用支給については、団体の持続性や団体間の不公平の是正に寄

与するものと期待される。また、モデル上での計算となるが、上記 2 施策を同時に行った場合、費用は相殺されて、総支出はむしろ減少すると想定される。

(3) 宿泊費の算定方法の改善

宿泊費に関しては、定額渡し切りとするべきと考えられる。宿泊費の定額渡し切りが可能になると、精算の手間が省けることほか、見積と精算の差異が少なくなるため、事務局および文化庁にとっても大きなメリットが生じると期待される。

また、同時に宿泊費の上限額を減額することが適切である。宿泊費については、過去の地域ごとの宿泊費の平均額を算出したうえ、その額を参考にして決定することが適切である。

(4) 自団体舞台装置等を利用した場合の舞台費の計上方法の変更

舞台費の算出根拠については、コストアプローチが困難であることは前述の通りである。そこで、舞台費を 2 つの項目に分割し、照明・音響のように他の事業者からも調達が可能な項目については、マーケットプライスを利用し、直近公演の金額をベースとしつつ、他の業者の見積もりも添付するという方法が望ましいと考えられる。また、その他の舞台装置等については、「直近公演の金額をエビデンスとして提出してもらい、そこから逆算した舞台装置部分の単価（および人件費単価）を各団体に設定していただく」という方法で明確にするべきと考えられる。

(5) 一般管理費の算定対象の変更

派遣費を一般管理費の対象から外すべきと考えられる。派遣費を一般管理費の対象から外すことによって、派遣費が高ければ一般管理費が多く支弁されるという状況を回避できる。

(6) 今まで支弁していなかった費用の認定

(5) のように派遣費を一般管理費の算定対象から外すと、委託費の総額が大幅に減少（派遣費は一般管理費を除く総額の 3 割程度であるため、一般管理費が 3 割程度減少）してしまうこととなる。そこで、対象から外すに際して、今まで支弁を認めなかった「車輛の保険」「寒冷地の暖房代」についての費用支弁を認めることによって、より支給意図を明確化した費用の支弁を実施するべきであると考えられる。

(7) ワークショップ費の配分方法の変更

主指導者と補助者の日額を 6（ワークショップ参加可能最大人数）で除した平均額は 17,583 円となる。この計算結果を踏まえ、ワークショップ費の考え方について、従来通りの方法に加え、主指導者・補助者の区別を無くし、一人一律日額 17,500 円とする方法、

もしくは主指導者と補助者の日額を総合計した金額を人数で除した金額をワークショップ費と認める方法も検討するべきと考えられる。

B. 当該事業の委託方法の考え方自体を変える提案

上述したAの方式は、従来の委託方式（必要な委託費用の積み上げ）の考えを踏まえた提案であるが、本項では、必要経費の積み上げではなく、総額方式にするという提案を行いたい。総額については、従来のような「団体が金額を決める」タイプの請負方式ではなく、予め文化庁が金額を提示して、それに対して各団体が実施計画書を提出するという事業コンペ方式を想定する。

この方式を実施することによって、「1公演〇〇円」という形式となるため、劇団等は通常の事業と齟齬が出にくくなる。団体の視点では、費用の使い方に弾力性が生じるため、団体の実態に即したより効果的な費用の利用が可能となると期待される。

当該提案については、企画時点で詳細な実施計画を求めることとなる。文化庁が提示した金額と要求事項に対し、団体には「何を、どのようにする」ということを明記・提案させることによってコンペを実施することとなる。金額があらかじめ提示されているため、コンペの視点は限られた予算の中でいかに価値の高い提案ができるかということが重要となる。

当該方式を実施した場合、企画が明確であるため、企画段階からより精緻な見積が可能となる。また、第三者や団体採択の委員が事業内容をより判断しやすくなるというメリットもある。

当該方式は、企画段階で工数が必要となるため、企画に落ちた場合、その労力が各団体にとってのサックコストとなる。そのため、いきなり全団体を対処として実施するのではなく、まずはB区分団体からはじめることが適切であると考えられる。その際には、3年をかけて何を成し遂げたいのかと言う部分も含めてプレゼンテーションを実施してもらうことが想定される。

なお、詳細な企画を立てても、それが採択されなければ企画がサックコストになるとはいえ、企画を表現すること自体が今後の各団体の事業活動に役立つものとする。また、文化芸術の発展という意味では自分たちの作品をより適切にプレゼンテーションすることは重要であり、当該事業に限らず、他の事業での営業活動等にも資するものとする。

以上

参考資料

1. 団体へのアンケート調査票

次代を担う子どもの文化芸術体験事業(巡回公演事業)検証事業 アンケート調査票

◆アンケート調査の趣旨

日頃は、文化庁「次代を担う子供の文化芸術体験事業」の実施について御理解と御協力を賜り誠にありがとうございます。

文化庁では、昨年度に引き続き、本事業をこれまで以上に内容を充実させ、質の向上を図るとともに全国的な広がりを推進していくため、事業の効果や課題について検証しております。

今年度は特に、文化庁委託公演を実施する委託経費の実態把握と合理的な算定方法に係る調査研究に主眼を置いております。事業を効率的に実施することで、より多くの子供たちに文化芸術を鑑賞・体験する機会を提供したいと考えております。

このため、団体の皆様に委託経費に関するアンケート調査を行いたいと考えておりますので、御多忙のところ恐縮ですが、御協力くださいますようお願い致します。

◆以下のアンケートへのご回答をお願い致します。

問 1

平成24年度の巡回公演事業について、当初公演と追加公演の実施状況についてお聞かせください。(お答えは1つ)

1. 当初公演のみ実施
2. 当初公演+追加公演を実施

当初公演の移動方法についてお伺いいたします(問2-2-3-1まで)

当初公演：ワークショップ時の出演者・スタッフ等の自団体メンバーの移動方法についてお聞かせください(問2-1-3-1まで)

問2-1-1

団体本部→ブロックまでの主な移動方法をお知らせください。

(例：本部が東京で北海道・東北エリアの場合の東京→北海道の移動)

※ブロック内の移動ではありません。ブロック内を移動する方法については次の設問でお伺いいたします。(お答えは1つ)

1. 公共交通機関を利用
2. 外部業者(バス会社等)に運転を含めて外部発注
3. レンタカーを利用(運転専門のスタッフがいる)

問2-1-1-4

問2-1-1で「3, 4. レンタカーを利用」を選択した方にお伺いいたします。自団体の車輛ではなく、レンタカー利用を選択した理由をお聞かせください。

(お答えはいくつでも)

1. そもそも自団体で車輛を有していないため
2. 自団体の車輛利用に対する費用が出ないため
3. 自団体の車輛では人数を収容できないため
4. 自団体の車輛を他のメンバーが利用中で利用できないため
5. その他 ()

問2-1-2

ブロック内の主な移動方法をお知らせください。

(例：北海道・東北エリアブロック場合の仙台→函館の移動) (お答えは1つ)

1. 公共交通機関を利用
2. タクシーを利用
3. 外部業者(バス会社等)に運転を含めて外部発注
4. レンタカーを利用(運転専門のスタッフがいる)
5. レンタカーを利用(運転専門のスタッフがない(他業務との兼務))
6. 自団体の車輛を利用(運転専門のスタッフがいる)
7. 自団体の車輛を利用(運転専門のスタッフがない(他業務との兼務))
8. その他 ()

問2-1-2-1

問2-1-2-1で「1. 公共交通機関を利用」を選択した方にお伺いいたします。要した金額が最も大きい交通機関をお聞かせください。(お答えは1つ)

1. 飛行機
2. 電車
3. 船舶(フェリーなど)
4. バス

問2-1-2-2

問2-1-2で「1. 公共交通機関を利用」を選択しなかった方にお伺いいたします。公共交通機関をご利用されなかった理由は何ですか。(お答えはいくつでも)

1. 公共交通機関の利便性(時間、ルート等)が悪いから
2. 機材等の運搬の理由で公共交通機関を利用することができないから
3. 公共交通機関を利用しないほうが結果として出費の総額を抑えられるから

4. その他（ ）

問2-1-2-3

問2-1-2で「3. 外部業者（バス会社等）に運転を含めて外部発注」を選択した方にお伺いいたします。「運転手を含めて移動を外部発注した」を選択した理由をお聞かせください。（お答えは1つ）

1. 自団体のメンバーの体力を消耗させないため
2. プロに外部発注するほうが安全であるため
3. 本事業において文化庁から支払われる運転手当が低いため
4. 運転手が団体内に存在しないため
5. その他（ ）

問2-1-2-4

問2-1-2で「4, 5. レンタカーを利用」を選択した方にお伺いいたします。自団体の車輛ではなく、レンタカー利用を選択した理由をお聞かせください。

（お答えはいくつでも）

1. そもそも自団体に車輛を有していないため
2. 自団体の車輛利用に対する費用が出ないため
3. 自団体の車輛では人数を収容できないため
4. 自団体の車輛を他のメンバーが利用中で利用できないため
5. その他（ ）

問2-1-3

主な運搬方法をお知らせください。

（自団体メンバーの移動ではなく、楽器、大道具、衣装、舞台装置等の運搬）

（お答えは1つ）

1. 公共交通機関を利用（車内、機内に持ち込み）
2. 外部業者（運送会社等）に運転を含めて外部発注
3. レンタカーを利用（運転専門のスタッフがいる）
4. レンタカーを利用（運転専門のスタッフがいらない（他業務との兼務））
5. 自団体の車輛を利用（運転専門のスタッフがいる）
6. 自団体の車輛を利用（運転専門のスタッフがいらない（他業務との兼務））
7. その他（ ）

問2-1-3-1

問2-1-3-1で「2」外部業者（運送会社等）に「運転を含めて外部発注」を選択した方にお伺いいたします。運転手を含めて運搬を外部発注した理由をお聞かせください。（お答えはいくつでも）

1. 自団体のメンバーの体力を消耗させないため
2. プロに外部発注するほうが安全であるため
3. 専用機材等を運べる仕様の車輛が他に無いため
4. 本事業において文化庁から支払われる運転手当が低いため
5. 運転手が団体内に存在しないため
6. その他（ ）

当初公演：本公演時の出演者・スタッフ等の自団体メンバーの移動方法についてお聞かせください（問2-2-3-1まで）

問2-2-1

団体本部→ブロックまでの主な移動方法をお知らせください。

（例：本部が東京で北海道・東北エリアの場合の東京→北海道の移動）

※ブロック内の移動ではありません。ブロック内を移動する方法については次の設問でお伺いいたします。（お答えは1つ）

1. 公共交通機関を利用
2. 外部業者（バス会社等）に運転を含めて外部発注
3. レンタカーを利用（運転専門のスタッフがいる）
4. レンタカーを利用（運転専門のスタッフがいらない（他業務との兼務））
5. 自団体の車輛を利用（運転専門のスタッフがいる）
6. 自団体の車輛を利用（運転専門のスタッフがいらない（他業務との兼務））
7. その他（ ）
8. 団体本部がブロック内にあるため、そもそも移動が生じない

問2-2-1-1

問2-2-1で「1」公共交通機関を利用を選択した方にお伺いいたします。要した金額が最も大きい交通機関をお聞かせください。（お答えは1つ）

1. 飛行機
2. 電車
3. 船舶（フェリーなど）
4. バス

問2-2-1-2

問2-2-1で「1. 公共交通機関を利用」を選択しなかった方にお伺いいたします。
公共交通機関をご利用されなかった理由は何ですか。（お答えはいくつでも）

1. ブロック内移動までを含めて考えると、公共交通機関を利用しないほうが移動の利便性が高いから
2. ブロック内移動（タクシー想定等）までを含めて考えると、公共交通機関を利用しないほうが結果として出費の総額を抑えられるから
3. 機材等の運搬の理由で公共交通機関を利用することができないから
4. その他（ ）

問2-2-1-3

問2-2-1で「2」外部業者（バス会社等）に「運転を含めて外部発注」を選択した方にお伺いいたします。「運転手を含めて移動を外部発注した」を選択した理由をお聞かせください。（お答えはいくつでも）

1. 自団体のメンバーの体力を消耗させないため
2. プロに外部発注するほうが安全であるため
3. 本事業において文化庁から支払われる運転手当が低いため
4. 運転手が団体内に存在しないため
5. その他（ ）

問2-2-1-4

問2-2-1で「3, 4. レンタカーを利用」を選択した方にお伺いいたします。自団体の車輛ではなく、レンタカー利用を選択した理由をお聞かせください。（お答えはいくつでも）

1. そもそも自団体に車輛を有していないため
2. 自団体の車輛利用に対する費用が出ないため
3. 自団体の車輛では人数を収容できないため
4. 自団体の車輛を他のメンバーが利用中で利用できないため
5. その他（ ）

問2-2-2

ブロック内の主な移動方法をお知らせください。

（例：北海道・東北エリアブロック場合の仙台→函館の移動）（お答えは1つ）

1. 公共交通機関を利用
2. タクシーを利用
3. 外部業者（バス会社等）に運転を含めて外部発注

4. レンタカーを利用（運転専門のスタッフがいる）
5. レンタカーを利用（運転専門のスタッフがない（他業務との兼務））
6. 自団体の車輛を利用（運転専門のスタッフがいる）
7. 自団体の車輛を利用（運転専門のスタッフがない（他業務との兼務））
8. その他（ ）

問2-2-2-1

問2-2-2で「1」公共交通機関を利用を選択した方にお伺いいたします。要した金額が最も大きい交通機関をお聞かせください。（お答えは1つ）

1. 飛行機
2. 電車
3. 船舶（フェリーなど）
4. バス

問2-2-2-2

問2-2-2で「1. 公共交通機関を利用」を選択しなかった方にお伺いいたします。公共交通機関をご利用されなかった理由は何ですか。（お答えはいくつでも）

1. 公共交通機関の利便性（時間、ルート等）が悪いから
2. 機材等の運搬の理由で公共交通機関を利用することができないから
3. 公共交通機関を利用しないほうが結果として出費の総額を抑えられるから
4. その他（ ）

問2-2-2-3

問2-2-2で「3. 外部業者（バス会社等）に運転を含めて外部発注」を選択した方にお伺いいたします。「運転手を含めて移動を外部発注した」を選択した理由をお聞かせください。（お答えは1つ）

1. 自団体のメンバーの体力を消耗させないため
2. プロに外部発注するほうが安全であるため
3. 本事業において文化庁から支払われる運転手当が低いため
4. 運転手が団体内に存在しないため
5. その他（ ）

問2-2-2-4

問2-2-2で「4, 5. レンタカーを利用」を選択した方にお伺いいたします。自団体の車輛ではなく、レンタカー利用を選択した理由をお聞かせください。（お答えはいくつでも）

1. そもそも自団体に車両を有していないため
2. 自団体の車両利用に対する費用が出ないため
3. 自団体の車両では人数を収容できないため
4. 自団体の車両を他のメンバーが利用中で利用できないため
5. その他（ ）

問2-2-3

主な運搬方法をお知らせください。

(自団体メンバーの移動ではなく、楽器、大道具、衣装、舞台装置等の運搬)

(お答えは1つ)

1. 公共交通機関を利用(車内、機内に持ち込み)
2. 外部業者(運送会社等)に運転を含めて外部発注
3. レンタカーを利用(運転専門のスタッフがいる)
4. レンタカーを利用(運転専門のスタッフがいらない(他業務との兼務))
5. 自団体の車両を利用(運転専門のスタッフがいる)
6. 自団体の車両を利用(運転専門のスタッフがいらない(他業務との兼務))
7. その他()

問2-2-3-1

問2-2-3で「2. 外部業者(運送会社等)に運転を含めて外部発注」を選択した方にお伺いいたします。運転手を含めて運搬を外部発注した理由をお聞かせください。

(お答えはいくつでも)

1. 自団体のメンバーの体力を消耗させないため
2. プロに外部発注するほうが安全であるため
3. 専用機材等を運べる仕様の車両が他に無いため
4. 本事業において文化庁から支払われる運転手当が低いため
5. 運転手が団体内に存在しないため
6. その他()

追加公演の移動方法についてお伺いいたします（問3-4-3-1まで）

問3-1

ワークショップの移動・運搬方法は当初公演時と同じですか。（お答えは1つ）

1. 同じである
2. 同じでない（問3-3へ）

追加公演：ワークショップ時の出演者・スタッフ等の自団体メンバーの移動方法についてお聞かせください（問3-2-3-1まで）

問3-2-1

問3-1で「2. 同じでない」と回答された方にお伺いいたします。ワークショップ時の出演者・スタッフ等の自団体メンバーの移動方法についてお聞かせください。

団体本部→ブロックまでの主な移動方法をお知らせください。

（例：本部が東京で北海道・東北エリアの場合の東京→北海道の移動）

※ブロック内の移動ではありません。ブロック内を移動する方法については次の設問でお伺いいたします。（お答えは1つ）

1. 公共交通機関を利用
2. 外部業者（バス会社等）に運転を含めて外部発注
3. レンタカーを利用（運転専門のスタッフがいる）
4. レンタカーを利用（運転専門のスタッフがいらない（他業務との兼務））
5. 自団体の車輛を利用（運転専門のスタッフがいる）
6. 自団体の車輛を利用（運転専門のスタッフがいらない（他業務との兼務））
7. その他（ ）
8. 団体本部がブロック内にあるため、そもそも移動が生じない

問3-2-1-1

問3-2-1で「1. 公共交通機関を利用」を選択した方にお伺いいたします。要した金額が最も大きい交通機関をお聞かせください。（お答えは1つ）

1. 飛行機
2. 電車
3. 船舶（フェリーなど）
4. バス

問3-2-1-2

問3-2-1で「1. 公共交通機関を利用」を選択しなかった方にお伺いいたします。公共交通機関をご利用されなかった理由は何ですか。（お答えはいくつでも）

1. ブロック内移動までを含めて考えると、公共交通機関を利用しないほうが移動の利便性が高いから
2. ブロック内移動（タクシー想定等）までを含めて考えると、公共交通機関を利用しないほうが結果として出費の総額を抑えられるから
3. 機材等の運搬の理由で公共交通機関を利用することができないから
4. その他（ ）

問3-2-1-3

問3-2-1で「2. 外部業者（バス会社等）に運転を含めて外部発注」を選択した方にお伺いいたします。「運転手を含めて移動を外部発注した」を選択した理由をお聞かせください。（お答えはいくつでも）

1. 自団体のメンバーの体力を消耗させないため
2. プロに外部発注するほうが安全であるため
3. 本事業において文化庁から支払われる運転手当が低いため
4. 運転手が団体内に存在しないため
5. その他（ ）

問3-2-1-4

問3-2-1で「3, 4. レンタカーを利用」を選択した方にお伺いいたします。自団体の車輛ではなく、レンタカー利用を選択した理由をお聞かせください。

（お答えはいくつでも）

1. そもそも自団体に車輛を有していないため
2. 自団体の車輛利用に対する費用が出ないため
3. 自団体の車輛では人数を収容できないため
4. 自団体の車輛を他のメンバーが利用中で利用できないため
5. その他（ ）

問3-2-2

ブロック内の主な移動方法をお知らせください。

（例：北海道・東北エリアブロック場合の仙台→函館の移動）（お答えは1つ）

1. 公共交通機関を利用
2. タクシーを利用
3. 外部業者（バス会社等）に運転を含めて外部発注
4. レンタカーを利用（運転専門のスタッフがいる）
5. レンタカーを利用（運転専門のスタッフがいらない（他業務との兼務））
6. 自団体の車輛を利用（運転専門のスタッフがいる）

7. 自団体の車輛を利用（運転専門のスタッフがいない（他業務との兼務））
8. その他（ ）

問3-2-2-1

問3-2-2で「1. 公共交通機関を利用」を選択した方にお伺いいたします。要した金額が最も大きい交通機関をお聞かせください。（お答えは1つ）

1. 飛行機
2. 電車
3. 船舶（フェリーなど）
4. バス

問3-2-2-2

問3-2-2で「1. 公共交通機関を利用」を選択しなかった方にお伺いいたします。公共交通機関をご利用されなかった理由は何ですか。（お答えはいくつでも）

1. 公共交通機関の利便性（時間、ルート等）が悪いから
2. 機材等の運搬の理由で公共交通機関を利用することができないから
3. 公共交通機関を利用しないほうが結果として出費の総額を抑えられるから
4. その他（ ）

問3-2-2-3

問3-2-2で「3. 外部業者（バス会社等）に運転を含めて外部発注」を選択した方にお伺いいたします。「運転手を含めて移動を外部発注した」を選択した理由をお聞かせください。（お答えはいくつでも）

1. 自団体のメンバーの体力を消耗させないため
2. プロに外部発注するほうが安全であるため
3. 本事業において文化庁から支払われる運転手当が低いいため
4. 運転手が団体内に存在しないため
5. その他（ ）

問3-2-2-4

問3-2-2で「4, 5. レンタカーを利用」を選択した方にお伺いいたします。自団体の車輛ではなく、レンタカー利用を選択した理由をお聞かせください。

（お答えはいくつでも）

1. そもそも自団体に車輛を有していないため
2. 自団体の車輛利用に対する費用が出ないため
3. 自団体の車輛では人数を収容できないため

4. 自団体の車輛を他のメンバーが利用中で利用できないため
5. その他（ ）

問3-2-3

主な運搬方法をお知らせください。

(自団体メンバーの移動ではなく、楽器、大道具、衣装、舞台装置等の運搬)

(お答えは1つ)

1. 公共交通機関を利用(車内、機内に持ち込み)
2. 外部業者(運送会社等)に運転を含めて外部発注
3. レンタカーを利用(運転専門のスタッフがいる)
4. レンタカーを利用(運転専門のスタッフがいらない(他業務との兼務))
5. 自団体の車輛を利用(運転専門のスタッフがいる)
6. 自団体の車輛を利用(運転専門のスタッフがいらない(他業務との兼務))
7. その他()

問3-2-3-1

問3-2-3で「2. 外部業者(運送会社等)に運転を含めて外部発注」を選択した方にお伺いいたします。運転手を含めて運搬を外部発注した理由をお聞かせください。

(お答えはいくつでも)

1. 自団体のメンバーの体力を消耗させないため
2. プロに外部発注するほうが安全であるため
3. 専用機材等を運べる仕様の車輛が他に無いため
4. 本事業において文化庁から支払われる運転手当が低いため
5. 運転手が団体内に存在しないため
6. その他()

問3-3

本公演の移動・運搬方法は当初公演時と同じですか。(お答えは1つ)

1. 同じである
2. 同じでない(問4へ)

追加公演：本公演時の出演者・スタッフ等の自団体メンバーの移動方法についてお聞かせください(問3-4-3-1まで)

問3-4-1

問3-3で「2. 同じでない」と回答された方にお伺いいたします。本公演時の出演者・

スタッフ等の自団体メンバーの移動方法についてお聞かせください。

団体本部→ブロックまでの主な移動方法をお知らせください。

(例：本部が東京で北海道・東北エリアの場合の東京→北海道の移動)

※ブロック内の移動ではありません。ブロック内を移動する方法については次の設問
でお伺いいたします。(お答えは1つ)

1. 公共交通機関を利用
2. 外部業者(バス会社等)に運転を含めて外部発注
3. レンタカーを利用(運転専門のスタッフがいる)
4. レンタカーを利用(運転専門のスタッフがない(他業務との兼務))
5. 自団体の車輛を利用(運転専門のスタッフがいる)
6. 自団体の車輛を利用(運転専門のスタッフがない(他業務との兼務))
7. その他()
8. 団体本部がブロック内にあるため、そもそも移動が生じない

問3-4-1-1

問3-4-1で「1. 公共交通機関を利用」を選択した方にお伺いいたします。要した金額が最も大きい交通機関をお聞かせください。(お答えは1つ)

1. 飛行機
2. 電車
3. 船舶(フェリーなど)
4. バス

問3-4-1-2

問3-4-1で「1. 公共交通機関を利用」を選択しなかった方にお伺いいたします。公共交通機関をご利用されなかった理由は何ですか。(お答えはいくつでも)

1. ブロック内移動までを含めて考えると、公共交通機関を利用しないほうが移動の利便性が高いから
2. ブロック内移動(タクシー想定等)までを含めて考えると、公共交通機関を利用しないほうが結果として出費の総額を抑えられるから
3. 機材等の運搬の理由で公共交通機関を利用することができないから
4. その他()

問3-4-1-3

問3-4-1で「2. 外部業者(バス会社等)に運転を含めて外部発注」を選択した方にお伺いいたします。「運転手を含めて移動を外部発注した」を選択した理由をお聞かせください。(お答えはいくつでも)

1. 自団体のメンバーの体力を消耗させないため
2. プロに外部発注するほうが安全であるため
3. 本事業において文化庁から支払われる運転手当が低い
4. 運転手が団体内に存在しないため
5. その他（ ）

問3-4-1-4

問3-4-1で「3, 4. レンタカーを利用」を選択した方にお伺いいたします。自団体の車輛ではなく、レンタカー利用を選択した理由をお聞かせください。

(お答えはいくつでも)

1. そもそも自団体の車輛を有していないため
2. 自団体の車輛利用に対する費用が出ないため
3. 自団体の車輛では人数を収容できないため
4. 自団体の車輛を他のメンバーが利用中で利用できないため
5. その他（ ）

問3-4-2

ブロック内の主な移動方法をお知らせください。

(例：北海道・東北エリアブロック場合の仙台→函館の移動) (お答えは1つ)

1. 公共交通機関を利用
2. タクシーを利用
3. 外部業者(バス会社等)に運転を含めて外部発注
4. レンタカーを利用(運転専門のスタッフがいる)
5. レンタカーを利用(運転専門のスタッフがいらない(他業務との兼務))
6. 自団体の車輛を利用(運転専門のスタッフがいる)
7. 自団体の車輛を利用(運転専門のスタッフがいらない(他業務との兼務))
8. その他（ ）

問3-4-2-1

問3-4-2で「1. 公共交通機関を利用」を選択した方にお伺いいたします。要した金額が最も大きい交通機関をお聞かせください。(お答えは1つ)

1. 飛行機
2. 電車
3. 船舶(フェリーなど)
4. バス

問3-4-2-2

問3-4-2で「1. 公共交通機関を利用」を選択しなかった方にお伺いいたします。
公共交通機関をご利用されなかった理由は何ですか。（お答えはいくつでも）

1. 公共交通機関の利便性（時間、ルート等）が悪いから
2. 機材等の運搬の理由で公共交通機関を利用することができないから
3. 公共交通機関を利用しないほうが結果として出費の総額を抑えられるから
4. その他（ ）

問3-4-2-3

問3-4-2で「3. 外部業者（バス会社等）に運転を含めて外部発注」を選択した方にお伺いいたします。「運転手を含めて移動を外部発注した」を選択した理由をお聞かせください。（お答えは1つ）

1. 自団体のメンバーの体力を消耗させないため
2. プロに外部発注するほうが安全であるため
3. 本事業において文化庁から支払われる運転手当が低いため
4. 運転手が団体内に存在しないため
5. その他（ ）

問3-4-2-4

問3-4-2で「4, 5」レンタカーを利用を選択した方にお伺いいたします。自団体の車輦ではなく、レンタカー利用を選択した理由をお聞かせください。（お答えはいくつでも）

1. そもそも自団体で車輦を有していないため
2. 自団体の車輦利用に対する費用が出ないため
3. 自団体の車輦では人数を収容できないため
4. 自団体の車輦を他のメンバーが利用中で利用できないため
5. その他（ ）

問3-4-3

主な運搬方法をお知らせください。

（自団体メンバーの移動ではなく、楽器、大道具、衣装、舞台装置等の運搬）

（お答えは1つ）

1. 公共交通機関を利用（車内、機内に持ち込み）
2. 外部業者（運送会社等）に運転を含めて外部発注
3. レンタカーを利用（運転専門のスタッフがいる）
4. レンタカーを利用（運転専門のスタッフがない（他業務との兼務））

5. 自団体の車輛を利用（運転専門のスタッフがいる）
6. 自団体の車輛を利用（運転専門のスタッフがいらない（他業務との兼務））
7. その他（ ）

問3-4-3-1

問3-4-3で「2. 外部業者（運送会社等）に運転を含めて外部発注」を選択した方にお伺いいたします。運転手を含めて運搬を外部発注した理由をお聞かせください。

（お答えはいくつでも）

1. 自団体のメンバーの体力を消耗させないため
2. プロに外部発注するほうが安全であるため
3. 専用機材等を運べる仕様の車輛が他に無いため
4. 本事業において文化庁から支払われる運転手当が低いため
5. 運転手が団体内に存在しないため
6. その他（ ）

問4

本公演で土日公演が無い場合の出演者の土日の過ごし方を教えてください。

（お答えは1つ）

1. 原則として巡回地にとどまる（外せない用事がある出演者のみ、用事を済ませてから次の公演日までに合流する）
2. 原則として巡回地にとどまらず、一旦本拠地等へ帰り、次の公演日までに巡回地に戻る
3. 拠点から日帰りのブロックであるため、そもそも当該設問に該当しない

問4-1

問4-1で「2. 原則として巡回地にとどまらず、一旦本拠地等へ帰り、次の公演日までに巡回地に戻る」と回答した方にお伺いします。主な理由は何ですか。（お答えは1つ）

1. 土日に他の場所で他の公演があるため
2. 出演者との契約が一週間（5日間）単位となっているため（翌週の公演は、別の出演者が担当）
3. 就業規則や契約等に基づき、長期の拘束をすることができないため
4. 出演者の体調を考慮し、できる限り自宅で休養をさせたいため
5. その他（ ）

問5-1

輸送や運搬に関する外部発注費についてお伺いいたします。外部発注について、相見積をとっていますか。※相見積とは、複数の業者から見積を取ることです。(お答えは1つ)

1. とっている
2. 一部とっている
3. とっていない

問5-2

問5-1で「とっている」「一部とっている」とお答えいただいた方にお伺いいたします。

1件あたり何社の見積をとられていますか。(お答えは1つ)

1. 2社
2. 3社
3. 4社
4. 5社以上

問5-3

問5-1で「一部とっている」「とっていない」とお答えいただいた方にお伺いいたします。相見積をとらない理由は何ですか。(お答えはいくつでも)

1. 専用機材等を運べる仕様の車輛が他に無いため
2. 長年のパートナーであり、付き合い上の理由で他社への外部発注ができないため
3. 見積依頼先を一社しか知らないため
4. 契約等により外部発注を義務付けられているため
5. 他の公演を含めて包括的に契約しているため
6. 時間僅少により検討する時間が無かったため
7. その他 ()

問6

輸送や運搬の経費計上について改善点、ご要望があればお知らせください。

(ご意見をご自由にお書きください)(お答えは具体的に)

--

問7-1-1

公演の人件費についてお伺いします。ランクに応じた出演料・スタッフ費の単価表を整備していますか。(お答えは1つ)

1. 整備している
2. 一部整備している（役者の単価は決めているが、スタッフの単価は決めていない等）
3. 整備していない

問7-1-2

問7-1-1で「一部整備している」「整備していない」とご回答いただいた方に質問いたします。本公演の単価の決定方法についてご教示ください。（お答えはいくつでも）

1. 必要な人件費からの逆算
2. 他に行った同様の公演の単価をベースに作成
3. 業界の相場等を参考に決定
4. その他（ ）

問7-2-1

本事業の実施にあたり、実際には人件費が発生しているにも関わらず、計上できていない費目はありますか。（お答えは1つ）

1. ある
2. ない

問7-2-2

問7-2-1で「ある」と回答いただいた方に質問いたします。その費目は何ですか。（費目をお書きください）（お答えは具体的に）

--

問7-2-3

前設問でお答えいただいた費用の処理方法についてご教示ください。（お答えは1つ）

1. 一般管理費で充当
2. スタッフ分の仕事を役者が行う等の兼務で対応
3. 自団体に負担
4. その他（ ）

問8-1

舞台費における外部発注費についてお伺いいたします。外部発注について、相見積をとっていますか。

※相見積とは、複数の業者から見積を取ることです（お答えは1つ）

1. とっている
2. 一部とっている
3. とっていない

問8-2

問8-1で「とっている」「一部とっている」とお答えいただいた方にお伺いいたします。

1件あたり何社の見積をとられていますか。（お答えは1つ）

1. 2社
2. 3社
3. 4社
4. 5社以上

問8-3

問8-1で「一部とっている」「とっていない」とお答えいただいた方にお伺いいたします。相見積をとらない理由は何ですか。（お答えはいくつでも）

1. 高度スキルや設備が必要であり、外部発注できる人材や機材が限られている
2. 長年のパートナーであり、付き合い上の理由で他社への外部発注ができない
3. 当該事業に関して契約等により外部発注を義務付けられている
4. 他の公演を含めて包括的に契約している
5. その他（ ）

問9-1

自団体で用意できるもののうち、費用拠出の証跡が用意できないため費用計上できないものはありますか。（お答えは1つ）

1. ある
2. ない

問9-2

問9-1で1と回答された方にお伺いします。結果として、自団体で準備できる物に対して、レンタル等での出費を行ったことがありますか。

（自団体車輛利用に対する費用が出ないのでレンタカーにした等）（お答えは1つ）

1. ある
2. ない

問9-3

問9-1で1と回答された方にお伺いします。それは何に対する出費ですか。

(費目をお書きください)(お答えは具体的に)

問10

現在の精算方法では費用計上ができない費目のうち、自団体での所有物利用の場合に支払ってほしい費目の要望についてお聞かせください。(ご意見をご自由にお書きください)(お答えは具体的に)

問11-1

自団体車輛(バス・トラックなど本事業に利用可能な車輛)の保有状況を教えてください。(お答えはいくつでも)

1. メンバー運搬用のバスを保有している
2. 荷物を乗せるためのトラックを保有している
3. 上記のいずれも保有していない

問11-2-1

問11-1で「バスを保有している」と回答された方にお伺いします。具体的な保有台数について教えてください。(お答えは1つ)

【メンバー運搬用バス】

1. 1台
2. 2台
3. 3台
4. 4台
5. 5台以上

問11-2-2

問11-1「トラックを保有している」と回答された方にお伺いします。具体的な保有台数について教えてください。(お答えは1つ)

【荷物を乗せるためのトラック】

1. 1台
2. 2台
3. 3台
4. 4台
5. 5台以上

問 1 1 - 3 - 1

問 1 1 - 2 でお答えのバスにつきまして、具体的な収容人数や大きさとおおよその年間維持費（車検・税金・駐車場代等）を教えてください。（お答は半角数字で）

※5台以上お持ちの団体は主要な5台について回答願います。

【バス：1台目】

人乗り 年間維持費 約 万円

【バス：2台目】

人乗り 年間維持費 約 万円

【バス：3台目】

人乗り 年間維持費 約 万円

【バス：4台目】

人乗り 年間維持費 約 万円

【バス：5台目】

人乗り 年間維持費 約 万円

問 1 1 - 3 - 2

問 1 1 - 2 でお答えのトラックにつきまして、具体的な収容人数や大きさとおおよその年間維持費（車検・税金・駐車場代等）を教えてください。（お答は半角数字で）

※5台以上お持ちの団体は主要な5台について回答願います。

【バス：1台目】

トン 年間維持費 約 万円

【バス：2台目】

トン 年間維持費 約 万円

【バス：3台目】

トン 年間維持費 約 万円

【バス：4台目】

トン 年間維持費 約 万円

【バス：5台目】

トン 年間維持費 約 万円

文化庁委託事業

次代を担う子どもの文化芸術体験事業（巡回公演事業）
検証事業 報告書
平成 26 年 3 月

調査実施 三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング
芸術・文化政策センター